V

諸規程等(規則集)

	る余の小女士人子子則	210
2	お茶の水女子大学複数プログラム	
	選択履修制度実施規則	225
3	お茶の水女子大学文教育学部履修規程	226
4	お茶の水女子大学理学部履修規程	248
5	お茶の水女子大学生活科学部履修規程	260
6	お茶の水女子大学学位規則	271
7	本学在学中に他大学等で	
	修得した単位の取扱いについて	278
8	転学及び編入学した学生の	
	既修得単位の取扱いについて	279
9	新たに第1年次に入学した学生の	
	既修得単位等の取扱いについて	280
10	お茶の水女子大学個人情報の	
	管理に関する規則	282
11	お茶の水女子大学授業料未納者に	
	係る除籍及び復籍に関する規程	285
12	お茶の水女子大学における学生の	
	旧姓使用の取扱い等に関する要項…	286

お茶の水女子大学学則

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学(以下「本学」という。)は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授、研究し、知的、道徳的及び応用的能力を養い、 もって社会の諸分野における有為にして教養高き女子を養成し、併せて文化の進展に寄与することを目的とする。

(点検及び評価)

- 第2条 本学は、前条の目的を達成するため、教育研究水準の向上を図り、その状況について自ら点検及び評価を行うものとする。
- 2 点検及び評価の項目並びにその実施体制等に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 構成及び収容定員等

(学部)

第3条 国立大学法人お茶の水女子大学組織運営規則(以下「組織運営規則」という。)第4条第1項の規定に基づき置かれる学部の学科及び収容定員等は、 次の表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	第3年次入学定員	収容定員
	人文科学科	55 人		220人
文教育学部	言語文化学科	80人	6人	332 人
	人間社会科学科	40人	4人	168人
	芸術・表現行動学科	27 人		108人
	計	202 人	10人	828 人
	数学科	20人	2人	84人
	物理学科	20 人	2人	84 人
理学部	化学科	20人	2人	84人
理 子 部	生物学科	25 人	2人	104人
	情報科学科	40人	2人	164人
	計	125人	10人	520人
	食物栄養学科	36人		144人
	人間・環境科学科	24 人	3人	102人
生活科学部	人間生活学科	39人	4人	164人
	心理学科	26 人	3人	110人
	計	125人	10人	520 人
合	計	452 人	30人	1,868 人

2 前項に規定する学科に、コース、講座等を置くことができる。

(文教育学部の目的)

- 第4条 文教育学部は、人文・社会科学系の学問を中心に、講義、演習、実験、実習等の多様な授業を通じて、学術研究のための確かな基礎と、国際的 に通用する問題発見能力、情報処理能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- 2 前項の目的を達成するため、前条に定める文教育学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 人文科学科

人文科学科は、人類の様々な歩みの中の現象を広く文化として捉え、深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理した上で、独自の論理を築きあげる総合的な力を有する人材を養成する。

(2) 言語文化学科

言語文化学科は、人間の言語活動や様々な言語表現の本質について深い知見を有するような人材、また、個々の言語に関して高い運用能力を有するような人材、更には各言語圏に固有の文化とそれら相互間の交流について幅広い知識を有するような人材を養成する。

(3) 人間社会科学科

人間社会科学科は、幼稚園及び小・中・高等学校教員の養成を目的としつつ、教育科学、社会学及び子ども学の幅広い基礎知識、深い専門的及び 応用的知識を習得し、人間に対する深い理解に基づき、グローバルな視野に立って学校その他の社会の広い分野において主導的役割を果たすことが できる人材を養成する。

(4) 芸術・表現行動学科

芸術・表現行動学科は、音楽や舞踊に代表される芸術及び表現行動を理論的研究と実践の両面から追求し、現代的問題への対応に適用できるような人材を養成する。

(理学部の目的)

- 第5条 理学部は、理学の基礎知識を修得し、大学院において高度な教育を受けるための能力を有する人材及び理学の基礎知識を活用し社会の多様な分野において主導的役割を果たすことができる人材を養成することを目的とする。
- 2 前項の目的を達成するため、第3条に定める理学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 数学科

数学科は、数学的素養と論理的思考力を備え社会の様々な分野で主導的役割を果たすことができる人材及び現代数学の基礎知識と数学的論理思考を身に付け数理的諸科学の発展に貢献できる人材を養成する。

(2) 物理学科

物理学科は、自然科学の基礎である物理学の基礎知識を修得し、それを実際の問題に適用して解決する能力を身に付けた人材を養成する。

(3) 化学科

化学科は、様々な物質から成り立つ自然界を、原子・分子の構成とその変化の視点で捉え、得られた知識を体系化しつつ、化学の諸分野はもとより、

生物学、物理学などの基礎分野から、工学や薬学、農学、医学、地球科学、情報学など多彩な応用分野まで幅広く展開できる人材を養成する。

(4) 生物学科

生物学科は、「生き物」の複雑で多様な生命現象を科学的に解析する力を養い、幅広い知識に基づいた柔軟で論理的な思考力を有して豊かな人間社会の構築に貢献できる人材を養成する。

(5) 情報科学科

情報科学科は、20世紀に登場し新しい科学の対象となった「情報」というものを探究するための基礎となる知識や方法論と、その種々な応用の実態を学び、更にその成果の上に、これらを自ら開拓するための研究力の基礎を身に付けた人材を養成する。

(生活科学部の日的)

- 第6条 生活科学部は、自然・人文・社会科学的教養に基づき、人間と生活についての総合的な学識を身に付け、生活者の立場から、社会で活躍できる 優秀な人材を養成することを目的とする。
- 2 前項の目的を達成するため、第3条に定める生活科学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 食物栄養学科

食物栄養学科は、人間の「食」を自然科学的かつ総合的に捉え、豊かな食生活や健康な社会を実現するために、食物と栄養について科学的知識と実践的能力を備えた人材を養成する。

(2) 人間・環境科学科

人間・環境科学科は、生活者たる人間と環境との相互作用に関する深い理解を備え、科学的手法を応用して、生活面での諸課題に対して人間と環境が共存しうる方策を考案し、かつ、実社会にて実践できる優秀な人材を養成する。

(3) 人間生活学科

人間生活学科は、人間と社会の関係、生活と文化について、多角的な視点と複合的なアプローチを駆使し、人間と生活を総合的に理解し、分析する力を備えた優秀な人材を養成する。

(4) 心理学科

心理学科は、心理学に関する基礎から実践までの多面的な知識と理解力を有し、科学的エビデンス、論理的分析力に基づく臨床・応用実践、社会的課題にセンシティブな実証的探求の視点や実践的能力を獲得できる人材を養成する。

第7条 組織運営規則第5条第1項の規定に基づき置かれる大学院に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 学部通則

第1節 教育課程及び履修方法

(修業年限)

- 第8条 学部の修業年限は、4年とする。
- 2 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することはできない。ただし、第23条、第28条、第30条、第34条及び第37条の規定により入学した学生は、 修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。
- 3 入学前に、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した者が入学する場合、第12条の規定により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、第1項に規定する修業年限について当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2分の1を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(授業科目)

第9条 各学部が開設する授業科目は、学部ごとに別に定める。

(教育課程及び履修方法)

第10条 各学部の教育課程及び履修方法は、学部ごとに別に定める。

(他大学等における授業科目の履修及び大学以外の教育施設等における学修)

- 第11条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学(以下「他大学等」という。)との協議に基づき、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学に おける授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 前3項に定めるもののほか、修得単位等の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第12条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該学部教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に 定める学修を、当該学部教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第11条第3項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 前3項に定めるもののほか、既修得単位等の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(教育職員免許状の取得)

- 第13条 学部において取得することができる教育職員の免許状の種類は、別表に掲げるとおりとする。
- 2 前項の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法 (昭和24年法律第147号) 及び教育職員免許法施行規則 (昭和29年文部省令第26号) に定める所要の単位を修得しなければならない。

(社会教育主事資格の取得)

- 第14条 社会教育主事の資格を取得しようとする者は、社会教育法(昭和24年法律第207号)及び社会教育主事講習等規程(昭和26年文部省令第12号)に 定める科目の単位を修得しなければならない。
- 2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

(学芸員資格の取得)

- 第15条 学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び博物館法施行規則(昭和30年文部省令第24号)に定める科目の単位を修得しなければならない。
- 2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 卒業及び学位

(卒業)

- 第16条 学部に4年以上在学し、定められた授業科目を履修し、124単位以上を修得した者は、卒業者としてこれに卒業証書を授与する。ただし、生活 科学部食物栄養学科については、138単位以上を修得した者とする。
- 2 転学者、編入学者の学業に関し必要な事項は、別に定める。

(学位の授与)

第17条 卒業者に対しては、別に定めるところにより、学士の学位を授与する。

第3節 学年、学期及び休業日

(学年)

第18条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第19条 学年を次の2学期又は4学期に分ける。

二学期制

学期	期間
前学期	4月1日から9月30日まで
後学期	10月1日から翌年3月31日まで

四学期制

_	四于规则	
	学期	期間
	第1学期	4月1日から9月30日までの間で別に定める。
Г	第2学期	4万1日から9万30日までの間で別に定める。
Γ	第3学期	10月1日から翌年3月31日までの間で別に定める。
	第4学期	10月1日から金牛3月31日までの間で別に定める。

(休業日)

- 第20条 学年中の休業日は、次のとおりとする。
- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 日曜日
- (3) 創立記念日 11月29日
- (4) 春期休業
- (5) 夏期休業
- (6) 冬期休業
- 2 前項第4号から第6号までの休業日の期間は、学長が別に定める。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 休業日において、必要がある場合には、授業を行うことができる。

第4節 入学、退学、休学、転学、留学、編入学、転学部及び転学科

(入学の時期)

第21条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

- 第22条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。
- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を受けた者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(第3年次入学資格)

- 第23条 第3条に定める第3年次入学定員により入学することのできる者は、前条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する女子とする。
- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) 高等専門学校を卒業した者
- (5) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者
- (7) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの

の当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)

(入学出願手続)

第24条 入学志願者は、入学願書に調査書その他所定の書類及び検定料を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第25条 学長は、前条の入学志願者について、別に定めるところにより選考の上、当該学部教授会の議を経て合格者を決定する。

(入学手続)

第26条 前条の合格者は、所定の期日までに誓約書その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付しなければならない。 (入学許可)

- 第27条 学長は、前条の入学手続を完了した者(第43条の規定により入学料の免除を申請した者を含む。)に入学を許可する。
- 第28条 次の各号のいずれかに該当する者は、第25条の規定にかかわらず入学を許可することができる。
 - (1) 一学部を卒業した者で、さらに他の学部又は同一学部の他の学科に入学を志願する者
 - (2) 退学した者で、さらに同一の学部に入学を志願する者
 - (3) 他の大学の学部を卒業した者

(退学)

第29条 退学を希望する者は、その理由を具して学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(再入学)

第30条 一度退学した者が再入学を願い出た場合は、審査の上これを許可することができる。

(除籍)

- 第31条 次の各号のいずれかに該当する者は、当該学部教授会の議を経て、学長が除籍する。
- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第8条第2項に定める在学年限を超えた者
- (3) 第33条第3項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- 2 入学料の免除を申請した者で、免除を許可されなかった場合又は半額免除を許可された場合であって、納付すべき入学料の全額又は半額を所定の期 日までに納付しないときは、学長は、これを除籍する。

(復籍)

- 第32条 前条第1項第1号に該当し除籍となった者が当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額を納付して復籍を願い出た場合は、審査の上 これを許可することができる。
- 2 復籍に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

- 第33条 病気その他の事由により引き続き2か月以上修学することができないときは、事由を具して学長に願い出てその許可を得て休学することができる。
- 2 休学の期間は、その学年末までとする。ただし、特別の事情があるときは、引き続き休学を願い出ることができる。
- 3 休学期間は、通算して定められた修業年限の年数を超えることができない。
- 4 休学期間は、在学期間には算入しない。
- 5 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学

- 第34条 他の大学から本学に転学を志望する者があるときは、収容力のある限り、審査の上、入学させることができる。
- 2 前項の場合、入学願書には現に在学する大学の学長の承認書を添えなければならない。
- 第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、学長の承認を得なければならない。

(留学)

- 第36条 学生は、当該学部教授会が教育上有益であると認めたときは、学長の許可を得て外国の大学等に留学することができる。
- 2 前項の留学期間は、1年を限度として第16条第1項に規定する在学期間に参入するものとする。
- 3 第11条第3項の規定は、外国の大学等へ留学する場合に準用する。
- 4 前2項に定めるもののほか、留学に関し必要な事項は、別に定める。

(編入学)

第37条 第3条に定める第3年次入学定員によるもの以外で編入学を志願する者があるときは、第34条を準用する。

(転学部及び転学科)

第38条 学生が、本学の他学部への転入又は当該学生が在学している学部内の他学科等への転入を希望したときは、当該学部又は当該学科に収容力の ある限り、審査の上、許可することができる。

第5節 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料等の額)

第39条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額は、別に定める。

(授業料の納付)

第40条 授業料は、年額の2分の1ずつを、次の2期に分けて納めなければならない。ただし、前期に係る授業料を納めるときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて納めることができる。

前期 5月末日まで

後期 11月末日まで

2 前項の規定にかかわらず、入学年度の授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学手続時に徴収するものとする。

(寄宿料の納付)

第41条 寄宿料は、毎月その月の20日までに納めなければならない。

(検定料等の返付)

第42条 一度納めた検定料、入学料、授業料及び寄宿料は、これを返さない。ただし、入学手続時に授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退

した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

(入学料の免除)

- 第43条 特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者で、学長に願い出たときは、入学料の全額又は半額を免除することができる。
- 2 入学料の免除に関し必要な事項は、別に定める。

(入学料の徴収猶予)

- 第44条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者で、学長に願い出たときは、入学料の徴収を猶予することができる。
- 2 入学料の徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(授業料及び寄宿料の免除並びに授業料の徴収猶予)

- 第45条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者で、当該学部を経 て学長に願い出たときは、授業料及び寄宿料の全部若しくは一部を免除し、又は授業料の徴収を猶予(月割分納による徴収の猶予を含む。以下同じ。)す ることができる。
- 2 授業料及び寄宿料の免除並びに授業料の徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(退学者の授業料)

第46条 退学の許可を得た者の授業料は、その者が在学していた学期までの分を納めなければならない。

(休学者の授業料)

第47条 休学の許可を得た者の授業料は、月割計算により休学当月の翌月から復学月の前月までの分を免除する。

(停学者の授業料)

第48条 停学を命ぜられた期間中の授業料は、これを徴収する。

第6節 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、委託生、研究生、研究員等

(科目等履修生)

- 第49条 本学の学生以外の者で本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、別に定めるところにより、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。
- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

- 第50条 本学の定める課程の一部を選択し聴講を希望する者があるときは、学生の学習を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として入学を許可することができる。
- 2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

- 第51条 特定の授業科目を履修することを希望する他の大学又は外国の大学の学生があるときは、当該大学との協議に基づき、所定の手続を経て、特別聴講学生として入学を許可することができる。
- 2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(委託生)

- 第52条 教育委員会、学校その他の公共機関から授業及び研究指導の委託出願があるときは、学生の学習を妨げない場合に限り、選考の上、委託生として入学を許可することができる。
- 2 委託生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

- 第53条 特定事項に関する研究に従事することを希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することができる。
- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究員等の受入れ)

- 第54条 他の機関、民間会社等から、その職員等が特定事項に関する研究に従事することの申出又は研修受入れの申出があるときは、研究員等として 受入れを許可することができる。
- 2 研究員等に関し必要な事項は、別に定める。

第7節 外国人留学生

(外国人留学生)

- 第55条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。
- 2 外国人留学生で、大学間交流協定に基づき入学する者に係る検定料、入学料及び授業料については、所定の要件を満たした場合は、これを徴収しない。
- 3 前 2 項に定めるもののほか、外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第8節 寄附講座等

(寄附講座等)

- 第56条 教育研究の進展及び充実に資するとともに、社会貢献の推進を図るため、本学に寄附講座及び寄附研究部門(以下「寄附講座等」という。)を設置することができる。
- 2 寄附講座等に関し必要な事項は、別に定める。

第9節 公開講座及び通信教育

(公開講座及び通信教育)

- 第57条 公開講座及び通信教育は、一般市民の教養を高めるため適時これを行う。
- 2 公開講座及び通信教育に関し必要な事項は、別に定める。

第10節 賞罰

(表彰)

- 第58条 学生が学業その他の活動において優れた成績を挙げたときは、学長は、これを表彰することができる。
- 2 学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(徽戒)

- 第59条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。
- 2 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

(学生団体の活動停止等)

- 第60条 学生団体の活動が学生準則に違反し、その他本学の使命に反するものと認められたとき、学生支援室の議を経て、学長が学生団体の活動の制限停止又は解散を命ずることができる。
- 2 前項の処分に対して関係者より相当の理由を附して異議の申出があったときは、教育研究評議会の議を経て、学長が適当な措置を行うことができる。

第11節 寄宿舎

(寄宿舎)

- 第61条 本学に、寄宿舎を置く。
- 2 寄宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この学則の施行の際廃止されたお茶の水女子大学学則の規定により存続するものとされた文教育学部史学科及び生活科学部生活環境学科は、第3条 第2項の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 第3条第2項に掲げる表の生活科学部の項及び合計の項に定める収容定員は、同項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までは、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	食物栄養学科	36人	72人	108人
	人間・環境科学科	24人	48人	72人
生活科学部	人間生活学科	260人	260人	260人
	学部共通	20人	20人	20人
	計	340人	400人	460人
合	計	1 ,688 人	1,748人	1,808人

附 則 (平成17年2月23日)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月24日)

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年6月15日)

この学則は、平成17年6月15日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則 (平成17年12月14日)

この学則は、平成17年12月14日から施行する。ただし、第29条第2号の改正規定は、平成17年10月1日から適用する。

附 則 (平成19年3月22日)

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月21日)

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、第22条の改正規定は、平成20年度入学者から適用する。
- 2 この学則の施行前から引き続き生活科学部食物栄養学科に在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附 則 (平成21年3月26日)

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表の規定は、平成21年度入学者から適用する。
- 2 この学則の施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附 則 (平成21年6月10日)

この学則は、平成21年6月10日から施行する。

附 則 (平成22年3月26日)

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年7月28日)

この学則は、平成22年7月28日から施行する。

附 則 (平成22年12月22日)

この学則は、平成22年12月22日から施行する。

附 則 (平成23年1月26日)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年2月23日)

この学則は、平成23年2月23日から施行する。

附 則 (平成23年3月28日)

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年11月27日)

この学則は、平成24年11月27日から施行する。

附 則 (平成25年3月26日)

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年12月24日)

この学則は、平成25年12月24日から施行する。

附 則 (平成26年3月26日)

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月25日)

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年3月25日)

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日)

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第3条第1項に掲げる表の下記学部学科の項に定める収容定員は、同項の規定にかかわらず、平成30年度から平成32年度までは、次の表のとおりとする。

学 部	学 科	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
文教育学部	言語文化学科	320 人	320 人	326 人
人权月子印	人間社会科学科	160 人	160 人	164 人
	数学科	80 人	80 人	82 人
	物理学科	80 人	80 人	82 人
理学部	化学科	80 人	80 人	82 人
	生物学科	100 人	100 人	102 人
	情報科学科	160 人	160 人	162 人
	人間・環境科学科	96 人	96 人	99 人
生活科学部	人間生活学科	234 人	208 人	186 人
	心理学科	26 人	52 人	81 人

3 この学則の施行前から引き続き文教育学部人間社会科学科に在籍し、心理学主プログラムを選択する者及び生活科学部人間生活学科に在籍し、発達 臨床心理学主プログラムを選択する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表(第13条関係)

学部	学科等	免許状の種類
文教育学部	人文科学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歷史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	言語文化学科 日本語・日本文学履修コース	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語)
	言語文化学科 中国語圏言語文化履修コース	中学校教諭一種免許状 (中国語) 高等学校教諭一種免許状 (中国語)
	言語文化学科 英語圏言語文化履修コース	中学校教諭一種免許状 (英語) 高等学校教諭一種免許状 (英語)
	人間社会科学科 社会コース	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	人間社会科学科 小学校・幼稚園コース	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学履修コース	中学校教諭一種免許状 (保健体育) 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)
	芸術・表現行動学科 音楽表現履修コース	中学校教諭一種免許状(音楽) 高等学校教諭一種免許状(音楽)
理学部	数学科	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)
	物理学科	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
	化学科	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
	生物学科	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
	情報科学科 数学コース	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)
	情報科学科 情報コース	高等学校教諭一種免許状 (情報)
生活科学部	人間生活学科 家庭コース	中学校教諭一種免許状 (家庭) 高等学校教諭一種免許状 (家庭)
	食物栄養学科	栄養教諭一種免許状

2 お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)における複数プログラム選択履修制度(以下「複数履修制」という。)の実施については、国立大学法人お茶の水女子大学学則の定めによるほか、この規則の定めるところによる。

(目的)

第2条 複数履修制は、本学の学部専門教育において、学生が主体的な学習プログラムを構築し、深い専門性と幅広い教養を備えた自主自律の精神を養うことを目的として実施する。

(構成)

- 第3条 複数履修制は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムにより構成する。
- 2 前項の各プログラムは各学部が定めるところにより、学科、講座、コースその他の単位ごとに開設する。ただし、学際プログラムについては開設しないことができる。

(主プログラム)

- 第4条 主プログラムは、学位の取得を目的として、各専門領域の基礎的な知識や技能を全学年間に一貫的及び調和的に修得するためのプログラムをいう。
- 2 主プログラムは、学生が所属する学部及び学科内で開設するプログラムとする。
- 3 主プログラムの履修に関し必要な事項は、学部が定める。

(強化プログラム)

- 第5条 強化プログラムは、各専門領域のより高度な科目群からなり、専門領域に特化した深い専門性を培うためのプログラムをいう。
- 2 強化プログラムは、学生が所属する学部及び学科内で開設するプログラムとする。
- 3 強化プログラムの履修に関し必要な事項は、学部が定める。

(副プログラム)

- 第6条 副プログラムは、学生の多様な能力・適性及び学習意欲に応え、主プログラムと併行して、専門とは異なる分野の幅広い学習機会を提供するためのプログラムをいう。
- 2 副プログラムの履修資格は学部が定め、その他履修に関し必要な事項は別に定める。

(学際プログラム)

- 第7条 学際プログラムは、新たな領域型ないしは学際型の専門領域に即応し、先端研究分野等で要請される新しいタイプの専門人材育成に対応するプログラムをいう。
- 2 学際プログラムの履修資格は学部が定め、その他履修に関し必要な事項は別に定める。

(選択及び登録)

第8条 学生による主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムの選択及び登録に関する基本方針は、別に定める。

(宝施休制)

- 第9条 複数履修制に関し審議及び連絡調整をするため、学務部会のもとに複数プログラム選択履修専門部会(以下「専門部会」という。)を置く。
- 2 専門部会は前項の業務を行うにあたっては、教学IR、教育開発・学修支援センターとの緊密な連携をとるものとする。

(教育目標等)

第10条 第3条第1項に定めるプログラムごとに、その教育目標並びにプログラム選択に必要な情報及び履修方法等については、別に定める。

(点検・評価・改善)

- 第11条 学部は、前条に定める教育目標の達成度等を基に点検・評価・改善を行うものとする。
- 2 前項の場合において、学部をまたがって開設するプログラムにあっては、関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部の承認を得るものとする。

(開設)

- 第12条 学部は、前条第1項に規定する点検・評価・改善を行った結果、複数履修制を構成する新たなプログラムの開設が必要と認める場合には、全 学教育システム改革推進本部の議を経て、開設を決定すものとする。
- 2 前項において、学部をまたがって開設する場合は、あらかじめ関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、開設 を決定するものとする。

(廃止)

- 第13条 学部は、第11条第1項に規定する点検・評価・改善を行った結果、複数履修制を構成しているプログラムの廃止が必要と認める場合には、 全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、廃止を決定するものとする。
- 2 前項において、学部をまたがって開設している場合は、あらかじめ関係する学部が協議の上、全学教育システム改革推進本部本部会議の議を経て、 廃止を決定するものとする。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、複数履修制の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

お茶の水女子大学文教育学部履修規程

(趣旨)

3

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学文教育学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(履修コース・グローバル文化学環)

- 第2条 広領域に及ぶ幅広い知識と、高度で実践的な専門的知識を教育するため、学科ごとに、履修方法を異にする履修コース及びグローバル文化学環(以下「環」という。)を設ける。
- 2 前項の履修コース及び環に係る履修方法については、別に定める。

(授業科目の区分)

- 第3条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、学部共通科目、全学共通科目、教職に関する科目及び外国人留学生特別科目とする。
- 2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア 語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。
- 3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム、学際プログラム及び専修プログラムを構成する科目とする。
- 4 各学科・環で共通して履修できる科目として、学部共通科目を置く。
- 5 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。
- 6 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職に関する科目を置く。
- 7 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第4条 理学部及び生活科学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

- 第5条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
 - 一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 三 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、個人指導による実技及び教育実習等の授業科目については、別に定める。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究については別に定める。

(卒業要件)

- 第6条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。ただし、人間社会科学科総合人間発達科学専修プログラムについては、133単位以上を修得しなければならない。
- 2 人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科及びグローバル文化学環において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7、別表第9及び別表第11に定めるとおりとする。また、芸術・表現行動学科においては、別表第3、別表第8及び別表第9に定めるとおりとする。
- 3 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第10に定めるとおりとする。
- 4 教職に関する科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考 9 のとおりとする。
- 5 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第12に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10のとおりとする。 (層級毛統)
- 第7条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。
- 2 学生が前項により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続きを行い、担当教員の許可を得なければならない。
- 3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

- 第8条 授業科目を履修した者については、試験(論文、報告等を含む。以下同じ。)により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。
- 2 試験は、原則として学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続により追試験を受けることができる。

(成績の評価)

- 第9条 成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。
- 2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の 5 種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。
- 3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均Grade Point Average(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

- 第10条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。
- 2 その他学修指導に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、文教育学部教授会が定める。

附目

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 W4-Fill
 - この規程は、平成19年1月17日から施行し、平成17年度入学者から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第3及び第3の2の規定は、平成19年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHIII
 - この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。
- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 瞬間
- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- - この規程は、平成25年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第11まで、第13及び第14の規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前 2 項の規定にかかわらず、第10条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き文教育学部に在学する者から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1(第6条関係)

	1 (M C ALALINA)				ひんななっ	√. □+55/2	体の利	目・単位						+ /- \22+	マレて履	(女士で:	el e . N	4./÷		
	科				必1 修及(/ 選択化	修り科	日,市17	L					出に選が	てして腹	11多9 る		보1쏘		
\	科目区分			コア科目	1		専門	門教育科	目(必修	プログラ	ム)	ם	専	学	他	全	教	教	必修	
	分	文理	基	情	外	ス	主	強	副	学	専		門	部	学	学	職	職	以	卒業に必要な履修単位数
		強融合				ポ	プ	化	プ	際	修	ア						に	外の	业
		合リ	礎			1	п	プ	п	プ	プ		教	共	部	共	共	関	選	な。
		ベ ラ			国	.,,	グ	п	グ	П	п	科	育	通	の	通	通	す	択プ	修
学		ル	講			′	-	グ		グ	グ	1 ² f	科	科	科	科	科	る	П	位
学科別		アート				健	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ		1FT	1FT	1ºr	1°r	1FT	科	グラ	数
77.3		ツ	義	報	語	康	۵	ム	A	ム	4	目	目	目	目	目	目	目	Ĺ	
人	文 科 学 科		18		20	2	44		20						2	0				124
言	語 文 化 学 科		18		20	2	44		20						2	0				124
人	間 社 会 科 学 科		18		12	2	48		20						2	4				124
人	間 社 会 科 学 科		18		12	9			_		101			_						133
(総合	人間発達科学専修プログラム)		10		12	2				_	101						_	_		133
芸 往	析· 表 現 行 動 学 科		18		12	2					64				2	8				124
グ	ローバル文化学		18		20	2	44		2	0					2	0				124

備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。

- 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
- 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、20単位までをコア科目として取り扱う。 ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。
- 11 グローバル文化学環般修者は、所属学科によらず、グローバル文化学環の欄に記載される科目・単位を 履修すること。また、必修プログラムとして、グローバル文化学主プログラムと所属学科の副プログラム又は学際プログラムを履修すること。

別表第2(第5条関係)

【(文)二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

		(7)32(3)				N 034 /L = 1 =	F = 1 N N 1	- ^ポ+ローナファ	レのマキフ		= , =¥ i			
					川馬字木	4の独化ノロ	クフム以外に	こ選択するこ	とのできる	選択ノロク	フム群」			
所属学科		哲 学· 倫理学· 美術史 (副)	比 較 歴 史 学 (副)	地 理環境学(副)	日本語・ 日本文学 (副)	中国語圏 言語文化 (副)	英語 圏 言語文化 (副)			社 会 学 (副)	舞	音楽表現(副)	教育科学・ 子ども学 (学際)	グローバル 文 化 学 (学際)
	哲学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人文科学科	歴 史	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地 理	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	グロ文	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	日 文	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中 文	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
言語文化学科	英 文	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	仏 文	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	グロ文	×	×	×	0	0	0	0	0	×	×	×	×	
	社 会	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	教 育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間社会科学科	発 達	/									/			
	子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	×	0	×	×	0	
芸術・表現行動学科	舞踊													
五啊	音 楽													

【(文)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		哲学・倫理学・美術史	比 較 歴 史 学 (副)	地 理環境学(副)	日本語・ 日本文学 (副)	中国語圏言語文化(副)	英語 圏 言語文化 (副)	仏 語 圏 言語文化 (副)		社 会 学 (副)	舞 踊 教 育 学 (副)	音楽表現(副)	教育科学・ 子ども学 (学際)	グローバル 文 化 学 (学際)
	哲学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人文科学科	歴史	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地 理	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	グロ文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日文	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中文	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
言語文化学科	英文	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	仏 文	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	グロ文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	社会	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間社会科学科	発 達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	グロ文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
芸術・表現行動学科	舞踊	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
Am 35机1到于行	音楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0

【(文)三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		数 学 (副)	物理学(副)	化 学 (副)	生物学(副)	情報科学	応用数理 (学際)	物理・ 化学 (学際)	ケミカルバ イオロジー (学際)	生 命 情報学 (学際)
	哲学	0	0	0	0	0	×	×	×	×
人文科学科	歴 史	0	0	0	0	0	×	×	×	×
人义科学科	地 理	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	グロ文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	日 文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	中 文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
言語文化学科	英文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	仏文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	グロ文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	社 会	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	教 育	0	0	0	0	0	×	×	×	×
人間社会科学科	発 達	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	子ども	0	0	0	0	0	×	×	×	×
	グロ文	0	0	0	0	0	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	舞踊	0	0	0	0	0	×	×	×	×
云州 : 衣坑11 助子科	音 楽	0	0	0	0	0	×	×	×	×

【(文)三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科		人間・環 境科学 (副)	公 共 政策論 (副)	ジェンダー論 (副)	生活文化 学(副)	心理学(副)	消費者学 (学際)
	哲学	<u>•</u>	0	0	0	0	0
人文科学科	歴史	2 0	0	0	0	0	0
	地理	2 0	0	0	0	0	0
	グロダ	0	0	0	0	0	0
	日文	0	0	0	0	0	0
	中文	0	0	0	0	0	0
言語文化学科	文 英	0	0	0	0	0	0
	仏文	0	0	0	0	0	0
	グロダ	0	0	0	0	0	0
	社会	0	0	0	0	0	0
	教育	f 0	0	0	0	0	0
人間社会科学科	発 道		0	0	0	0	0
	子ども) (0	0	0	0	0
	グロダ	0	0	0	0	0	0
芸術・表現行動学科	舞蹈	6 0	0	0	0	0	0
云闸 农坑门勤子科	音楽	(0	0	0	0	0

別表第3 コア科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ		
リベラルアーツ演習 I	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2	
系列1 生命と環境		
(講義)		
生命と環境1	2	
生命と環境2	2	
生命と環境3	2	
生命と環境4	2	
生命と環境5	2	
生命と環境6	2	
生命と環境8	2	
生命と環境9	2	
(演習・実習)		
生命と環境21	2	
生命と環境22	2	
生命と環境25	2	
生命と環境26	2	
系列2 色·音·香		
(講義)		
色・音・香1	2	
色・音・香2	2	
色・音・香3	2	
色・音・香4	2	
色・音・香5	2	
色・音・香6	2	
色・音・香7	2	
色・音・香8	2	
色・音・香9	2	
色・音・香10	2	
(演習・実習)		
色·音·香22	2	
系列3 生活世界の安全保障		
(講義)		
生活世界の安全保障1	2	
生活世界の安全保障2	2	
生活世界の安全保障3	2	
生活世界の安全保障4	2	
生活世界の安全保障7	2	
生活世界の安全保障8	2	
生活世界の安全保障9	2	

,)	授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
	生活世界の安全保障10	2	
_	(演習・実習)		
	生活世界の安全保障23	2	
	生活世界の安全保障25	2	
	生活世界の安全保障26	2	
	系列4 ことばと世界		
	(講義)		
	ことばと世界1	2	
	ことばと世界2	2	
	ことばと世界3	2	
	ことばと世界4	2	
	ことばと世界5	2	
	ことばと世界6	2	
	ことばと世界7	2	
	ことばと世界8	2	
	ことばと世界10	2	
	ことばと世界11	2	
	ことばと世界12	2	
	(演習・実習)		
	ことばと世界27	2	
	系列5 ジェンダー		
	(講義)		
	ジェンダー1	2	
	ジェンダー2	2	
	ジェンダー3	2	
	ジェンダー4	2	
	ジェンダー5	2	
	ジェンダー6	2	
	ジェンダー8	2	
	ジェンダー9	2	
	基礎講義		
	哲学	2	
	現代心理学	2	
	法学 I (日本国憲法)	2	
	法学Ⅱ(法学入門)	2	
	法と文学	2	
	政治学入門	2	
	ミクロ経済学入門	2	
	マクロ経済学入門	2	
	基礎微分積分学	2	
	基礎線形代数学	2	
	•		

	1		T-100-41-	1	
授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)	授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
統計学	2	(** グローバル・イングリッシュ II(2)	1	(III · IV)
総合コース	2~4	(I ~ W)	**Advanced Communication Training I (1)	1	(I ~ W)
お茶の水女子大学論	2	(1)	**Advanced Communication Training I (2)	1	(I ~ Ⅳ)
防災・危機管理 白蜂災害に対せる歴災、減災	1		**Advanced Communication Training II(1) **Advanced Communication Training II(2)	1	(I ~ Ⅳ)
自然災害に対する防災・減災 学修ポートフォリオ入門	1 1		**Advanced Communication Training II(2) **Advanced Communication Training III(1)	1 1	$ \begin{array}{c} (I \sim V) \\ (I \sim V) \end{array} $
子修ホートフォリオ人门 自然科学課題研究支援プログラム	1		**Advanced Communication Training III(2)	1	$(I \sim IV)$ $(I \sim IV)$
情報(必修)	1		**Advanced Communication Training W(1)	1	$(I \sim IV)$
情報処理演習(1)	1		**Advanced Communication Training IV(2)	1	$(I \sim IV)$
情報処理演習(2)	1		**Advanced Communication Training V(1)	1	(I ~ W)
情報(選択)			**Advanced Communication Training V(2)	1	(I ~ W)
メディアリテラシ(1)	1		**Advanced Communication Training VI(1)	1	(I ~ IV)
メディアリテラシ(2)	1		**Advanced Communication Training VI(2)	1	(I ~ IV)
情報科学(1)	1		英語コミュニケーション I(1)	1	(I • II)
情報科学(2)	1		英語コミュニケーション I(2)	1	(I · II)
情報処理学(1)	1		英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(I · II)
情報処理学(2)	1		英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(I · II)
プログラミング演習 1	2		上級英語 I(1)	1	(III • IV)
プログラミング演習 2	2		上級英語 I(2)	1	(III · IV)
コンピュータ演習1 コンピュータ演習2	2 2		上級英語 II(1) 上級英語 II(2)	1 1	(III · IV)
コンピュータ演習 2 情報学演習 1	2		上級英語Ⅲ(2)	1	(III · IV)
情報学演習 2	2		上級英語Ⅲ(1)	1	(III · IV)
外国語(必修)	 	●人文科学科、言語文化学科:外国語の必	上級英語 W(1)	1	(III · IV)
/ 7 四 亩 (心 修)		修単位数は20単位。英語・ドイツ語・フ	上級英語 IV(1)	1	(III · IV)
		ランス語・中国語のうち、二つの言語に	ビジネス英語 I(1)	1	(II ~ IV)
		ついてそれぞれ8単位修得すること。残 りの4単位は、英語・ドイツ語・フラン	ビジネス英語 I(2)	1	(Ⅱ ~ W)
		ス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・	ビジネス英語 Ⅱ(1)	1	(Ⅱ ~ IV)
		スペイン語・イタリア語・アジア諸語か	ビジネス英語 Ⅱ(2)	1	$(II \sim IV)$
		ら修得すること。外国語科目の修得単位	時事英語 I(1)	1	$(II \sim IV)$
		のうち、必修単位数を超える分は「自由に 選択して履修する科目・単位」として卒業	時事英語 I(2)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
		に必要な履修単位数に組み入れられる。	時事英語 Ⅱ(1)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
		●グローバル文化学環:外国語の必修単位	時事英語 Ⅱ(2)	1	(II ~ IV)
		数は20単位。英語・ドイツ語・フランス	ドイツ語		
		語・中国語を第一外国語とし、その中か ら一つの言語について8単位修得するこ	* 基礎ドイツ語 I	2	(1)
		と。残りの12単位は、英語・ドイツ語・	* 基礎ドイツ語 II	2	(1)
		フランス語・中国語、もしくはロシア語・	* 基礎ドイツ語Ⅲ * # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	2	(1)
		朝鮮語・スペイン語・イタリア語・アジア諸語から終得すること。ただし第一州	* 基礎ドイツ語Ⅳ * 基礎ドイツ語(応用) I(1)	2	(I) (I)
		ア諸語から修得すること。ただし第一外 国語として選択した言語で満たすことの		1	(1)
		できる外国語の必修単位の合計は12単位	* 基礎ドイツ語(応用) I(2) * 基礎ドイツ語(応用) II(1)	1	(1)
		が上限である。外国語科目の修得単位数	* 基礎ドイツ語 (応用) II(2)	1	(1)
		のうち、必修単位数を超える分は「自由に 選択して履修する科目・単位」として卒業	* 発展ドイツ語 I(1)	1	(II)
		医がして 展修 する付日・ 単位」 こして 平来 に必要な 履修単位数に組み入れられる。	* 発展ドイツ語 I(2)	1	(II)
		●人間社会科学科、芸術・表現行動学科:外	* 発展ドイツ語 II(1)	1	(II)
		国語の必修単位数は12単位。英語・ドイ	* 発展ドイツ語 II(2)	1	(II)
		ツ語・フランス語・中国語のうち、一つの 言語について8単位修得すること。残りの	* 発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)
		4単位は、英語・ドイツ語・フランス語・	* 発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(II)
		中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・スペ	* 発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(II)
		イン語・イタリア語・アジア諸語から修得	* 発展ドイツ語 IV(2)	1	(II)
		すること。外国語科目の修得単位数のうち、 必修単位数を超える分は「自由に選択して	***基礎ドイツ語会話 I(1)	1	(I ~ IV)
		履修する科目・単位」として卒業に必要な	***基礎ドイツ語会話 I(2)	1	(I ~ W)
		履修単位数に組み入れられる。 ●短子学生のコスタロ五屋をよっいては即	***基礎ドイツ語会話 Ⅱ(1)	1	(I ~ W)
		●編入学生のコア外国語履修については別 に定める。	***基礎ドイツ語会話 II (2)	1	$(I \sim IV)$
		*及び**:必修単位に充てることができる	***ドイツ語初歩 I(1) ***ドイツ語初歩 I(2)	1 1	$(I \sim V)$ $(I \sim V)$
		基本科目。	***ドイツ語初歩 I(2) ***ドイツ語初歩 II(1)	1	$(1 \sim V)$ $(1 \sim V)$
		***:第二外国語あるいは第三外国語として8単位主法層條する場合のも以條単位	***ドイツ語初歩 II(1)	1	$(I \sim IV)$ $(I \sim IV)$
		て8単位未満履修する場合のみ必修単位 に充てることができる準基本科目。	フランス語	*	\ - • · · /
		*、**および***のついていない科目の単位	* 基礎フランス語 I	2	(1)
		は、特別措置等による認定がない限り、	* 基礎フランス語 II	2	(1)
英語		必修単位に充てることはできない。	* 基礎フランス語Ⅲ	2	(1)
*基礎英語 I(1)	1	(1)	* 基礎フランス語Ⅳ	2	(1)
*基礎英語 I(2)	1	(1)	* 基礎フランス語 (応用) I(1)	1	(1)
*基礎英語Ⅱ(1)	1	(1)	* 基礎フランス語 (応用) I(2)	1	(1)
*基礎英語 II(2)	1	(1)	* 基礎フランス語(応用) Ⅱ(1)	1	(1)
*中級英語 I(1)	1	(II)	* 基礎フランス語(応用) II(2)	1	(1)
* 中級英語 I(2)	1	(II)	* 発展フランス語 I (1) * 発展フランフ語 I (2)	1	(II)
* 中級英語 Ⅱ(1)	1	(II)	* 発展フランス語 I(2) * 発展フランス語 II(1)	1 1	(II)
*中級英語Ⅱ(2)	1	(II)	* 発展プランス語 II (1) * 発展プランス語 II (2)	1	(II) (II)
** 英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(III • IV)	* 発展フランス語 II(2)	1	
** 英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(III · IV)	* 発展フランス語 III(2)	1	
** 英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(III · IV)	* 発展フランス語IV(1)	1	(II)
** 英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(III · IV)	* 発展フランス語IV(2)	1	(II)
** 英語コミュニケーション V(1)	1	(III • IV)	***基礎フランス語会話 I(1)	1	(I ~ W)
** 英語コミュニケーション V(2)	1	(III • IV)	***基礎フランス語会話 I(2)	1	(I ~ Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅥ(1) ** 英語コミュニケーションⅥ(2)	1 1	(III · IV)	***基礎フランス語会話 II(1)	1	(I ~ W)
** 英語プレゼンテーション I(1)	1 1	(III · IV)	***基礎フランス語会話 II(2)	1	(I ~ Ⅳ)
** 英語プレゼンテーション I(1)	1	(III · IV)	***フランス語初歩 I(1)	1	(I ~ W)
** 英語プレゼンテーション II(1)	1	(III · IV)	***フランス語初歩 I(2)	1	(I ~ Ⅳ)
** 英語プレゼンテーション II(2)	1	(III · IV)	***フランス語初歩 II(1)	1	(I ~ Ⅳ)
** グローバル・イングリッシュ I(1)	1	(III · N)	***フランス語初歩 II(2)	1	(I ~ W)
** グローバル・イングリッシュ I(2)	1	(III · IV)	中国語		(1)
** グローバル・イングリッシュ II(1)	1	(III · IV)	▼ 基礎中国語 I	2	(1)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
* 基礎中国語 II	2	(1)
* 基礎中国語Ⅲ	2	(1)
* 基礎中国語 IV	2	(1)
* 基礎中国語(応用) I(1)	1	(1)
* 基礎中国語(応用) I(2)	1	(1)
* 基礎中国語(応用) II(1)	1	(1)
* 基礎中国語 (応用) II(1) * 基礎中国語 (応用) II(2)	1	(1)
* 発展中国語 I(1)	1	(I) (II)
* 発展中国語 I (2)	1	(II)
* 発展中国語 II(1)	1	(II)
* 発展中国語 II(2)	1	(II)
* 発展中国語 II(2)	1	(II)
* 発展中国語Ⅲ(2)	1	(II)
* 発展中国語 IV(1)	1	(II)
* 発展中国語 IV(2)	1	(II)
***基礎中国語会話 I(1)	1	(Ⅱ) (Ⅱ~Ⅳ)
***基礎中国語会話 I(2)	1	$(\Pi \sim \mathbb{N})$
***基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	$(\Pi \sim \mathbb{N})$
***基礎中国語会話 II(2)	1	$(\Pi \sim N)$ $(\Pi \sim N)$
***中国語初步 I(1)	1	$(I \sim IV)$ $(I \sim IV)$
***中国語初步 I(2)	1	$(I \sim IV)$
***中国語初步I(1)	1	$(I \sim IV)$
***中国語初步II(2)	1	$(I \sim N)$
中国語プレゼンテーションⅠ	2	$(I \sim IV)$
中国語プレゼンテーションⅡ	2	$(I \sim IV)$
ロシア語		(1 1)
*ロシア語初歩 I(1)	1	(I ~ W)
*ロシア語初歩 I(2)	1	$(I \sim IV)$
*ロシア語初歩 I(1)	1	$(I \sim IV)$
*ロシア語初歩 II(2)	1	$(I \sim IV)$
*ロシア語会話 I(1)	1	(I ~ W)
*ロシア語会話 I(2)	1	$(I \sim IV)$
*ロシア語会話 II(1)	1	(I ~ W)
*ロシア語会話 II(2)	1	(I ~ IV)
朝鮮語	1	(1 1)
*朝鮮語初歩 I (1)	1	(I ~ IV)
*朝鮮語初歩 I(2)	1	(I ~ W)
*朝鮮語初歩Ⅱ(1)	i	(I ~ IV)
*朝鮮語初歩 II (2)	1	(I ~ W)
*朝鮮語会話 I (1)	1	(I ~ W)
*朝鮮語会話 I (2)	1	(I ~ W)
*朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(I ~ W)
*朝鮮語会話 II (2)	1	(I ~ W)
スペイン語		
*現代スペイン語	4	(I ~ IV)
イタリア語		
*現代イタリア語	4	(I ~ W)
アジア諸語		
*現代アジア諸語 I	2	(I ~ IV)
*現代アジア諸語 II	2	(I ~ IV)
*現代アジア諸語Ⅲ	2	(I ~ IV)
*現代アジア諸語Ⅳ	2	(I ~ IV)
スポーツ健康(必修)		
スポーツ健康実習	2	(1)
スポーツ健康(選択)		
スポーツ科学概論	2	(I ∼ IV)
健康科学概論	2	(I ~ IV)
生涯スポーツ	0.5~3	(I ~ IV)
-		•

別表第4 専門教育科目(第6条関係)

主プログラム

哲学・倫理学・美術史主プログラム			単位数:44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から
倫理学基礎論	2	選択	4単位選択
美術史基礎論	2	選択	
比較文化史	2	選択	以下の科目から
比較社会史	2	選択	4単位選択
自然と人間	2	選択	
人間と空間	2	選択	
哲学・倫理学・美術史選択基礎	2	選択	
卒業論文	8	必修	
哲学概論 I	2	選択	以下の科目から
哲学概論Ⅱ	2	選択	28単位選択
倫理学概論 I	2	選択	
倫理学概論Ⅱ	2	選択	
美術史学概論	2	選択	
概念分析論演習I	2	選択	
概念分析論演習 Ⅱ	2	選択	
理論分析論演習 I	2	選択	
理論分析論演習 Ⅱ	2	選択	

(-) 10 - 1 -	A14 (1 W/	5.75 Amil	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
問題分析論演習 I 問題分析論演習 II	2 2	選択選択	
英書講読	2	選択	
哲学AI	2	選択	
哲学A II	2	選択	
哲学AⅢ	2	選択	
哲学AIV	2	選択	
哲学B I 哲学B II	2 2	選択選択	
哲学ВⅢ	2	選択	
哲学BIV	2	選択	
哲学C I	2	選択	
哲学CⅡ	2	選択	
哲学演習CI	2	選択	
哲学演習 C Ⅱ 哲学演習 C Ⅲ	2 2	選択選択	
哲学演習CIV	2	選択	
哲学演習 D I	2	選択	
哲学演習D Ⅱ	2	選択	
日本倫理思想史I	2	選択	
日本倫理思想史Ⅱ	2	選択	
西洋倫理思想史 I 西洋倫理思想史 II	2 2	選択 選択	
倫理思想史特殊講義 A I	2	選択	
倫理思想史特殊講義 A Ⅱ	2	選択	
倫理思想史特殊講義BI	2	選択	
倫理思想史特殊講義BⅡ	2	選択	
西洋美術史AI	2	選択	
西洋美術史AⅡ 西洋美術史AⅢ	2 2	選択選択	
西洋美術史BI	2	選択	
西洋美術史BII	2	選択	
西洋美術史BⅢ	2	選択	
東洋美術史A I	2	選択	
東洋美術史AII	2	選択	
東洋美術史AⅢ	2	選択	
東洋美術史BI 東洋美術史BⅡ	2 2	選択選択	
東洋美術史BⅢ	2	選択	
哲学演習AI	2	選択	
哲学演習AⅡ	2	選択	
哲学演習AⅢ	2	選択	
哲学演習 A IV 哲学演習 B I	2	選択	
哲学演習 В Ⅱ	2 2	選択選択	
哲学演習BⅢ	2	選択	
哲学演習BⅣ	2	選択	
倫理学演習 A	4	選択	
倫理学演習B	4	選択	
倫理思想史演習 A 倫理思想史演習 B	4	選択 選択	
倫理学特殊講義 A I	2	選択	
倫理学特殊講義AⅡ	2	選択	
倫理学特殊講義B I	2	選択	
倫理学特殊講義BⅡ	2	選択	
倫理学資料講読 日本 / 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	4	選択	
日本倫理思想史資料講読 西洋倫理思想史資料講読	4	選択選択	
倫理学研究	2	選択	
日本倫理思想史研究	2	選択	
西洋倫理思想史研究	2	選択	
宗教と倫理学	2	選択	
生命と倫理学	2	選択	
日本の社会と文化 日本文化の解釈学 I	2 2	選択選択	
日本文化の解釈学Ⅱ	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅲ	2	選択	
形象分析学演習 I	4	選択	
形象分析学演習 Ⅱ	4	選択	
形象分析学演習Ⅲ	4	選択	
形象分析学特殊講義 I 形象分析学特殊講義 II	4	選択選択	
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択	
美術史学演習 I	4	選択	
美術史学演習 Ⅱ	4	選択	
美術史学演習Ⅲ	4	選択	
美術史学特殊講義 I	4	選択	
美術史学特殊講義 II 美術史学特殊講義 III	4	選択選択	
八山入 1 円 //×町水 Ⅲ	Т	PZ I/C	ı

比較歴史学主プログラム			単位数:4
授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較文化史	2	必修	
比較社会史 哲学基礎論	2 2	必修 選択	以下の科目から
台子基院画 倫理学基礎論	2	選択	4単位選択
m理子基礎論 美術史基礎論	2	選択	4 早 业 选 八
天州 文本院 珊 自然と人間	2	選択	
日然こ八同 人間と空間	2	選択	
八両こ三両 日本文化史概論	2	選択	
日本史概説	2	選択	
アジア史概説	2	選択	
西洋史概説	2	選択	
日本史入門講読	2	選択	
外国史入門講読 I	2	選択	
外国史入門講読 II	2	選択	
七較歴史学選択基礎	2	選択	
日本史研究法(1)	1	選択	
日本史研究法(2)	1	選択	
アジア史研究法(1)	1	選択	
アジア史研究法(2)	1	選択	
西洋史研究法(1)	1	選択	
哲洋史研究法(2)	1	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
日本史講読	2	選択	
アジア史講読	2	選択	
西洋史講読	2	選択	
古文書学	2	選択	
歷史史料学	2	選択	
日本史論文講読	2	選択	
外国史論文講読	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択	
日本古代史演習 I	2	選択	以下の科目から
日本古代史演習 Ⅱ	2	選択	12単位以上選択
日本中世史演習 I	2	選択	
日本中世史演習 Ⅱ	2	選択	
日本近世史演習 I	2	選択	
日本近世史演習 Ⅱ	2	選択	
日本近代史演習 I	2	選択	
日本近代史演習 Ⅱ	2	選択	
日本古代史料演習 I	2	選択	
日本古代史料演習 Ⅱ	2	選択	
日本中世史料演習 I	2	選択	
日本中世史料演習 Ⅱ	2	選択	
日本近世史料演習 I	2	選択	
日本近世史料演習 Ⅱ	2	選択	
日本近代史料演習 I	2	選択	
日本近代史料演習 Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習 I	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習 I	2	選択	
西アジア史演習 Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習 I	2	選択	
東アジア史料演習 Ⅱ	2	選択	
西アジア史料演習 I	2	選択	
西アジア史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋政治史演習 I	2	選択	
西洋政治史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習 I	2	選択	
西洋社会史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習 I	2	選択	
西洋社会経済史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習 I	2	選択	
西洋政治史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習 I	2	選択	
西洋社会史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習 I	2	選択	
西洋社会経済史料演習 Ⅱ	2	選択	
史学研究指導	2	選択	

地理環境学主プログラム			単位数:44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と空間	2	必修	
自然と人間	2	必修	
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から
倫理学基礎論	2	選択	4単位選択
美術史基礎論	2	選択	
比較文化史	2	選択	
比較社会史	2	選択	
都市と自然	2	選択	以下の科目から
地理学選択基礎	2	選択	10単位選択

授業科目	単位数	必修・選択	備考
地理学英書講読	2	選択	
地図学	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
測量学	2	選択	
地誌学	2	選択	
地理情報システム演習 I	2	選択	
環境地理学基礎演習	4	選択	以下の科目から
人文地理学分析基礎演習	4	選択	4単位選択
地域分析学演習 I	2	選択	以下の科目から
環境地理学演習 I	2	選択	2単位選択
自然地理学演習 I	2	選択	
社会地理学演習	2	選択	
都市·福祉地理学演習 I	2	選択	
地理学フィールドワーク A	2	必修	
地理学フィールドワークB	2	必修	
地理学フィールドワーク演習	2	必修	
地理学研究法演習	2	必修	
地域分析学演習 Ⅱ	2	選択	以下の科目から
環境地理学演習 Ⅱ	2	選択	2単位選択
都市・福祉地理学演習Ⅱ	2	選択	
地理学卒業演習	2	必修	
卒業論文	8	必修	

日本語・日本文学主プログラム			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から
日本語学通論	2	選択	8単位選択
英語圈言語文化入門(1)	1	選択	
英語圈言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋~清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 I	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 Ⅱ	2	選択	
言語学入門 I(1)	1	選択	
言語学入門 I (2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から
日本古典文学史論(中古)	2	選択	8単位選択
日本古典文学史論(中世)	2	選択	
日本古典文学史論(近世)	2	選択	
日本近代文学史論(近代)	2	選択	
日本近代文学史論(現代)	2	選択	
日本語語彙論	2	選択	以下の科目から
日本語文法総論	2	選択	2単位選択
日本語音声表現論	2	選択	2年区选扒
日本語文章表現論	2	選択	以下の科目から
日本文学論講読 I	2	選択	2単位選択
	2		2年世.选択
日本文学論講読Ⅱ		選択	
日本文学論講読Ⅲ	2	選択	
日本文学論講読IV	2	選択	
日本言語文化論Ⅰ	2	選択	
日本言語文化論Ⅱ	2	選択	District Control
日本語学特殊研究	2	選択	以下の科目から
日本語史特殊研究	2	選択	6単位選択
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	
日本語学特殊講義 I	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義 I	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義 I	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本語・日本文学選択基礎	2	選択	
日本古典文学論基礎演習 I	2	必修	
日本古典文学論演習(上代) I	2	選択	以下の科目から
日本古典文学論演習(上代)Ⅱ	2	選択	6単位選択(同一
日本古典文学論演習(中古) I	2	選択	演習のⅠ、Ⅱを
日本古典文学論演習(中古)Ⅱ	2	選択	必ず一組は含む
日本古典文学論演習(中世) I	2	選択	こと)
日本古典文学論演習(中世)Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論演習(近世) I	2	選択	
日本古典文学論演習(近世)Ⅱ	2	選択	
日本近代文学論演習(近代) I	2	選択	
日本近代文字論演習(近代)Ⅱ	2	選択	
日本近代文字論演習(近代) I 日本近代文学論演習(現代) I	2	選択	
日本近代文学論演習(現代)Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本語学演習(日本語史) I	2	選択	
日本語学演習(日本語史)Ⅱ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語) I	2	選択	
日本語学演習(近・現代語) II	2	選択	
日本語学研究指導	2	選択	以下の科目から
日本文学研究指導	2	選択	2単位選択
卒業論文	8	必修	

中国語圏言語文化主プログラム			単位数:44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から
日本語学通論	2	選択	8単位選択
英語圏言語文化入門(1)	1	選択	
英語圈言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋~清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 I	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 Ⅱ	2	選択	
言語学入門 I(1)	1	選択	
言語学入門 I(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
中国語ヒアリング基礎	2	必修	
中国語コミュニケーション・スキル	2	必修	
中国語作文基礎演習	2	必修	
中国語作文応用演習	2	必修	
中国語講読	2	必修	
中国語学概論	2	必修	
中国古典文学史(先秦~唐)	2	必修	
中国文化論	2	選択	以下の科目から
中国現代作家論	2	選択	12単位選択
日中対照言語学	2	選択	
中国語統語論	2	選択	
中国古典文献講読入門	2	選択	
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	
中国語圏言語文化選択基礎	2	選択	
中国現代文化特別演習	2	選択	以下の科目から
中国現代語学特別演習	2	選択	2単位選択
中国古典文献特別演習	2	選択	
中国古典文学特別演習	2	選択	
卒業論文	8	必修	

英語圏言語文化主プログラム		単位数:44	
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から
日本語学通論	2	選択	8単位選択
英語圈言語文化入門(1)	1	選択	
英語圈言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋~清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 I	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 Ⅱ	2	選択	
言語学入門 I(1)	1	選択	
言語学入門 I(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
英米文学演習(初級)	2	必修	
英作文演習(初級)	2	必修	
英会話演習(初級)	2	必修	
対照表現学演習 I(1)	1	必修	
対照表現学演習 I(2)	1	必修	
対照表現学演習 Ⅱ	2	必修	
英文法 I (1)	1	必修	
英文法 I (2)	1	必修	
英文法Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	
特別演習(言語研究方法論) I(1)	1	選択	以下の科目から
特別演習(言語研究方法論) I(2)	1	選択	6単位選択
特別演習(言語研究方法論)Ⅱ	2	選択	
特別演習(英米文学研究方法論) I(1)	1	選択	
特別演習(英米文学研究方法論) I(2)	1	選択	
特別演習(英米文学研究方法論)Ⅱ	2	選択	
特別演習(作品分析)	2	選択	
特別演習(言語資料分析)	2	選択	
英語学入門(1)	1	選択	以下の科目から
英語学入門(2)	1	選択	8単位選択
英語学概論	2	選択	
英文法演習	2	選択	
英語音声学演習	2	選択	
英文学史 I(1)	1	選択	
英文学史 I(2)	1	選択	
英文学史Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
米文学史 I(1)	1	選択	
米文学史 I(2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英語圈言語文化選択基礎	2	選択	
英語圏テキスト研究入門(1)	1	選択	
英語圏テキスト研究入門(2)	1	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	
英会話演習(中級)	2	選択	
英文学特殊講義 I	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義IV	2	選択	
英文学特殊講義V	2	選択	
英文学特殊講義VI	2	選択	
英文学特殊講義WI	2	選択	
英文学特殊講義WI	2	選択	
英語学特殊講義 I	2	選択	
英語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義IV	2	選択	
英語学特殊講義V	2	選択	
英語学特殊講義VI	2	選択	
英語学特殊講義WI	2	選択	
英語学特殊講義WI	2	選択	
英語圏言語文化研究 I	2	選択	
英語圏言語文化研究 Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
第二言語教授法研究	2	選択	

仏語圏言語文化主プログラム			単位数:4
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	選択	以下の科目から
日本語学通論	2	選択	8単位選択
英語圈言語文化入門(1)	1	選択	
英語圈言語文化入門(2)	1	選択	
中国現代文学史	2	選択	
中国古典文学史(宋~清)	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論 I	2	選択	
ヨーロッパ言語文化論Ⅱ	2	選択	
言語学入門 I(1)	1	選択	
言語学入門 I(2)	1	選択	
言語学入門Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化基礎演習	2	必修	
欧州文化論Ⅰ	2	選択	以下の科目から
欧州文化論Ⅱ	2	選択	24単位選択
欧州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論IV	2	選択	
西欧社会文化論Ⅰ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅱ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論IV	2	選択	
独文学演習I	2	選択	
欠え子供自 1 独文学演習 II	2	選択	
	2	選択	
独文学特殊講義Ⅰ			
独文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
ドイツ語講読演習Ⅰ	2	選択	
ドイツ語講読演習Ⅱ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
仏語圏言語文化論 I	2	選択	
仏語圏言語文化論 Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	選択	
仏語圏社会言語論 I	2	選択	
仏語圏社会言語論 Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論 I	2	選択	
フランス社会文化論 Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論IV	2	選択	
基礎仏作文演習 I	2	選択	
基礎仏作文演習 Ⅱ	2	選択	
中級仏作文演習 I	2	選択	
中級仏作文演習 Ⅱ	2	選択	
基礎仏会話演習	2	選択	
中級仏会話演習	2	選択	
上級仏会話演習 I	2	選択	
上級仏会話演習Ⅱ	2	選択	
基礎仏語学演習 I	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習Ⅰ	2	選択	
中級仏語子演習Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
応用仏語学演習I	2	選択	
応用仏語学演習Ⅱ	2	選択	
応用仏語学演習Ⅲ	2	選択	
応用仏語学演習IV	2	選択	
近代仏文学演習I	2	選択	
近代仏文学演習 Ⅱ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	2	選択	
近代仏文学特殊講義 I	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習 I	2	選択	
現代仏文学演習 Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義 I	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	
仏語言語文化研究指導	2	必修	
卒業論文	8	必修	
仏語圏言語文化選択基礎	2	選択	

社会学主プログラム			単位数:48
授業科目	単位数	必修・選択	備考
社会学総論	2	必修	以下の科目から
人間科学論	2	選択	6~8単位選択
子ども学総論	2	選択	
人間と発達	2	選択	
社会学選択基礎	2	選択	以下の科目かり
☆政治学総論 I	2	選択	14~16単位選打
☆政治学総論 Ⅱ	2	選択	(内☆の科目かり
☆経済学総論Ⅰ	2	選択	は2単位まで、う
☆経済学総論Ⅱ	2	選択	の科目からは、 単位までを含める
☆法学総論Ⅰ	2	選択	年世まじを占め、
☆法学総論Ⅱ	2	選択	CCN (CO.30)
☆哲学総論	2	選択	
☆倫理学総論	2	選択	
ジェンダー社会論	2	選択	
現代社会論	2	選択	
現代生活論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
比較社会論	2	選択	
社会政策論Ⅰ	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
社会問題論(1)	1	選択	
社会問題論(2)	1	選択	
社会調査の設計と実施	2	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義 文化人類学概論(1)	2	選択	
	1	選択	
文化人類学概論(2) 文化人類学特殊講義	1	選択	
又化八類子行殊神我 民族誌学特殊講義	2 2	選択選択	
比較社会政策論	2	選択	
□♥11云以東疆 子ども社会学概論(1)	1		
子とも社会学概論(2) 子ども社会学概論(2)	1	選択	
于こも社会学帆編(2) フィールドワーク方法論	2	選択	
ノィールドワークガ伝画 人間と空間	2	選択	
大同こ三同 都市地理学	2	選択	
部中地程子 ※社会福祉学	2	選択	
※社会世紀子 ※家族社会学(1)	1	選択	
※ 家族社会学(2)	1	選択	
※老人福祉論	2	選択	
※老年学	2	選択	
※地域社会論	2	選択	
※児童福祉論	2	選択	
※応用生活統計学(1)	1	選択	
※応用生活統計学(2)	1	選択	
※社会統計学 I	2	選択	
ジェンダー論演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から
ジェンダー論演習Ⅱ	2	選択	10~12単位選択
現代社会論演習 I	2	選択	10 12-10.027
現代社会論演習Ⅱ	2	選択	
社会保障論演習 I	2	選択	
社会保障論演習Ⅱ	2	選択	
社会政策論演習 I	2	選択	
社会政策論演習Ⅱ	2	選択	
□云以永岫(页 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	2	選択	
現代生活論演習Ⅱ	2	選択	
光代主行冊仮目 I 社会意識論演習 I	2	選択	
社会意識論演習Ⅱ	2	選択	
社会学演習 I	2	選択	
教育社会学演習 Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
学校社会学演習 I	2	選択	
学校社会学演習 Ⅱ	2	選択	
文化人類学演習 I	2	選択	
文化人類学演習 Ⅱ	2	選択	
民族誌学演習I	2	選択	
民族誌学演習Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習 I	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	
社会調査法	4	必修	
社会学研究指導 I	2	必修	
社会学研究指導 Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	

卒業論文	- 8	必修	
教育科学主プログラム			単位数:48
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と発達	2	必修	必修の科目を含め
人間科学論	2	選択	て6単位選択
子ども学総論	2	選択	
社会学総論 ジェンダー社会論	2	選択	以下の科目から6
現代社会論	2	選択	単位選択
社会意識論	2	選択	712.27
社会政策論Ⅰ	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
幼児教育学原論(1)	1	選択	
幼児教育学原論(2)	1	選択	
子ども社会学概論(1)	1	選択	
子ども社会学概論(2)	1	選択	
幼児教育制度概論(1)	1	選択	
幼児教育制度概論(2)	1	選択	
幼児教育方法学概論	2	選択	
幼児教育課程概論	2	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択	NTANDLAC
教育思想概論(1)	1	選択	以下の科目から6 単位選択
教育思想概論(2) 教育史概論(1)	1	選択選択	平区送水
教育史概論(2)	1	選択	
教育·発達心理学概論(1)	1	選択	
教育·発達心理学概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育制度概論	2	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	
教育課程概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
教育科学概論	2	選択	NTANDLE C
教育思想特殊講義 教育人間学特殊講義	2 2	選択選択	以下の科目から6 単位選択
教育史特殊講義	2	選択	平压 870
教育制度特殊講義	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	
教育方法学特殊講義	2	選択	
教育課程特殊講義	2	選択	
教育開発特殊講義	2	選択	
比較教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義 I	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	選択	
教育科学選択基礎	2	選択	
教育思想演習 I	2	選択	以下の科目から
教育思想演習Ⅱ	2	選択	12単位選択
教育人間学演習 I	2	選択	
教育人間学演習Ⅱ	2	選択	
教育史演習Ⅰ	2	選択	
教育史演習 Ⅱ 教育制度演習 Ⅰ	2 2	選択	
教育制度演習 II	2	選択	
教育社会学演習I	2	選択	
教育社会学演習Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習Ⅰ	2	選択	
学校社会学演習Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習I	2	選択	
教育方法学演習 Ⅱ	2	選択	
教育課程演習 I	2	選択	
教育課程演習 Ⅱ	2	選択	
教育開発演習I	2	選択	
教育開発演習Ⅱ	2	選択	
比較教育演習I	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較教育演習Ⅱ	2	選択	
教育科学演習 A I	2	選択	
教育科学演習 A Ⅱ	2	選択	
教育科学演習BI	2	選択	
教育科学演習BⅡ	2	選択	
教育実地研究 I	1	必修	
教育実地研究Ⅱ	1	必修	
教育科学研究指導 I	1	必修	
教育科学研究指導 Ⅱ	1	必修	
卒業論文	8	必修	

総合人間発達科学専修プログラム(小学校教	単位数: 10		
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と発達	2	0	◎の科目を含め
人間科学論	2	0	6単位選択
子ども学総論	2	0	
社会学総論 2017年11月2日	2	0	0.000
ジェンダー社会論	2	0	○の科目から4.位選択
現代社会論	2	0	1 2 选択
社会意識論 社会政策論 Ⅰ	2 2		
江云以來論 1 文化人類学概論(1)	1		
文化人類学概論(2)	1		
幼児教育学原論(1)	1		
幼児教育学原論(2)	1		
子ども社会学概論(1)	1		
子ども社会学概論(2)	1	0	
切児教育制度概論(1)	1	Ö	
幼児教育制度概論(2)	1	Ö	
幼児教育方法学概論	2	Ō	
幼児教育課程概論	2	Ō	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	Ō	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	Ō	
教育思想概論(1)	1	0	◎の科目を含め
教育思想概論(2)	1	0	16単位選択
教育史概論(1)	1	0	
教育史概論(2)	1	0	
教育・発達心理学概論(1)	1	0	
教育・発達心理学概論(2)	1	0	
教育社会学概論(1)	1	0	
教育社会学概論(2)	1	0	
教育制度概論	2	0	
教育方法学概論(1)	1	0	
教育方法学概論(2)	1	0	
教育課程概論(1)	1	0	
教育課程概論(2)	1	0	
教育開発概論(1)	1	0	
教育開発概論(2)	1	0	
生涯学習概論	2	0	
教育科学概論	2	0	
教育思想特殊講義	2	0	◎を含めて8単
教育人間学特殊講義	2	0	選択
教育史特殊講義	2	0	
教育制度特殊講義	2	0	
教育社会学特殊講義	2	0	
学校社会学特殊講義	2	0	
教育方法学特殊講義 ************************************	2	0	
教育課程特殊講義 教育問及特殊講義	2	0	
教育開発特殊講義 小畝教会性死謝差	2 2	0	
比較教育特殊講義 教育科学特殊講義 I	2 2	0	
以百科字符殊講義 I 教育科学特殊講義 II	2 2		
以目代子付外再表Ⅱ 子ども発達論(1)	1		
げこも光達論(1) 子ども発達論(2)	1		
プログル 注画(2) 人間関係論(1)	1		
人間関係論(2)	1		
子ども学特殊講義(1)	1	Ö	
子ども学特殊講義(2)	1	0	
学校インターンシップ	2	0	
教育科学選択基礎	2	Ö	
教育思想演習 I	2	0	○の科目から:
教育思想演習 Ⅱ	2	Ö	単位選択(△の
教育人間学演習 I	2	Ö	目は4単位まで
教育人間学演習 Ⅱ	2	Ö	めることがで
教育史演習 I	2	Ö	る)
教育史演習Ⅱ	2	Ö	
教育制度演習 I	2	Ö	
教育制度演習 II	2	0	
教育社会学演習 I	2	Ö	
教育社会学演習 Ⅱ	2	Ö	
学校社会学演習 I	2	0	
学校社会学演習 II	2	Ö	
	2	Ö	I

授業科目	単位数	必修・選択	備考
教育方法学演習 Ⅱ	2	② ○	川か
教育課程演習 I	2		
教育課程演習Ⅱ	2	0	
教育開発演習I	2	0	
教育開発演習Ⅱ	2	0	
比較教育演習I	2	0	
比較教育演習Ⅱ	2	0	
教育科学演習AI	2	0	
教育科学演習 A II	2	0	
教育科学演習BI	2	0	
教育科学演習BⅡ	2		
幼児教育学演習 I	2	Δ	
幼児教育学演習Ⅱ	2	Δ	
保育学演習I	2	Δ	
保育学演習Ⅱ	2	Δ	
子ども社会学演習I	2	Δ	
子ども社会学演習Ⅱ	2	Δ	
家庭教育論演習Ⅰ	2	Δ	
家庭教育論演習Ⅱ	2	Δ	
幼児教育制度演習I	2	Δ	
幼児教育制度演習Ⅱ	2	Δ	
子ども発達環境論演習I	2	Δ	
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	Δ	
子ども学演習Ⅰ	2	Δ	
子ども学演習Ⅱ	2	Δ	
教育実地研究 I	1	0	
教育実地研究Ⅱ	1	0	
教育科学研究指導 I	1	0	
教育科学研究指導Ⅱ 教育科学研究指導Ⅱ	1	0	
卒業論文	8	0	
教職概論(1)	1	0	
教職概論(2)	1	0	
教育実習(幼小)	4	0	
事前・事後指導(幼小)	1	0	
教職実践演習(幼小中高)	2	0	
道徳教育の理論と方法	2	0	
特別活動の理論と方法	2	0	
生徒指導と進路指導の理論と方法	2	0	
学校カウンセリング	2	0	
初等科教育法(国語)	2	0	
初等科教育法(社会)	2	0	
初等科教育法(算数)	2	0	
初等科教育法(理科)	2	0	
初等科教育法(生活)	2	0	
初等科教育法(音楽)	2	0	
初等科教育法(図画工作)	2	0	
初等科教育法(家庭)	2	0	
初等科教育法(体育)	2	0	
国語科教育論	1	0	◎の科目を含めて
社会科教育論	1	0	8単位選択
算数科教育論	1		
理科教育論	1	0	
生活科教育論	1	0	
家庭科教育論	1		
教職音楽実技 I	1	0	
教職音楽美技Ⅱ	1	0	
教職首架美技	1	0	
	2	0	
体育実技	2	0	l

子ども学主プログラム	,		単位数:48
授業科目	単位数	必修・選択	備考
子ども学総論	2	必修	
社会学総論	2	選択	以下の科目から4
人間と発達	2	選択	単位選択
人間科学論	2	選択	
幼児教育方法学概論	2	選択	以下の科目から
幼児教育課程概論	2	選択	10単位以上選択
子ども社会学概論(1)	1	選択	
子ども社会学概論(2)	1	選択	
幼児教育制度概論(1)	1	選択	
幼児教育制度概論(2)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択	
幼児教育学原論(1)	1	選択	
幼児教育学原論(2)	1	選択	
子ども発達論(1)	1	選択	
子ども発達論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	
人間関係論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
子ども学選択基礎	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
幼児教育学演習 I	2	選択	以下の科目から
幼児教育学演習 Ⅱ	2	選択	12単位選択
保育学演習I	2	選択	
保育学演習 Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅰ	2	選択	
子ども社会学演習Ⅱ	2	選択	
家庭教育論演習 I	2	選択	
家庭教育論演習Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習 I	2	選択	
幼児教育制度演習Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅰ	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	選択	
子ども学演習	2	選択	
子ども学演習Ⅱ	2	選択	
子ども学フィールドワーク	2	選択	必修を含めて12
子ども学インターンシップ	2	選択	単位
子ども学研究指導Ⅰ	1	必修	
	_		
子ども学研究指導Ⅱ	1	必修	
卒業論文	8	必修	NTANDIA
現代社会論	2	選択	以下の科目から6 単位選択
社会意識論	2	選択	単位 選択
社会政策論I	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
教育思想概論(1)	1	選択	
教育思想概論(2)	1	選択	
教育史概論(1)	1	選択	
教育史概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	
教育課程概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
学校インターンシップ	2	選択	
児童福祉論	2	選択	以下の科目から2
発達臨床心理学	2	選択	単位選択
臨床心理学概論	2	選択	
乳幼児教育論V	1	選択	
子ども学ゼミV	1	選択	
乳幼児の世界 I	1	選択	
乳幼児の世界Ⅱ	1	選択	
子ども学研究法Ⅱ	1	選択	
子ども学研究法Ⅲ	1	選択	

総合人間発達科学専修プログラム(幼稚園	教員免許取得)		単位数:10
授業科目	単位数	必修・選択	備考
子ども学総論	2	0	◎の科目を含めて
人間と発達	2	0	6単位選択
人間科学論	2	0	
社会学総論	2	0	
幼児教育学原論(1)	1	0	◎の必修14単作
幼児教育学原論(2)	1	0	を含めて32単作
幼児教育方法学概論	2	0	選択
幼児教育課程概論	2	0	
子ども社会学概論(1)	1	0	
子ども社会学概論(2)	1	0	
幼児教育制度概論(1)	1	0	
幼児教育制度概論(2)	1	0	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	0	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	0	
教育思想概論(1)	1	0	
教育思想概論(2)	1	0	
教育史概論(1)	1	0	
教育史概論(2)	1	0	
教育・発達心理学概論(1)	1	0	
教育・発達心理学概論(2)	1	0	
教育社会学概論(1)	1	0	
教育社会学概論(2)	1	0	
教育制度概論	2	0	
教育方法学概論(1)	1	0	
教育方法学概論(2)	1	0	
教育課程概論(1)	1	Ō	
教育課程概論(2)	1	0	
教育開発概論(1)	1	Ō	
教育開発概論(2)	1	Ö	
教育科学概論	2	Ö	
現代社会論	2	Ö	
社会意識論	2	Ö	
社会政策論I	2	Ö	
文化人類学概論(1)	1	Ö	
文化人類学概論(2)	1	0	

子ども発達論1) 1 子ども発達論2) 1 人間関係論1) 1 人間関係論2) 1 子ども学特殊講義1) 1 子ども学特殊講義2) 1 学校インターンシップ 2 ストは、常期における	
人間関係論1	
人間関係論2 1 ○ 子ども学特殊講義1 1 ○	
子ども学特殊講義(1) 1 子ども学特殊講義(2) 1 学校インターンシップ 2	
子ども学特殊講義(2) 1 学校インターンシップ 2	
学校インターンシップ 2 ○	
子ども学選択基礎 2 ○	
幼児教育学演習 I 2	○の科目から16
幼児教育学演習Ⅱ 2 ○	単位選択(△の科
保育学演習 I 2	目は4単位まで含
保育学演習Ⅱ 2 ○	めることができ る)
子ども社会学演習 I 2 ○	(3)
子ども社会学演習 II 2 ○	
家庭教育論演習 I	
幼児教育制度演習 I 2	
幼児教育制度演習Ⅱ 2 ○	
子ども発達環境論演習 I 2	
子ども発達環境論演習Ⅱ 2 ○	
子ども学演習 I	
子ども学演習 II	
教育思想演習 I 2 △	
教育思想演習 I	
教育人間学演習Ⅱ 2 △	
教育央演習 I	
教育史演習Ⅱ 2 △	
教育制度演習 I 2 △	
教育制度演習Ⅱ 2 △	
教育社会学演習 I 2 △	
教育社会学演習 II 2 △	
学校社会学演習 I	
予代社会子演音 I	
教育方法学演習Ⅱ 2 △	
教育課程演習 I 2 △	
教育課程演習Ⅱ 2 △	
教育開発演習 I 2 △	
教育開発演習Ⅱ 2 △	
比較教育演習 I 2 △	
比較教育演習 I	
教育科学演習 A II 2 △	
教育科学演習BI 2 △	
教育科学演習ВⅡ 2 △	
子ども学フィールドワーク 2 ○	◎の科目を含めて
子ども学インターンシップ 2 ○	12単位
子ども学研究指導 I □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
子ども学研究指導Ⅱ 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
卒業論文 8 教職概論(1) 1	9単位
教職概論(2) 1 ②	3 年14
教育実習(幼小) 4 ②	
事前・事後指導(幼小) 1 ◎	
教職実践演習(幼小中高) 2 ◎	
学校カウンセリング 2 ○	◎の科目を含めて
幼児理解と教育相談 2 ◎	2単位以上
国語科教育論	◎の科目を含めて 8単位以上
社会科教育論	0 平世丛上
理科教育論 1	
生活科教育論 1 ②	
家庭科教育論 1	
教職音楽実技 I □ □ □	
教職音楽実技Ⅱ 1 ◎	
図画工作科教育論 1 ◎	
体育実技 2 © (P. Art D. Art P. Ar	16 甾片
保育内容指導法(健康) 2 □ □ □	16単位
保育内容指導法(環境)	
保育内容指導法(言葉) 2	
保育内容指導法(表現 I)	
保育内容指導法(表現Ⅱ) 2 ◎	
保育指導法 I ② ◎	
保育指導法Ⅱ 2 ◎	

グローバル文化学主プログラム			単位数:44
授業科目	単位数	必修・選択	備考
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から
倫理学基礎論	2	選択	所属する学科が
美術史基礎論	2	選択	開講する科目4
比較文化史	2	選択	単位選択
比較社会史	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
(間と空間	2	選択	
然と人間	2	選択	
本文学概説	2	選択	
本語学通論	2	選択	
語圈言語文学入門(1)	1	選択	
語圈言語文学入門(2)	1	選択	
国古典文学史(宋~清)	2	選択	
¹ 国現代文学史	2	選択	
言語学入門 I (1)	1	選択	
語学入門 I (2)	1	選択	
	2		
言語学入門Ⅱ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		選択	
「一ロッパ言語文化論 I	2	選択	
「一ロッパ言語文化論 Ⅱ	2	選択	
L会学総論	2	選択	
、間と発達	2	選択	
、間科学論	2	選択	
ととも学総論	2	選択	
「ローバル文化学総論	2	選択	以下の科目から
際関係論	2	選択	8単位以上選択
t治学総論 I	2	選択	
治学総論Ⅱ	2	選択	
ローバル・メディア論	2	選択	
ローバル化と経済	2	選択	
ご較ジェンダー論	2	選択	
之較法文化論	2	選択	
		1	
プローバル・ヒストリー	2	選択	
域研究方法論	2	選択	
化理論研究	2	選択	
文化間交流論(1)	1	選択	
文化間交流論(2)	1	選択	
言語と文化(1)	1	選択	
言語と文化(2)	1	選択	
際協力学	2	選択	
プローバル文化学選択基礎	2	選択	
化変動論I	2	選択	以下の科目から
化変動論 II	2	選択	4単位以上選択
			1十四丛上西代
スラム社会文化論 I(1)	1	選択	
スラム社会文化論 I(2)	1	選択	
スラム社会文化論Ⅱ	2	選択	
セアニア社会文化論 I	2	選択	
セアニア社会文化論Ⅱ	2	選択	
日交流論	2	選択	
国社会文化論	2	選択	
アジア社会文化論	2	選択	
アジア社会文化論	2	選択	
プリカ社会文化論	2	選択	
2域研究特論	2	選択	
E語圈事情(1)	1	選択	
語圏事情(2)	1	選択	N-2-2-
化と人間関係 I	2	選択	以下の科目から
化と人間関係Ⅱ	2	選択	4単位以上選択
`ローバル化と言語教育 I (1)	1	選択	
'ローバル化と言語教育 I (2)	1	選択	
'ローバル化と言語教育Ⅱ(1)	1	選択	
プローバル化と言語教育Ⅱ(2)	1	選択	
現行動論Ⅰ	2	選択	
:現行動論 I :現行動論 II	1		
	2	選択	
語と社会I	2	選択	
語と社会Ⅱ	2	選択	
文化共生論	2	選択	
I際交流論 I	2	選択	
目際交流論 Ⅱ	2	選択	
文化交流特論	2	選択	
国際協力方法論 I	2	選択	以下の科目から
際協力方法論Ⅱ(1)	1	選択	4単位以上選択
	1	1	* 平世以上選択
】際協力方法論 Ⅱ(2)	1	選択	
和構築論I	2	選択	
和構築論Ⅱ(1)	1	選択	
和構築論 Ⅱ(2)	1	選択	
際開発論 I	2	選択	
際開発論Ⅱ	2	選択	
`ローバル化と労働	2	選択	
	2	1	
国際機構論		選択	
際教育協力論	2	選択	
「G O∕N P O論	2	選択	
比較社会政策論	2	選択	
山域開発論	2	選択	
国際金融論	2	選択	
国際協力特論	2	選択	
			りての利用・
多文化交流実習 I	2	選択	以下の科目から
文化交流実習Ⅱ	2	選択	4単位以上選択
及化交流実習Ⅲ	2	選択	
		Salat Jura	I .
5文化交流実習 Ⅳ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
グローバル文化学実習 I	2	選択	
グローバル文化学実習 Ⅱ	2	選択	
地域研究実習 I	2	選択	
地域研究実習 Ⅱ	2	選択	
国際協力実習 I	2	選択	
国際協力実習 Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅲ	2	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
グローバル文化学方法論	2	選択	
グローバル文化学特論	2	必修	
卒業研究	8	必修	
卒業研究演習	2	選択	

別表第5 専門教育科目(第6条関係)

強化プログラム

授業科目	単位数	必修・選択	備考
哲学演習 A I	2	選択	以下の科目から
哲学演習 A Ⅱ	2	選択	18~20単位選択
哲学演習AⅢ	2	選択	
哲学演習 A IV	2	選択	
哲学演習BI	2	選択	
哲学演習BⅡ	2	選択	
哲学演習 Β Ⅲ	2	選択	
哲学演習 B Ⅳ	2	選択	
哲学特別研究 A I	2	選択	
哲学特別研究 A Ⅱ	2	選択	
哲学特別研究 A Ⅲ	2	選択	
哲学特別研究BI	2	選択	
哲学特別研究 В Ⅱ	2	選択	
哲学特別研究BⅢ	2	選択	
	2		
哲学研究指導 I		選択	
哲学研究指導Ⅱ	2	選択	
倫理学演習 A	4	選択	
倫理学演習 B	4	選択	
倫理思想史演習 A	4	選択	
倫理思想史演習 B	4	選択	
倫理学特殊講義 A I	2	選択	
倫理学特殊講義AⅡ	2	選択	
倫理学特殊講義B I	2	選択	
倫理学特殊講義BⅡ	2	選択	
倫理学資料講読	4	選択	
日本倫理思想史資料講読	4	選択	
西洋倫理思想史資料講読	4	選択	
倫理学研究	2	選択	
日本倫理思想史研究	2	選択	
西洋倫理思想史研究	2	選択	
宗教と倫理学	2	選択	
生命と倫理学	2	選択	
日本の社会と文化	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅰ	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅱ	2	選択	
日本文化の解釈学Ⅲ	2	選択	
倫理学研究指導 Ⅰ	2	選択	
倫理学研究指導Ⅱ	2	選択	
侖理学研究指導Ⅲ	2	選択	
形象分析学演習 I	4	選択	
形象分析学演習 Ⅱ	4	選択	
形象分析学演習Ⅲ	4	選択	
形象分析学調査演習	2	選択	
形象分析学特殊講義 I	4	選択	
形象分析学特殊講義 II	4	選択	
F象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択	
美術史学演習 I	4	選択	
天州丈子供自 I 美術史学演習 II			
	4	選択	
美術史学演習Ⅲ	4	選択	
美術史学特殊講義 I	4	選択	
美術史学特殊講義 Ⅱ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	選択	
美術史学研究指導 I	4	選択	
美術史学研究指導 Ⅱ	4	選択	
美術史学研究指導Ⅲ	4	選択	
社会学通論 I	2	選択	以下の科目か
社会学通論Ⅱ	2	選択	0~2単位選択
経済学通論 I	2	選択	
経済学通論Ⅱ	2	選択	1

比較歴史学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文化史概論	2	選択	以下の科目から
日本史概説	2	選択	18~20単位選択

授業科目	単位数	必修・選択	備≉
アジア史概説	2	選択	_
西洋史概説	2	選択	
日本史入門講読	2	選択	
外国史入門講読 I	2	選択	
外国史入門講読Ⅱ	2	選択	
日本史研究法(1)	1	選択	
日本史研究法(2)	1	選択	
アジア史研究法(1) アジア史研究法(2)	1 1	選択	
アン/ 史研究法(2) 西洋史研究法(1)	1		
西洋史研究法(1) 西洋史研究法(2)	1	選択	
四什文明元伝(2) グローバル・ヒストリー	2	選択	
日本史講読	2	選択	
アジア史講読	2	選択	
西洋史講読	2	選択	
古文書学	2	選択	
歴史史料学	2	選択	
日本史論文講読	2	選択	
外国史論文講読	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択	
歴史史料調査 I	2	選択	
歴史史料調査 II	2	選択	
歴史現地調査Ⅰ	2	選択	
歴史現地調査 II	2	選択	
老大學通論 I	2	選択	
考古学通論Ⅱ	2	選択	
日本古代中世文化史	2	選択	
日本近世近代文化史	2	選択	
日本古代中世史特殊講義	2	選択	
日本近世近代史特殊講義	2	選択	
日本古代中世政治史	2	選択	
日本近世近代政治史	2	選択	
日本古代中世社会経済史	2	選択	
日本近世近代社会経済史	2	選択	
東アジア政治史	2	選択	
西アジア政治史	2	選択	
四ケンケ政石史 東アジア社会経済史	2	選択	
西アジア社会経済史	2	選択	
東アジアの歴史と文化	2	選択	
西アジアの歴史と文化	2	選択	
	2	選択	
比較アジア社会史論 I	2		
比較アジア社会史論 Ⅱ 比較アジア文化史論 I		選択	
	2	選択	
比較アジア文化史論Ⅱ	2 2	選択	
西洋政治史 西洋社会経済史	2	選択	
	2	選択	
西洋社会史	2		
西洋中世史		選択	
西洋近世史	2		
西洋文化史	2	選択	
フランス史	2	選択	
イギリス史	2	選択	
歷史学文献講読 I 歴史学文献講読 Ⅱ	2	選択	
歴史学文献講読Ⅱ 響声社会由	2	選択	
都市社会史	2	選択	
歴史情報論	2	選択	
比較ジェンダー史	2	選択	
西洋史学の探求	2	選択	
日本古代史演習I	2	選択	
日本古代史演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史演習 I	2	選択	
日本中世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史演習 I	2	選択	
日本近世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史演習I	2	選択	
日本近代史演習Ⅱ	2	選択	
日本古代史料演習 I	2	選択	
日本古代史料演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史料演習 I	2	選択	
日本中世史料演習 Ⅱ	2	選択	
日本近世史料演習 I	2	選択	
日本近世史料演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史料演習 I	2	選択	
日本近代史料演習 Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習 I	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習I	2	選択	
西アジア史演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習I	2	選択	
東アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
		選択	
西アジア中料油習 Ι	1 2		
西アジア史料演習 I 西アジア史料演習 Ⅱ	2 2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
西洋政治史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習 I	2	選択	
西洋社会史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習 I	2	選択	
西洋社会経済史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習 I	2	選択	
西洋政治史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習 I	2	選択	
西洋社会史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習 I	2	選択	
西洋社会経済史料演習 Ⅱ	2	選択	
社会学通論 I	2	選択	以下の科目から0
社会学通論Ⅱ	2	選択	~ 2 単位選択
経済学通論 I	2	選択	
経済学通論Ⅱ	2	選択	

地理環境学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
都市と自然	2	選択	以下の科目から
地理学英書講読	2	選択	18~20単位選択
地図学	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
測量学	2	選択	
地誌学	2	選択	
地理情報システム演習 I	2	選択	
環境地理学基礎演習	4	選択	
人文地理学分析基礎演習	4	選択	
地域分析学演習 I	2	選択	
環境地理学演習 I	2	選択	
自然地理学演習 I	2	選択	
社会地理学演習	2	選択	
都市・福祉地理学演習I	2	選択	
地理環境学演習 I	2	選択	
地理環境学演習Ⅱ	2	選択	
地理環境学演習Ⅲ	2	選択	
地理環境学演習IV	2	選択	
地理情報システム演習Ⅱ	2	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
文化理論研究	2	選択	
地域開発論	2	選択	
グローバル化と経済	2	選択	
	2		
国際協力学		選択	
国際関係論	2	選択	
人口学	2	選択	
老年学	2	選択	
地域社会論	2	選択	
社会政策論I	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
民俗学	2	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
住居学概論	2	選択	
建築環境計画論	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	
西洋建築史	2	選択	
地球環境科学	2	選択	
大気・海洋科学概論	2	選択	
地学基礎実験	2	選択	
地史・古生物学概論	2	選択	
環境科学(1)	1	選択	
環境科学(2)	1	選択	
生物系統地理学	2	選択	
植物生態学	2	選択	
動物生態学	2	選択	
生物統計学	2	選択	
環境情報論	2	選択	
社会学通論I	2	選択	以下の科目から
社会学通論Ⅱ	2	選択	0~2単位選択
在五子地画 I 経済学通論 I	2	選択	0~2 早世 选択
経済学通論Ⅱ	2	選択	
性仍于理圖Ⅱ		选扒	

日本語・日本文学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から
日本古典文学史論(中古)	2	選択	4単位選択
日本古典文学史論(中世)	2	選択	
日本古典文学史論(近世)	2	選択	
日本近代文学史論(近代)	2	選択	
日本近代文学史論(現代)	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本語語彙論	2	選択	以下の科目から
日本語文法総論	2	選択	2単位選択
日本語音声表現論	2	選択	
日本語文章表現論	2	選択	以下の科目から
日本文学論講読 I	2	選択	4単位選択
日本文学論講読 Ⅱ	2	選択	
日本文学論講読Ⅲ	2	選択	
日本文学論講読Ⅳ	2	選択	
日本言語文化論 I	2	選択	
日本言語文化論 Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論基礎演習 Ⅱ	2	選択	
日本語学基礎演習	2	選択	
日本語学特殊研究	2	選択	以下の科目から
日本語史特殊研究	2	選択	6単位選択
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
書道 I	2	選択	以下の科目から
書道Ⅱ	2	選択	2単位選択
日本古典文学論演習(上代) I	2	選択	以下の科目から
日本古典文学論演習(上代)Ⅱ	2	選択	2単位選択
日本古典文学論演習(中古) I	2	選択	
日本古典文学論演習(中古)Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論演習(中世) I	2	選択	
日本古典文学論演習(中世)Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論演習(近世) I	2	選択	
日本古典文学論演習(近世)Ⅱ	2	選択	
日本近代文学論演習(近代) I	2	選択	
日本近代文学論演習(近代)Ⅱ	2	選択	
日本近代文学論演習(現代) I	2	選択	
日本近代文学論演習(現代)Ⅱ	2	選択	
日本語学演習(日本語史) I	2	選択	
日本語学演習(日本語史)Ⅱ	2	選択	
日本語学演習(近・現代語) I	2	選択	
日本語学演習(近・現代語)Ⅱ	2	選択	

中国語圏言語文化強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
中国言語文化論演習	2	必修	
中国事情	2	必修	
中国語会話演習	2	必修	
中国語ヒアリング演習	2	必修	
中国現代作品論	2	必修	
中国語文法論	2	必修	
中国語学文献講読	2	必修	
中国古典詩講義演習	2	必修	
中国文化論	2	選択	以下の科目から、
中国現代作家論	2	選択	主プログラムに
日中対照言語学	2	選択	おいて既修得の
中国語統語論	2	選択	科目を除く4単位
中国古典文献講読入門	2	選択	選択
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	

英語圏言語文化強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文法演習	2	選択	以下の科目から
英語音声学演習	2	選択	6~8単位選択
英文学史 I(1)	1	選択	
英文学史 I(2)	1	選択	
英文学史 Ⅱ	2	選択	
米文学史 I(1)	1	選択	
米文学史 I (2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英米文学演習(中級)	2	選択	
英米文学演習(上級)(1)	1	選択	
英米文学演習(上級)(2)	1	選択	
中国文化論	2	選択	以下の科目から
仏語圏言語文化論 I	2	選択	12~14単位選択
仏語圏言語文化論 Ⅱ	2	選択	
独文学特殊講義 I	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
英作文演習(上級)	2	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	
英会話演習(中級)	2	選択	
英会話演習(上級)	2	選択	
英文学特殊講義 I	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義IV	2	選択	
英文学特殊講義V	2	選択	
英文学特殊講義VI	2	選択	
英文学特殊講義VII	2	選択	
英文学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語学特殊講義 I	2	選択	
英語学特殊講義 Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義IV	2	選択	
英語学特殊講義V	2	選択	
英語学特殊講義VI	2	選択	
英語学特殊講義Ⅶ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅷ	2	選択	
英語圏言語文化研究 I	2	選択	
英語圏言語文化研究 Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	

仏語圏言語文化強化プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
欧州文化論 I	2	選択	以下の科目から
欧州文化論 Ⅱ	2	選択	20単位選択
欧州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論IV	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論IV	2	選択	
独文学演習 I	2	選択	
独文学演習 Ⅱ	2	選択	
独文学特殊講義 I	2	選択	
独文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
ドイツ語講読演習 I	2	選択	
ドイツ語講読演習 Ⅱ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
仏語圏言語文化論 I	2	選択	
仏語圏言語文化論 Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	選択	
仏語圏社会言語論 I	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論 I	2	選択	
フランス社会文化論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論IV	2	選択	
基礎仏作文演習 I	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅱ	2	選択	
中級仏作文演習I	2	選択	
中級仏作文演習Ⅱ	2	選択	
上級仏会話演習 I	2	選択	
上級仏会話演習Ⅱ	2	選択	
基礎仏語学演習 I	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習 I	2	選択	
中級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語学演習 I	2	選択	
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
工 版 仏 語 子 演 目 Ⅱ 応 用 仏 語 学 演 習 Ⅰ	2	選択	
応用仏語学演習 II	2	選択	
応用仏語学演習Ⅲ	2	選択	
応用仏語学演習Ⅳ	2	選択	
心用仏丽子與自1V 近代仏文学演習 I	2	選択	
近代仏文学演習Ⅱ	2 2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	-	選択	
近代仏文学特殊講義I	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習 I	2	選択	
現代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義 I	2	選択	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	

会政治学総論	社会学強化プログラム			単位数: 20
☆政治学総論Ⅱ 2 選択 24 単位選択(内科目からは 4 位 25 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で	授業科目	単位数	必修・選択	備考
☆経済学総論Ⅱ 2 選択	☆政治学総論Ⅰ	2	選択	以下の科目から
交経済学総論 2 選択 位まで、※の利からは、主プロリス・シャー社会論 2 選択 選択 2 選択 2 選択 2 対	☆政治学総論Ⅱ	2	選択	14単位選択(内☆
ジェンダー社会論 2 選択 現代社会論 2 選択 現代主活論 2 選択 社会意識論 2 選択 社会意識論 2 選択 社会政策論 I 2 選択 社会政策論 I 2 選択 社会問題論(2) 1 選択 社会問題論(2) 1 選択 社会問題論(2) 1 選択 社会問題論(2) 1 選択 文化人類学概論(3) 2 選択 文化人類学等殊講義 2 選択 民族記学特殊講義 2 選択 大ども社会学概論(1) 1 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 ※表格社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※本生学 2 選択 ※地域社会等(2) 1 選択 ※本生学 2 選択 ※地域社会論計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※本年学 2 選択 ※地域社会論演習 I 2 選択 <t< td=""><td>☆経済学総論Ⅰ</td><td>2</td><td>選択</td><td>の科目からは4単</td></t<>	☆経済学総論Ⅰ	2	選択	の科目からは4単
現代社会論 現代生活論	☆経済学総論Ⅱ	2	選択	位まで、※の科目
現代生活論 社会意識論 比較社会論 社会政策論 I 社会政策論 I 社会政策論 I 社会政策論 I 社会問題論(1) 社会問題論(2) 社会調查の設計と実施 教育社会学特殊講義 学校社会学特殊講義 学校社会学特殊講義 学校社会学特殊講義 フェル人類学特殊講義 フェルー人類学特殊講義 フェルー人類学は会学概論(1) 「ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・	ジェンダー社会論	2	選択	からは、主プログ
社会意識論 2 選択 位までを含めるとかできる。) 位までを含めるとかできる。) 2 選択 社会政策論 I 2 選択 選択 社会問題論(1) 1 選択 選択 社会問題論(2) 1 選択 選択 数育社会学特殊講義 2 選択 選択 変択 変形 変形 変形 変形 変形 変形 変	現代社会論	2	選択	ラムで取得するも
社会政策論 2 選択 とができる。) 社会政策論 1	現代生活論	2	選択	のも含めて、6単
社会政策論 I 2 選択 社会政策論 I 2 選択 社会政策論 I 2 選択 社会問題論(1) 1 選択 社会問題論(2) 1 選択 教育社会学特殊講義 2 選択 学校社会学特殊講義 2 選択 文化人類学概論(2) 1 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 大人類学特殊講義 2 選択 大人類学特殊講義 2 選択 大とも社会の政策論 2 選択 大とも社会の政策論 2 選択 大とも社会学概論(1) 1 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 選択 差別 選択 差別 選択 選択 差別 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	社会意識論	2	選択	
社会政策論 I	比較社会論	2	選択	とかできる。)
社会問題論(1) 社会問題論(2) 社会問題論(2) 社会問題論(2) 社会調査の設計と実施 教育社会学特殊講義 2 選択 交化人類学既論(1) 文化人類学既論(2) 文化人類学既論(3) 文化人類学特殊講義 2 選択 比較社会政策論 2 選択 上校社会受職論(1) 子ども社会学概論(1) 子ども社会学概論(2) ※ 社会福祉学 ※ 家族社会学(1) ※ 家族社会学(1) ※ 家族社会学(2) ※ 北大福祉論 ※ 老人福祉論 ※ 老人福祉論 ※ 老人福祉論 ※ 老年学 ※ 地域社会論 ※ 定用生活統計学(1) ※ 応用生活統計学(1) ※ 応用生活統計学(1) ※ 応用生活統計学(1) ※ 正生活統計学(1) ※ 正生活統計学(1) ※ 正生活統計学(1) ※ 正生活統計学(1) ※ 正生活統計学(1) ※ 正年活統計学(1) ※ 正年活統計学(1) ※ 正年活統計学(1) ※ 正年活統計学(1) ※ 正年活統計学(1) ※ 正月 (1) ※ 正月 (2) ※ 社会統計学 1 ② 選択 ※ 日月 (3) ※ 日月 (4) ※	社会政策論 I	2	選択	
社会問題論(2) 社会調査の設計と実施 教育社会学特殊講義 2 選択 交化人類学既論(1) 文化人類学既論(2) 文化人類学問論(2) 文化人類学時殊講義 2 選択 文化人類学時殊講義 2 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 大きも社会学概論(2) 大き社会学概論(2) 子ども社会学概論(2) 北会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) ※家族社会学(2) ※老人福祉論 2 選択 ※家族社会学(2) ※老人福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(1) ※応用生活統計学(2) ※社会統計学(1) ※応用生活統計学(2) ※社会統計学(2) ※社会統計学(3) ※は、表述(3) ※は、表述	社会政策論Ⅱ	2	選択	
社会調査の設計と実施 教育社会学特殊講義 学校社会学特殊講義 2 選択 文化人類学既論1) 文化人類学明論1) 文化人類学特殊講義 2 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 大と社会学表講義 2 選択 子ども社会学概論1) 子ども社会学概論2) 計 選択 ・ 選択 ・ 選択 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	社会問題論(1)	1	選択	
社会調査の設計と実施 教育社会学特殊講義	社会問題論(2)	1	選択	
教育社会学特殊講義 2 選択 学校社会学特殊講義 2 選択 文化人類学概論(2) 1 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 民族話学特殊講義 2 選択 民族話学特殊講義 2 選択 大ども社会学概論(1) 1 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 ※衣扶社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
学校社会学特殊講義 2 選択 文化人類学概論2) 1 選択 文化人類学特殊講義 2 選択 民族誌学特殊講義 2 選択 比較社会政策論 2 選択 子ども社会学概論(1) 1 選択 ※表技会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※尼里福社論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代会院論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
文化人類学概論(2) 文化人類学概論(2) 文化人類学特殊講義 2 選択 民族誌学特殊講義 2 選択 比較社会政策論 2 選択 子ども社会学概論(1) 子ども社会学概論(2) 計 選択 ※家族社会学(1) ※家族社会学(1) ※家族社会学(2) ※求族社会学(2) ※老人福祉論 ※老年学 2 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※本人福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) ※応用性活統計学(1) ※応用性活統計学(_		
文化人類学戦論2) 1 選択 選択 民族誌学特殊講義 2 選択 比較社会政策論 2 選択 と社会学概論1) 1 選択 子ども社会学概論2) 1 選択 ※社会福祉学 2 選択 ※表社会学(1) 1 選択 ※素族社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 2 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 選択 ※は会統計学 I 2 選択 担代会会論演習 I 2 選択 超光会経障論演習 I 2 選択 担余保障論演習 I 2 選択 担条保障論演習 I 2 選択 選択 I 3 選択 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I				
文化人類学特殊講義 2 選択 民族誌学特殊講義 2 選択 子ども社会学概論(1) 1 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 ※社会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※吃車看社論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
民族誌学特殊講義 2 選択 子ども社会学概論1 1 選択 子ども社会学概論2 1 選択 ※社会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※吃用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
比較社会政策論 2 選択 子ども社会学概論(2) 1 選択 ※社会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
子ども社会学概論1) 1 選択 子ども社会学概論2) 1 選択 ※社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※家族社会学(2) 2 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(1) 2 選択 ※応用生活統計学(1) 2 選択 ※応用生活統計学(1) 2 選択 ※は会統計学 I 2 選択 以エンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択				
子ども社会学概論(2) 1 選択 ※社会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※児童福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
※社会福祉学 2 選択 ※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※児童福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
※家族社会学(1) 1 選択 ※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
※家族社会学(2) 1 選択 ※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
※老人福祉論 2 選択 ※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※児童福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
※老年学 2 選択 ※地域社会論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
※地域社会論 2 選択 ※児童福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学I 2 選択 ジェンダー論演習I 2 選択 ジェンダー論演習I 2 選択 現代社会論演習I 2 選択 社会保障論演習I 2 選択 社会保障論演習I 2 選択 社会保障論演習I 2 選択		_		
※児童福祉論 2 選択 ※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
※応用生活統計学(1) 1 選択 ※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
※応用生活統計学(2) 1 選択 ※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 6単位選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択	7 111 111			
※社会統計学 I 2 選択 ジェンダー論演習 I 2 選択 以下の科目から ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_		
ジェンダー論演習 I 2 選択 以下の科目から ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
ジェンダー論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択				
現代社会論演習 I 2 選択 現代社会論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択		_	選択	
現代社会論演習Ⅱ 2 選択 社会保障論演習Ⅱ 2 選択 社会保障論演習Ⅱ 2 選択				6単位選択
社会保障論演習 I 2 選択 社会保障論演習 I 2 選択	現代社会論演習 I	2	選択	
社会保障論演習Ⅱ 2 選択	2014	_		
	社会保障論演習 I	2	選択	
1 A 7 A 44 A 45 A 14	社会保障論演習Ⅱ	2	選択	
在会政東論演習 1 2 選択	社会政策論演習 I	2	選択	
社会政策論演習Ⅱ 2 選択	社会政策論演習 Ⅱ	2	選択	
現代生活論演習 I 2 選択	現代生活論演習 I	2	選択	
現代生活論演習Ⅱ 2 選択	現代生活論演習 Ⅱ	2	選択	
社会意識論演習 I 2 選択	社会意識論演習 I	2	選択	
社会意識論演習Ⅱ 2 選択	社会意識論演習Ⅱ	2	選択	
文化人類学演習 I 2 選択	文化人類学演習 I	2	選択	
文化人類学演習Ⅱ 2 選択		2	選択	
民族誌学演習 I 2 選択				
	民族誌学演習Ⅱ		選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
教育思想概論(1)	1	選択	以下の科目から4
教育思想概論(2)	1	選択	以下の料日から4 単位以上選択
教育史概論(1)	1	選択	平区从上及 (
教育史概論(2)	1	選択	
教育・発達心理学概論(1)	1	選択	
教育・発達心理学概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育制度概論	2	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	
教育課程概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
教育科学概論	2	選択	
教育思想特殊講義	2	選択	以下の科目から4
教育人間学特殊講義	2	選択	単位以上選択
教育史特殊講義	2	選択	
教育制度特殊講義	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	
教育方法学特殊講義	2	選択	
教育課程特殊講義	2	選択	
教育開発特殊講義	2	選択	
比較教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義 I	2	選択	
教育科学特殊講義 Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
学校インターンシップ	2	選択	
教育思想演習 I	2	選択	以下の科目から8
教育思想演習 Ⅱ	2	選択	単位以上選択
教育人間学演習 I	2	選択	
教育人間学演習 Ⅱ	2	選択	
教育史演習 I	2	選択	
教育史演習 Ⅱ	2	選択	
教育制度演習 I	2	選択	
教育制度演習 Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習 I	2	選択	
教育社会学演習 Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習 I	2	選択	
学校社会学演習 Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習 I	2	選択	
教育方法学演習 Ⅱ	2	選択	
教育課程演習 I	2	選択	
教育課程演習 II	2	選択	
教育開発演習 I	2	選択	
教育開発演習 Ⅱ	2	選択	
比較教育演習I	2	選択	
比較教育演習 Ⅱ	2	選択	
教育科学演習 A I	2	選択	
教育科学演習 A Ⅱ	2	選択	
教育科学演習BI	2	選択	
教育科学演習BⅡ	2	選択	
法学総論 I	2	選択	以下の科目から0
法学総論Ⅱ	2	選択	~4単位選択
政治学総論I	2	選択	
政治学総論Ⅱ	2	選択	
経済学総論I	2	選択	
経済学総論 Ⅱ	2	選択	
哲学総論	2	選択	
倫理学総論	2	選択	

I SHIP OF THE PROPERTY OF THE	W/1 W/	N/# 1915	/# -#/
授業科目	単位数	必修・選択	備考
幼児教育方法学概論	2	選択	以下の科目から2
幼児教育課程概論	2	選択	単位選択(※の科目から4単位選択し
子ども社会学概論(1)	1	選択	て含める)
子ども社会学概論(2)	1	選択	(BW)
幼児教育制度概論(1)	1	選択	
幼児教育制度概論(2)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択	
幼児教育学原論(1)	1	選択	
幼児教育学原論(2)	1	選択	
子ども発達論(1)	1	選択	
子ども発達論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	
人間関係論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
幼児教育学演習 I	2	選択	
幼児教育学演習 Ⅱ	2	選択	
保育学演習 I	2	選択	
保育学演習 Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習 I	2	選択	
子ども社会学演習 Ⅱ	2	選択	
家庭教育論演習Ⅰ	2	選択	
家庭教育論演習 Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習 I	2	選択	
幼児教育制度演習 Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習 I	2	選択	
子ども発達環境論演習 Ⅱ	2	選択	
子ども学演習I	2	選択	
子ども学演習Ⅱ	2	選択	
子ども学フィールドワーク	2	選択	
子ども学インターンシップ	2	選択	
※学校インターンシップ	2	選択	
※児童福祉論	2	選択	
※発達臨床心理学	2	選択	
※臨床心理学概論	2	選択	
※乳幼児教育論V	1	選択	
※子ども学ゼミV	1	選択	
※乳幼児の世界 I	1	選択	
※乳幼児の世界Ⅱ	1	選択	
※子ども学研究法Ⅱ	1	選択	
※子ども学研究法Ⅲ	1	選択	

別表第6 専門教育科目(第6条関係)

副プログラム

哲学・倫理学・美術史副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
哲学基礎論	2	選択	以下の科目から
倫理学基礎論	2	選択	20単位選択
美術史基礎論	2	選択	
哲学概論 I	2	選択	
哲学概論Ⅱ	2	選択	
哲学AI	2	選択	
哲学AⅡ	2	選択	
哲学AⅢ	2	選択	
哲学AⅣ	2	選択	
哲学BI	2	選択	
哲学BⅡ	2	選択	
哲学BⅢ	2	選択	
哲学BⅣ	2	選択	
哲学C I	2	選択	
哲学CⅡ	2	選択	
倫理学概論 I	2	選択	
倫理学概論Ⅱ	2	選択	
日本倫理思想史I	2	選択	
日本倫理思想史Ⅱ	2	選択	
西洋倫理思想史I	2	選択	
西洋倫理思想史Ⅱ	2	選択	
倫理学研究	2	選択	
西洋倫理思想史研究	2	選択	
宗教と倫理学	2	選択	
生命と倫理学	2	選択	
生中で調理子 日本の社会と文化	2	選択	
日本の社云こ文化 形象分析学特殊講義 I	4	選択	
形象分析学特殊講義 II	4		
		選択	
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	選択	
西洋美術史AI	2	選択	
西洋美術史AⅡ	2	選択	
西洋美術史AⅢ	2	選択	
西洋美術史BI	2	選択	
西洋美術史BⅡ	2	選択	
西洋美術史BⅢ	2	選択	
東洋美術史AI	2	選択	
東洋美術史A Ⅱ	2	選択	
東洋美術史AⅢ	2	選択	
東洋美術史BI	2	選択	
東洋美術史B Ⅱ	2	選択	
東洋美術史BⅢ	2	選択	
美術史学特殊講義 I	4	選択	
美術史学特殊講義 Ⅱ	4	選択	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	選択	

比較歴史学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較文化史	2	選択	以下の科目から
比較社会史	2	選択	20単位選択
日本文化史概論	2	選択	
日本史概説	2	選択	
アジア史概説	2	選択	
西洋史概説	2	選択	
日本史研究法(1)	1	選択	
日本史研究法(2)	1	選択	
アジア史研究法(1)	1	選択	
アジア史研究法(2)	1	選択	
西洋史研究法(1)	1	選択	
西洋史研究法(2)	1	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
日本史講読	2	選択	
アジア史講読	2	選択	
西洋史講読	2	選択	
古文書学	2	選択	
歴史史料学	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	選択	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	選択	
歴史史料調査 I	2	選択	
歴史史料調査Ⅱ	2	選択	
歴史現地調査 I	2	選択	
歴史現地調査Ⅱ	2	選択	
考古学通論 I	2	選択	
考古学通論Ⅱ	2	選択	
日本古代中世文化史	2	選択	
日本近世近代文化史	2	選択	
日本古代中世史特殊講義	2	選択	
日本近世近代史特殊講義	2	選択	
日本古代中世政治史	2	選択	
日本近世近代政治史	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本古代中世社会経済史	2	選択	順方
日本近世近代社会経済史	2	選択	
東アジア政治史	2	選択	
西アジア政治史	2	選択	
東アジア社会経済史	2	選択	
西アジア社会経済史	2	選択	
東アジアの歴史と文化	2	選択	
西アジアの歴史と文化	2	選択	
比較アジア社会史論 I	2	選択	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	選択	
比較アジア文化史論 I	2	選択	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	選択	
西洋政治史	2	選択	
西洋社会経済史	2	選択	
西洋社会史	2	選択	
西洋中世史	2	選択	
西洋近世史	2	選択	
西洋文化史	2	選択	
フランス史	2	選択	
イギリス史	2	選択	
歴史学文献講読 I	2	選択	
歴史学文献講読 Ⅱ	2	選択	
都市社会史	2	選択	
比較ジェンダー史	2	選択	
日本古代史演習 I	2	選択	
日本古代史演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史演習 I	2	選択	
日本中世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近世史演習 I	2	選択	
日本近世史演習Ⅱ	2	選択	
日本近代史演習 I	2	選択	
日本近代史演習Ⅱ	2	選択	
日本古代史料演習 I	2	選択	
日本古代史料演習Ⅱ	2	選択	
日本中世史料演習 I	2 2	選択	
日本中世史料演習Ⅱ	2 2	選択	
日本近世史料演習 I 日本近世史料演習 II	2	選択	
日本近世史科演習 I	2	選択選択	
日本近代史料演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史演習Ⅰ	2	選択	
東アジア史演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史演習I	2	選択	
西アジア史演習Ⅱ	2	選択	
東アジア史料演習I	2	選択	
東アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西アジア史料演習I	2	選択	
西アジア史料演習Ⅱ	2	選択	
西洋政治史演習I	2	選択	
西洋政治史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会史演習 I	2	選択	
西洋社会史演習Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史演習 I	2	選択	
西洋社会経済史演習 Ⅱ	2	選択	
西洋政治史料演習I	2	選択	
西洋政治史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会史料演習 I	2	選択	
西洋社会史料演習 Ⅱ	2	選択	
西洋社会経済史料演習I	2	選択	
西洋社会経済史料演習 Ⅱ	2	選択	

地理環境学副プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と空間	2	選択	以下の科目から
自然と人間	2	選択	12単位選択
都市と自然	2	選択	
地誌学	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	
自然地理学	2	選択	
地理学英書講読	2	選択	以下の科目から
地図学	2	選択	4単位選択
測量学	2	選択	
人文地理学分析基礎演習	4	選択	
環境地理学基礎演習	4	選択	
地域分析学演習 I	2	選択	以下の科目から
環境地理学演習I	2	選択	2単位選択
自然地理学演習 I	2	選択	
社会地理学演習	2	選択	
都市・福祉地理学演習 I	2	選択	
地理学フィールドワーク B	2	必修	

日本語・日本文学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本文学概説	2	必修	
日本古典文学史論(上代)	2	選択	以下の科目から
日本古典文学史論(中古)	2	選択	6単位選択
日本古典文学史論(中世)	2	選択	
日本古典文学史論(近世)	2	選択	
日本近代文学史論(近代)	2	選択	
日本近代文学史論(現代)	2	選択	
日本語学通論	2	選択	以下の科目から
日本語語彙論	2	選択	2単位選択
日本語文法総論	2	選択	
日本語音声表現論	2	選択	
日本語文章表現論	2	選択	以下の科目から
日本文学論講読 I	2	選択	4単位選択
日本文学論講読Ⅱ	2	選択	
日本文学論講読Ⅲ	2	選択	
日本文学論講読Ⅳ	2	選択	
日本言語文化論 I	2	選択	
日本言語文化論Ⅱ	2	選択	
日本語学特殊研究	2	選択	以下の科目から
日本語史特殊研究	2	選択	6単位選択
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中古)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(中世)	2	選択	
日本古典文学論特殊研究(近世)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(近代)	2	選択	
日本近代文学論特殊研究(現代)	2	選択	
日本語学特殊講義 I	2	選択	
日本語学特殊講義 Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義 I	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	選択	
日本近代文学論特殊講義 I	2	選択	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	選択	

中国語圏言語文化副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
中国語学概論	2	必修	
中国古典文学史(先秦~唐)	2	必修	
中国語ヒアリング基礎	2	選択	以下の科目から
中国語コミュニケーション・スキル	2	選択	4単位以上選択
中国語作文基礎演習	2	選択	
中国語作文応用演習	2	選択	
中国語講読	2	選択	
中国文化論	2	選択	以下の科目から
中国現代作家論	2	選択	6単位以上選択
日中対照言語学	2	選択	
中国語統語論	2	選択	
中国古典文献講読入門	2	選択	
中国古典文献講読基礎	2	選択	
中国文学古典講読	2	選択	
中国文学古典演習	2	選択	

英語圏言語文化副プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
英文法 I(1)	1	必修	
英文法 I(2)	1	必修	
英文法Ⅱ	2	必修	
英米文学演習(初級)	2	選択	以下の科目から
英作文演習(初級)	2	選択	4単位選択
英会話演習(初級)	2	選択	
英語学入門(1)	1	選択	以下の科目から
英語学入門(2)	1	選択	4~6単位選択
英語学概論	2	選択	
英文法演習	2	選択	
英語音声学演習	2	選択	
英文学史 I (1)	1	選択	
英文学史 I (2)	1	選択	
英文学史Ⅱ	2	選択	
米文学史 I (1)	1	選択	
米文学史 I (2)	1	選択	
米文学史Ⅱ	2	選択	
英作文演習(中級)	2	選択	以下の科目から
英会話演習(中級)	2	選択	6~8単位選択
英文学特殊講義 I	2	選択	
英文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
英文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英文学特殊講義IV	2	選択	
英文学特殊講義V	2	選択	
英文学特殊講義VI	2	選択	
英文学特殊講義WI	2	選択	
英文学特殊講義Ⅷ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
英語学特殊講義 I	2	選択	
英語学特殊講義 Ⅱ	2	選択	
英語学特殊講義Ⅲ	2	選択	
英語学特殊講義IV	2	選択	
英語学特殊講義V	2	選択	
英語学特殊講義VI	2	選択	
英語学特殊講義VII	2	選択	
英語学特殊講義 WI	2	選択	
英語圏言語文化研究 I	2	選択	
英語圏言語文化研究 Ⅱ	2	選択	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圏事情(2)	1	選択	
第二言語教授法研究	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
仏語圏言語文化基礎演習	2	必修必修	I/H/5
欧州文化論 I	2	選択	以下の科目から
欧州文化論Ⅱ	2	選択	18単位選択
欢州文化論Ⅲ	2	選択	
欧州文化論Ⅳ	2	選択	
西欧社会文化論 I	2	選択	
西欧社会文化論Ⅱ	2	選択	
西欧社会文化論Ⅲ	2	選択	
西欧社会文化論 IV	2	選択	
独文学演習 I	2	選択	
独文学演習 Ⅱ	2	選択	
独文学特殊講義 I	2	選択	
独文学特殊講義 Ⅱ	2	選択	
ドイツ語講読演習 I	2	選択	
ドイツ語講読演習Ⅱ	2	選択	
ギリシャ語	4	選択	
ラテン語	4	選択	
仏語圏言語文化論 I	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	選択	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	選択	
仏語圏言語文化論IV	2	選択	
仏語圏社会言語論 I	2	選択	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論 I	2	選択	
フランス社会文化論Ⅱ	2	選択	
フランス社会文化論Ⅲ	2	選択	
フランス社会文化論IV	2	選択	
基礎仏作文演習 I	2	選択	
基礎仏作文演習Ⅱ	2	選択	
を疑い下文演習 I 中級仏作文演習 I	2	選択	
中級仏作文演習Ⅱ	2	選択	
中級147F又供省 II 基礎仏会話演習	2	選択	
至院14云前便自 中級仏会話演習	2	選択	
上級仏会話演習Ⅰ	2	選択	
上級仏会話演習Ⅱ	2	選択	
基礎仏語学演習 I	2	選択	
基礎仏語学演習Ⅱ	2	選択	
中級仏語学演習 I	2	選択	
中級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
上級仏語学演習 I	2	選択	
上級仏語学演習Ⅱ	2	選択	
応用仏語学演習 I	2	選択	
応用仏語学演習Ⅱ	2	選択	
応用仏語学演習Ⅲ	2	選択	
応用仏語学演習 IV	2	選択	
近代仏文学演習I	2	選択	
近代仏文学演習Ⅱ	2	選択	
近代仏文学演習Ⅲ	2	選択	
近代仏文学特殊講義 I	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	選択	
近代仏文学特殊講義Ⅲ	2	選択	
現代仏文学演習 I	2	選択	
現代仏文学演習 Ⅱ	2	選択	
現代仏文学特殊講義 I	2	選択	
現代仏文学特殊講義 Ⅱ	2	選択	
仏文学特殊研究	2	選択	
仏文学特別研究	2	選択	

日本語教育副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
第二言語教授法演習 I	2	必修	
第二言語教授法演習 Ⅱ	2	選択	以下の科目から
日本語表現法概論	2	選択	18単位選択
日本語教育学研究法実習	2	選択	
日本語教育学概論 I	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本語教育学概論Ⅱ	2	選択	
日本語教育法演習 I	2	選択	
日本語教育法演習Ⅱ	2	選択	
多文化間人間関係論演習	2	選択	
異文化間教育学演習	2	選択	
社会言語学演習	2	選択	
日本語学概論 I	2	選択	
日本語学概論Ⅱ	2	選択	
日本語非母語話者年少者教育学概論	2	選択	
日本語教育学特殊講義	2	選択	
言語と文化(1)	1	選択	
言語と文化(2)	1	選択	
多文化共生論	2	選択	
多文化間交流論(1)	1	選択	
多文化間交流論(2)	1	選択	

社会学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
社会学総論	2	必修	以下の科目から必修を含め4単位
人間科学論	2	選択	選択。ただし、人間社会科学科
子ども学総論	2	選択	の学生は、本プログラムの他の
人間と発達	2	選択	科目で単位を満たすことができる。
ジェンダー社会論	2	選択	以下の科目から8
現代社会論	2	選択	単位選択
現代生活論	2	選択	
社会意識論	2	選択	
比較社会論	2	選択	
社会政策論 I	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
社会問題論(1)	1	選択	
社会問題論(2)	1	選択	
社会調査の設計と実施	2	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
文化人類学特殊講義	2	選択	
民族誌学特殊講義	2	選択	
ジェンダー論演習 I	2	選択	以下の科目から4
ジェンダー論演習Ⅱ	2	選択	単位選択
現代社会論演習 I	2	選択	
現代社会論演習 Ⅱ	2	選択	
社会保障論演習 I	2	選択	
社会保障論演習 Ⅱ	2	選択	
社会政策論演習 I	2	選択	
社会政策論演習 Ⅱ	2	選択	
現代生活論演習 I	2	選択	
現代生活論演習 Ⅱ	2	選択	
社会意識論演習 I	2	選択	
社会意識論演習 Ⅱ	2	選択	
文化人類学演習 I	2	選択	
文化人類学演習 Ⅱ	2	選択	
民族誌学演習I	2	選択	
民族誌学演習 Ⅱ	2	選択	
社会調査法	4	必修	

舞踊教育学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
舞踊学概論	2	必修	
表現行動論 I	2	選択	以下の科目から
表現行動論Ⅱ	2	選択	6~14単位選択
舞踊芸術学	2	選択	
民族舞踊学(1)	1	選択	
民族舞踊学(2)	1	選択	
臨床舞踊論	2	選択	
スポーツ人間学(1)	1	選択	
スポーツ人間学(2)	1	選択	
体育原理	2	選択	
動作学(1)	1	選択	
動作学(2)	1	選択	
舞踊・運動科学研究法入門	2	選択	
舞踊芸術学実験演習(1)	1	選択	以下の科目から
舞踊芸術学実験演習(2)	1	選択	0~4単位選択
民族舞踊学実験演習(1)	1	選択	
民族舞踊学実験演習(2)	1	選択	
臨床舞踊論実験演習(1)	1	選択	
臨床舞踊論実験演習(2)	1	選択	
動作学実験演習(1)	1	選択	
動作学実験演習(2)	1	選択	
スポーツ文化論演習(1)	1	選択	
スポーツ文化論演習(2)	1	選択	
体育心理学	2	選択	以下の科目から
運動学(運動方法学を含む)	2	選択	0~8単位選択
解剖学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生理学(運動生理学を含む)	2	選択	
舞踊学特殊講義	2	選択	
運動科学特殊講義	2	選択	
舞踊教育法実習(初等教育)	1	選択	以下の科目から
舞踊教育法実習(中等教育)	1	選択	0~2単位選択
民族舞踊実習(基礎)	1	選択	

音楽表現副プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
日本音楽史概論	2	選択	以下の科目から
西洋音楽史I	2	選択	8~10単位選択
西洋音楽史Ⅱ	2	選択	
音楽学研究法	2	選択	
音楽形式論	2	選択	
音楽学概論	2	選択	以下の科目から
民族音楽学	2	選択	4~8単位選択
音楽学研究演習	4	選択	
音楽学特殊講義 I	2	選択	以下の科目から
音楽学特殊講義Ⅱ	2	選択	2~4単位選択
西洋音楽史特殊講義 I	2	選択	
西洋音楽史特殊講義 Ⅱ	2	選択	
アジア音楽論I	2	選択	
アジア音楽論Ⅱ	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第6条関係)

学際プログラム

教育科学・子ども学学際プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間と発達	2	選択	以下の科目から2
子ども学総論	2	選択	単位以上選択
教育思想概論(1)	1	選択	以下の科目から6
教育思想概論(2)	1	選択	単位以上選択
教育史概論(1)	1	選択	
教育史概論(2)	1	選択	
教育・発達心理学概論(1)	1	選択	
教育・発達心理学概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
教育制度概論	2	選択	
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育課程概論(1)	1	選択	
教育課程概論(2)	1	選択	
教育開発概論(1)	1	選択	
教育開発概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
教育科学概論	2	選択	
幼児教育学原論(1)	1	選択	
幼児教育学原論(2)	1	選択	
	2		
幼児教育方法学概論		選択	
幼児教育課程概論	2	選択	
子ども社会学概論(1)	1	選択	
子ども社会学概論(2)	1	選択	
幼児教育制度概論(1)	1	選択	
幼児教育制度概論(2)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(1)	1	選択	
保育内容総論(子どもと遊び)(2)	1	選択	
教育思想特殊講義	2	選択	以下の科目から4
教育人間学特殊講義	2	選択	単位以上選択
教育史特殊講義	2	選択	
教育制度特殊講義	2	選択	
教育社会学特殊講義	2	選択	
学校社会学特殊講義	2	選択	
教育方法学特殊講義	2	選択	
教育課程特殊講義	2	選択	
教育開発特殊講義	2	選択	
比較教育特殊講義	2	選択	
教育科学特殊講義 I	2	選択	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	選択	
子ども発達論(1)	1	選択	
子ども発達論(2)	1	選択	
人間関係論(1)	1	選択	
人間関係論(2)	1	選択	
子ども学特殊講義(1)	1	選択	
子ども学特殊講義(2)	1	選択	
学校インターンシップ	2	選択	
子ども学フィールドワーク	2	選択	
教育思想演習 I	2	選択	以下の科目から0
			~8単位選択
教育思想演習Ⅱ	2	選択	0平区迭扒
教育人間学演習 I	2	選択	
教育人間学演習 Ⅱ	2	選択	
教育史演習 I	2	選択	I

授業科目	単位数	必修・選択	備考
教育史演習 Ⅱ	2	選択	
教育制度演習 I	2	選択	
教育制度演習 Ⅱ	2	選択	
教育社会学演習 I	2	選択	
教育社会学演習 Ⅱ	2	選択	
学校社会学演習 I	2	選択	
学校社会学演習 Ⅱ	2	選択	
教育方法学演習 I	2	選択	
教育方法学演習 Ⅱ	2	選択	
教育課程演習 I	2	選択	
教育課程演習 Ⅱ	2	選択	
教育開発演習 I	2	選択	
教育開発演習 Ⅱ	2	選択	
比較教育演習 I	2	選択	
比較教育演習 Ⅱ	2	選択	
教育科学演習 A I	2	選択	
教育科学演習 A Ⅱ	2	選択	
教育科学演習 B I	2	選択	
教育科学演習 B Ⅱ	2	選択	
幼児教育学演習 I	2	選択	
幼児教育学演習 Ⅱ	2	選択	
保育学演習I	2	選択	
保育学演習 Ⅱ	2	選択	
子ども社会学演習 I	2	選択	
子ども社会学演習 Ⅱ	2	選択	
家庭教育論演習 I	2	選択	
家庭教育論演習Ⅱ	2	選択	
幼児教育制度演習 I	2	選択	
幼児教育制度演習 Ⅱ	2	選択	
子ども発達環境論演習 I	2	選択	
子ども発達環境論演習Ⅱ	2	選択	
子ども学演習I	2	選択	
子ども学演習Ⅱ	2	選択	

グローバル文化学学際プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
グローバル文化学総論	2	選択	以下の科目から
国際関係論	2	選択	4~8単位選択
政治学総論I	2	選択	
政治学総論 Ⅱ	2	選択	
グローバル・メディア論	2	選択	
グローバル化と経済	2	選択	
比較ジェンダー論	2	選択	
比較法文化論	2	選択	
グローバル・ヒストリー	2	選択	
地域研究方法論	2	選択	
文化理論研究	2	選択	
多文化間交流論(1)	1	選択	
多文化間交流論(2)	1	選択	
言語と文化(1)	1	選択	
言語と文化(2)	1	選択	
国際協力学	2	選択	
文化変動論 I	2	選択	
文化変動論 Ⅱ	2	選択	
イスラム社会文化論 I(1)	1	選択	
イスラム社会文化論 I (2)	1	選択	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	選択	
オセアニア社会文化論 I	2	選択	
オセアニア社会文化論Ⅱ	2	選択	
対日交流論	2	選択	
中国社会文化論	2	選択	
東アジア社会文化論	2	選択	
南アジア社会文化論	2	選択	
アフリカ社会文化論	2	選択	
地域研究特論	2	選択	
英語圏事情(1)	1	選択	
英語圈事情(2)	1	選択	
火品 (日本 (日本) 日本 (日本	2		
	2	選択選択	
文化と人間関係Ⅱ			
グローバル化と言語教育 I(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育 I(2)	1	選択	
グローバル化と言語教育 II(1)	1	選択	
グローバル化と言語教育 II(2)	1	選択	
表現行動論Ⅰ	2	選択	
表現行動論Ⅱ	2	選択	
言語と社会Ⅰ	2	選択	
言語と社会Ⅱ	2	選択	
多文化共生論	2	選択	
国際交流論 I	2	選択	
国際交流論Ⅱ	2	選択	
多文化交流特論	2	選択	
国際協力方法論 I	2	選択	
国際協力方法論Ⅱ(1)	1	選択	
国際協力方法論Ⅱ(2)	1	選択	
平和構築論 I	2	選択	
平和構築論 Ⅱ(1)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
平和構築論Ⅱ(2)	1	選択	
国際開発論I	2	選択	
国際開発論Ⅱ	2	選択	
グローバル化と労働	2	選択	
国際機構論	2	選択	
国際教育協力論	2	選択	
NGO/NPO論	2	選択	
比較社会政策論	2	選択	
地域開発論	2	選択	
国際金融論	2	選択	
国際協力特論	2	選択	
多文化交流実習 I	2	選択	
多文化交流実習 Ⅱ	2	選択	
多文化交流実習Ⅲ	2	選択	
多文化交流実習 IV	2	選択	
多文化交流実習 V	2	選択	
グローバル文化学実習 I	2	選択	
グローバル文化学実習 Ⅱ	2	選択	
地域研究実習 I	2	選択	
地域研究実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習I	2	選択	
国際協力実習Ⅱ	2	選択	
国際協力実習Ⅲ	2	選択	
フィールドワーク方法論	2	選択	
グローバル文化学方法論	2	選択	
卒業研究演習	2	選択	

別表第8 専門教育科目(第6条関係)

授業科目 単位数	芸術・表現行動学科			
● 2	授業科目	単位数	必修・選択	備考
解語芸術学 2 必修 民族舞踊学11	舞踊教育学専修プログラム			
民族舞踊学(1)	●必修			
民族舞踊音 2	舞踊芸術学	2	必修	
臨床舞蹈論	民族舞踊学(1)	1	必修	
体育原理	民族舞踊学(2)	1	必修	
動作字(1)	臨床舞踊論	2	必修	
動作字2) モダングンス・テクニック (初級)	体育原理	2	必修	
モダンダンス・テクニック(初級)	動作学(1)	1	必修	
舞踊創作法実習 (即興創作) 民族舞踊突習法礎) 舞踊射学店法実習 (中等教育) 舞踊 : 運動料学研究法入門 舞踊・運動科学研究法入門 舞踊・運動科学研究法演習 ●選択 スポーツ人間学1) スポーツ人間学1) スポーツ人間学2) 舞踊学戦論 を	動作学(2)	1	必修	
舞師創作法実習 (即興創作) 民族舞踊実習 法礎) 舞師 運動科学研究法派門 舞踊 運動科学研究法派門 舞踊 運動科学研究法派門 舞踊 運動科学研究法演習 ●選択 スポーツ人間学(1) スポーツ人間学(2) 舞師 運動 (2) 舞師 (3) 舞 (4)	モダンダンス・テクニック(初級)	1	必修	
民族舞踊実習(基礎) 類脳教育法実習(中等教育) 舞踊、運動科学研究法法習 ●選択 スポーツ人間学1) スポーツ人間学2) 舞踊学概論 2 選択 奏現行動論 I 2 選択 奏現行動論 I 2 選択 素現行動論 I 2 選択 舞踊が育法実習(神級) I 1 選択 異解的作法実習(類形液・制作) 2 選択 舞踊が育法実習(初等教育) I 2 選択 舞踊を言法実習(初等教育) I 選択 舞踊上演法実習(初級) I 選択 舞踊上演法実習(初級) I 選択 舞踊上演法実習(初級) I 選択 舞踊表音学実験演習2 I 選択 舞踊素帝学実験演習2 I 選択 舞踊素帝学実験演習2 I 選択 舞踊学実験演習2 I 選択 動作学実験演習2 I 選択 臨床舞踊論実験演習2 I 選択 臨床舞踊論実験演習2 I 選択 臨床舞踊論実験演習2 I 選択 なポーツ文化論演習2 I 選択 取作字実験演習2 I 選択 なポーツ文化論演習2 I 選択 取作字実験演習2 I 選択 取作字実験演習2 I 選択 取作字実験演習2 I 選択 取作学実験演習2 I 選択 取作生実験演習2 I 選択 取作生実験演習2 I 選択 取作生実験対 取作生実験対 取作生まを含む アナールを対 を対 など	舞踊創作法実習(舞踊構成法)	1	必修	
舞踊教育法実習 (中等教育)	舞踊創作法実習(即興創作)	1	必修	
舞踊・運動科学研究法演習 2 必修 必修 必修 空楽論文 8 必修 必修 必修 空楽論文 8 必修 必修 必修 空楽論文 8 必修 必修 必修 必修 必修 ② 2 8 次表 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	民族舞踊実習(基礎)	1	必修	
舞踊・運動科学研究法演習		1	必修	
舞踊・運動科学研究法演習	舞踊・運動科学研究法入門	2	必修	
●選択 スポーツ人間学(1) スポーツ人間学(2) 舞踊学既論 2 選択 表現行動論 I 2 選択 表現行動論 I 2 選択 表現行動論 I 2 選択 表現行動論 I 2 選択 差が ダンス・テクニック (中級) II 1 選択 選択 舞踊創作法実習 (舞踊上演・制作) 舞踊教育法実習 (舞踊上演・制作) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊表帯字実験演習(1) 舞踊素帯字実験演習(2) 民族舞踊学写実験演習(2) 日 選択 舞踊素等字験演習(2) 日 選択 動作字実験演習(2) 日 選択 動作字実験演習(2) 日 選択 動作字実験演習(2) 日 選択 動作字実験演習(2) 日 選択 動作字実験演習(3) コ 選択 を基材 を (4) 本 (4				
●選択 スポーツ人間学(1) スポーツ人間学(2) 舞踊学概論 表現行動論 I 表現行動論 I をグンダンス・テクニック(中級) II モダンダンス・テクニック(中級) II モダンダンス・テクニック(中級) II モダンダンス・テクニック(中級) II モダンダンス・テクニック(中級) II				
スポーツ人間学(1) スポーツ人間学(2) 舞踊学展論 表現行動論 I モダンダンス・テクニック(中級) I モダンダンス・テクニック(中級) I モダンダンス・テクニック(上級) 舞踊創作法実習(舞踊上演・制作) 舞踊教育法実習(列等教育) 民族舞踊実習(発展) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(上級) 舞踊上演法実習(上級) 舞踊芸術学実験演習(1) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(1) 日 選択 選択 舞師書術学実験演習(1) 日 選択 選択 舞師音楽学実験演習(2) 日 選択 選択 舞師音楽等字表験演習(2) 日 選択 選択 選択 舞師音楽歌演習(1) 日 選択 選択 選択				
舞踊学概論 表現行動論 I 表現行動論 I モダンダンス・テクニック(中級) I モダンダンス・テクニック(中級) I モダンダンス・テクニック(上級) 舞踊側作法実習(舞踊上演・制作) 舞踊の作法実習(初等教育) 民族舞踊実習(初級) 舞踊上演法実習(初級) オー 選択 選別 選択 選択 選択 選択 選択 選別 選択 選択 選別 選択 選別		1	選択	以下の科目から
舞踊学概論 表現行動論 I	1			
表現行動論 I 2 選択 選択				
表現行動論 I 2 選択 選択				
 モダンダンス・テクニック(中級) I エダンダンス・テクニック(上級) 舞踊創作法実習(郷踊上演・制作) 舞踊創作法実習(郊等教育) 日 選択 舞踊教育法実習(発展) 1 選択 舞踊上演法実習(初級) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(中級) 舞師表現技法実習(上級) 舞師表等学実験演習(1) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 国 選択 選択 童店、舞師論書といっている。 童店、要が、 童店、要が、 童店、要が、 童店、要が、 童店、要が、 童店、要が、 童店、 童店、				
 モダンダンス・テクニック(中級) II モダンダンス・テクニック(上級) 舞踊和倫作法実習(等) 舞踊教育法実習(初等教育) 民族舞踊実習(発展) 舞踊上演法実習(知級) 舞踊上演法実習(中級) 舞踊上演法実習(中級) 舞師上演法実習(上級) 舞師去湖子実験演習(1) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(3) 民族舞踊学実験演習(4) 選択 基別 選択 選択 選択 選択 基別 選択 選択 基別 選択 基別 選択 基別 選択 基別 選択 基別 基別 基別 基別 選択 選択 基別 選択 選択 選別<td>1</td><td></td><td></td><td></td>	1			
 モダンダンス・テクニック(上級) 舞踊側作法実習 (舞踊上演・制作) 舞踊教育法実習 (列等教育) 民族舞踊実習 (発展) 舞踊上演法実習 (初級) 舞踊上演法実習 (初級) 舞踊上演法実習 (中級) 舞踊上演法実習 (上級) 舞踊光明神子実験演習(1) 民族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 国遊択 選択 選択				
舞踊創作法実習 (舞踊上演・制作) 2 選択 選択 舞踊教育法実習 (初等教育) 1 選択 舞踊上演法実習 (初級) 1 選択 舞踊上演法実習 (中級) 1 選択 舞踊上演法実習 (中級) 1 選択 舞踊表現技法実習 1 選択 舞師芸術学実験演習(2) 1 選択 異解 野師芸術学実験演習(1) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 国旗状 野師学実験演習(2) 1 選択 国旗状 国旗 国旗		_		
舞踊教育法実習 (初等教育) 民族舞踊実習 (発展) 舞踊上演法実習 (初級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊上演法実習 (和級) 舞踊表演法実習 (和級) 舞踊表演法実習 (和級) 舞踊表術学実験演習(1) 舞蹈芸術学実験演習(1) 異族舞踊学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 国 選択 選択 選択 国遊択 国遊択 国遊	l			
民族舞踊実習(発展) 1 選択 舞踊上演法実習(中級) 1 選択 舞踊上演法実習(中級) 1 選択 舞踊去或法実習(上級) 1 選択 舞踊表現技法実習 1 選択 舞踊亲将学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 力的作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 歴上競技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 水水実習 1 選択 母師主業構成法 1 選択 舞獅子、「レエ実習 1 選択 舞獅子、「 2 選択 年期学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択 体育心理学 2 選択		_		
舞踊上演法実習 (初級) 1 選択 選択 舞踊上演法実習 (中級) 1 選択 舞踊上演法実習 1 選択 舞師表現技法実習 1 選択 舞師表常学実験演習(2) 1 選択 展族舞踊学実験演習(2) 1 選択 區床舞踊論実験演習(3) 1 選択 區床舞踊論実験演習(4) 1 選択 國本學主験演習(5) 1 選択 區本舞蹈論実験演習(5) 1 選択 選択 區本舞蹈論実験演習(7) 1 2 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択				
舞踊上演法実習(中級) 1 選択 選択 対				
舞踊上演法実習(上級) 1 選択 選択 舞踊表現技法実習 1 選択 異類芸術学実験演習(1) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 超水学実験演習(2) 1 選択 超水 2 ボーツ文化論演習(2) 1 選択 超水 2 大小 2 大				
舞踊表現技法実習 舞踊芸術学実験演習(1) 舞踊芸術学実験演習(2) 民族舞踊学実験演習(2) 臨床舞踊論実験演習(2) 動作学実験演習(2) 動作学実験演習(2) 動作学実験演習(2) 動作学実験演習(2) 力 選択 選択 動作学実験演習(2) 力 選択 スポーツ文化論演習(2) 陸上競技 器械体操 球技 1 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選	1			
舞踊芸術学実験演習(2) 1 選択 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 選択 数件学実験演習(2) 1 選択 選択 数件学支験演習(2) 1 選択 選択 数件学支援政治(2) 1 選択 選択 表述・ツ文化論演習(2) 1 選択 選択 接上競技 1 選択 選択 財政 1 選択 選択 国連 1 選択 選択 国連 1 国連				
舞舶芸術学実験演習(2) 1 選択 民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 本ポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 がレエ実習 1 選択 舞獅音楽構成法 2 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 庭床舞踊論実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 がレエ実習 1 選択 舞獅音楽構成法 2 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択 体育心理学 2 選択				
民族舞踊学実験演習(2) 1 選択 臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(1) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞獅音楽構成法 2 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択 体育心理学 2 選択				
臨床舞踊論実験演習(1) 1 選択 動作学実験演習(1) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 本泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞獅音楽構成法 2 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択 体育心理学 2 選択				
臨床舞踊論実験演習(2) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(1) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 本冰珠習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 1 選択 運動方法学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択 体育心理学 2 選択		-		
動作学実験演習(1) 1 選択 動作学実験演習(2) 1 選択 スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 がレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 1 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択	1			
動作学実験演習(2) スポーツ文化論演習(1) スポーツ文化論演習(2) 陸上競技 陸上競技				
スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 踏板体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞獅音楽構成法 1 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
スポーツ文化論演習(2) 1 選択 陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 本冰来習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 1 選択 運動方法学を含む) 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
陸上競技 1 選択 器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 本冰天習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 1 選択 運動方法学を含む) 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
器械体操 1 選択 球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 オ泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレ工実習 1 選択 舞踊音楽構成法 選択 舞踊音楽構成法 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
球技 1 選択 体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレ工実習 1 選択 舞踊音楽構成法 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択		-		
体つくり運動・武道 1 選択 水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
水泳実習 1 選択 日本舞踊実習 1 選択 バレエ実習 1 選択 舞踊音楽構成法 2 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
日本舞踊実習 1 選択 バレ工実習 1 選択 舞師音楽構成法 1 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択		- 1		
パレエ実習 舞踊音楽構成法 運動学(運動方法学を含む) 1 選択 選択 選択 経期学 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 経育心理学 体育心理学 2 選択	[· · · · · · ·			
舞踊音楽構成法 1 選択 運動学(運動方法学を含む) 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
運動学(運動方法学を含む) 2 選択 解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択	1	1		
解剖学 2 選択 生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択				
生理学(運動生理学を含む) 2 選択 体育心理学 2 選択	運動学(運動方法学を含む)	2	選択	
体育心理学 2 選択	解剖学	2	選択	
	生理学(運動生理学を含む)	2	選択	
衛生学及75公衆衛生学 9 選切	体育心理学	2	選択	
門エナス・ロス水門エナ 2 既八	衛生学及び公衆衛生学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
学校保健	2	選択	
病理学	2	選択	
学校安全と救急看護	2	選択	
舞踊学特殊講義	2	選択	
運動科学特殊講義	2	選択	
表現療法講義演習	2	選択	
●選択			
教育方法学概論(1)	1	選択	
教育方法学概論(2)	1	選択	
教育社会学概論(1)	1	選択	
教育社会学概論(2)	1	選択	
文化人類学概論(1)	1	選択	
文化人類学概論(2)	1	選択	
生涯学習概論	2	選択	
●高大連携科目(選択)			
舞踊教育学選択基礎	2	選択	

高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第6条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。

授業科目 単位数 必修・選択 備考

授業科目	単位数	必修・選択	備考
音楽表現専修プログラム			
●必修			
ソルフェージュ	2	必修	
音楽形式論	2	必修	
ピアノ基礎	4	必修	
声楽基礎	4	必修	
作曲原論 I	2	必修	
作曲原論Ⅱ	2	必修	
西洋音楽史I	2	必修	
西洋音楽史Ⅱ	2	必修	
日本音楽史概論	2	必修	
音楽学研究法	2	必修	
音楽学概論	2	必修	
民族音楽学	2	必修	
卒業研究	8	必修	
●選択			
ピアノI	4	選択	以下の科目から
ピアノⅡ	4	選択	28単位以上選択
ピアノⅢ	4	選択	
ピアノIV	4	選択	
ピアノ研究演習 A I	2	選択	
ピアノ研究演習 A Ⅱ	2	選択	
ピアノ研究演習 B I	2	選択	
ピアノ研究演習BⅡ	2	選択	
ピアノ研究演習 C I	2	選択	
ピアノ研究演習СⅡ	2	選択	
ピアノレパートリー研究AI	2	選択	
ピアノレパートリー研究AⅡ	2	選択	
ピアノレパートリー研究BI(1)	1	選択	
ピアノレパートリー研究BI(2)	1	選択	
ピアノレパートリー研究B II(1)	1	選択	
ピアノレパートリー研究B II(2)	1	選択	
ピアノレバートリー研究C I	2	選択	
ピアノレバートリー研究CⅡ	2	選択	
ピアノ特別演習 A I	2	選択	
ピアノ特別演習 A Ⅱ	2	選択	
ピアノ特別演習 B I	2	選択	
ピアノ特別演習BⅡ	2	選択	
ピアノ特別演習CI	2	選択	
ピアノ特別演習СⅡ	2	選択	
ピアノ演奏法研究 A I	2	選択	
ピアノ演奏法研究A Ⅱ	2	選択	
ピアノ演奏法研究B I	2	選択	
ピアノ演奏法研究BⅡ	2	選択	
ピアノ演奏法研究 C I	2	選択	
ピアノ演奏法研究 C Ⅱ	2	選択	
ピアノ合奏研究	2	選択	
室内楽研究	2	選択	
副科ピアノA	2	選択	
副科ピアノB	2	選択	
副科ピアノC	2	選択	
ピアノ指導法研究(1)	1	選択	
ピアノ指導法研究(2)	1	選択	
声楽発展 A	4	選択	
声楽発展B	4	選択	
声楽発展 C	4	選択	
声楽特別演習	4	選択	
歌曲研究 A I	2	選択	
歌曲研究AⅡ	2	選択	
With the CIT of the To. I	2	選択	1
歌曲研究BI		74.0	1
歌曲研究BⅡ 歌曲研究BⅡ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
歌曲研究C II	2	選択	
オペラ研究A I	2	選択	
オペラ研究AⅡ	2	選択	
オペラ研究AⅢ	2	選択	
オペラ研究AIV	2	選択	
オペラ研究BI	2	選択	
オペラ研究BⅡ	2	選択	
オペラ研究BⅢ	2	選択	
オペラ研究BIV	2	選択	
演奏身体論AI	2	選択	
演奏身体論AⅡ	2	選択	
演奏身体論BI	2	選択	
演奏身体論BⅡ	2	選択	
演奏身体論CI	2	選択	
演奏身体論ℂⅡ	2	選択	
副科声楽A	2	選択	
副科声楽B	2	選択	
副科声楽C	2	選択	
声楽指導法研究 I	2	選択	
声楽指導法研究Ⅱ	2	選択	
指揮法	2	選択	
西洋音楽史特殊講義I	2	選択	
西洋音楽史特殊講義 Ⅱ	2	選択	
アジア音楽論I	2	選択	
アジア音楽論Ⅱ	2	選択	
音楽学各論 I	2	選択	
音楽学各論Ⅱ	2	選択	
音楽学各論Ⅲ	2	選択	
音楽学各論IV	2	選択	
音楽学研究演習	4	選択	
音楽学特殊講義 I	2	選択	
音楽学特殊講義Ⅱ	2	選択	
日本音楽演奏法	2	選択	
合唱演習 I	2	選択	
合唱演習Ⅱ	2	選択	
合唱演習Ⅲ	2	選択	
合唱演習Ⅳ	2	選択	
合奏演習	2	選択	
クリエイティブ・ミュージック・メイキング	4	選択	
卒業演奏研究(ピアノ)	2	選択	
卒業演奏研究(声楽)	2	選択	
卒業論文演習	4	選択	
●高大連携科目(選択)			
音楽表現選択基礎	2	選択	
i			

高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第6条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。

別表第9 学部共通科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
ギリシャ語	4	
ラテン語	4	

別表第10 全学共通科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアプラン	2	
ICT とコミュニケーションスキル(基礎)	2	
ICT とコミュニケーションスキル(応用)	2	
アントレプレナーへの道(入門編)	1	
アントレプレナーへの道(ビジネスプラン編)	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業単位に含めることができない)
ダイバーシティ論	2	(卒業単位に含めることができない)
キャリアプランと進路選択	2	(卒業単位に含めることができない)
インターンシップ I	1	(卒業単位に含めることができない)
インターンシップⅡ	2	(卒業単位に含めることができない)
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業単位に含めることができない)
クリエイティブ・ライティング I	2	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	

10#10 D	M (T#F	/#. 1 /.
授業科目 博物館展示論	単位数 2	備考
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
初等解析学 I	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1 2	
初等線形代数学 初等代数学	2 2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2 2	
基礎生物学 B 大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験	2	
化学基礎実験	2	
生物学基礎実験	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2~12	
科学英語 I	2	
科学英語Ⅱ	2	
イングリッシュ・キャンプ	1	
Academic Writing	2 2	
Academic Presentation Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in English I	2	
Summer Program in English II	2	
Summer Program in English III	2	
Summer Program in English IV	2	
Summer Program in English V	2	
Summer Program in English VI	2	
国際交流実習 I 国際交流実習 II	2 2	
Interdisciplinary Lectures in English I	2	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	
Interdisciplinary Lectures in English III	2	
Interdisciplinary Lectures in English IV	2	
Interdisciplinary Lectures in English V	2	
Interdisciplinary Lectures in English VI 舞台芸術実践概論 I	2 2	
舞台芸術実践概論 II	2	
文化芸術制作演習 I	2	
文化芸術制作演習 Ⅱ	2	
物理学サプリメント	2	(卒業単位に含めることができない)
生物学サプリメント	2	(卒業単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミR/L TOEFL対策ゼミS/W	2 2	(卒業単位に含めることができない) (卒業単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミR/L	2	(卒業単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミS/W	2	(卒業単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミI	2	(卒業単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習I	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅱ	1	(卒業単位に含めることができない) (卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅲ 理数特別講義演習Ⅳ	1	(卒業単位に含めることができない) (卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習V	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習 VI	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅵ	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅷ	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習IX	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習X	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X I 理数特別講義演習 X II	1	(卒業単位に含めることができない) (卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X Ⅲ	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習XIV	1	(卒業単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X V	1	(卒業単位に含めることができない)
ライフステージと心身の健康	2	

別表第11 教職に関する科目(第6条関係)

中学校・高等学校

授業科目	単位数	備考
教職概論(中等)(1)	1	
教職概論(中等)(2)	1	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育心理	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程論	2	
中等社会科教育法 I (地理歴史)	2	
中等社会科教育法Ⅱ(公民)	2	
中等社会科教育法Ⅲ(地理歷史)	2	
中等社会科教育法Ⅳ(公民)	2	
国語科教育法 I	2	
国語科教育法Ⅱ	2	
国語科教育法Ⅲ	2	
国語科教育法IV	2	
中国語科教育法 I	2	
中国語科教育法 Ⅱ	2	
中国語科教育法Ⅲ	2	
中国語科教育法Ⅳ	2	
英語科教育法 I	2	
英語科教育法Ⅱ	2	
英語科教育法Ⅲ	2	
英語科教育法IV	2	
保健体育科教育法I	2	
保健体育科教育法Ⅱ	2	
保健体育科教育法Ⅲ	2	
保健体育科教育法IV	2	
音楽科教育法I	2	
音楽科教育法Ⅱ	2	
音楽科教育法Ⅲ	2	
音楽科教育法IV	2	
道徳教育の理論と方法(中等)	2	
特別活動の理論と方法(中等)	2	
教育方法論	2	
生徒指導と進路指導の理論と方法(中等)	2	
学校カウンセリング(中等)	2	
事前・事後指導(中等)	1	
教育実習(中等)	高校は2単位	
48 17 SEL (1 97)	中学校は4単位	
	1.11000.175	

別表第12 外国人留学生特別科目(第6条関係)

四州(4日	M /L WL	/# +/
授業科目	単位数	備考
日本語演習IA	2	
日本語演習IB	2	
日本語演習 Ⅱ A	2	
日本語演習 Ⅱ B	2	
日本語演習Ⅲ A	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習VA	2	
日本語演習VB	2	
日本事情演習 I A	2	
日本事情演習 I B	2	
日本事情演習 Ⅱ A	2	
日本事情演習 Ⅱ B	2	
日本事情演習Ⅲ A	2	
日本事情演習Ⅲ B	2	
日本事情演習 N A	2	
日本事情演習IVB	2	
日本事情演習VA	2	
日本事情演習VB	2	
総合日本語サマープログラム I	2	
総合日本語サマープログラムⅡ	2	

4 お茶の水女子大学理学部履修規程

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学理学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の区分)

- 第2条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、全学共通科目、教職に関する科目及び外国人留学生特別科目とする。
- 2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。
- 3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラムを構成する科目とする。
- 4 関連科目は、各学科の基礎となる科目又はきわめて関連の深い科目であって選択として指定する。
- 5 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。
- 6 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職に関する科目を置く。
- 7 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第3条 文教育学部及び生活科学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

- 第4条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
 - 一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 三 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育実習については、別に定める。
- 2 前項の規定にかかわらず、特別研究又はこれに準ずる授業科目については、別に定める。

(卒業要件)

- 第5条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。
- 2 各学科において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7までに定めるとおりとする。
- 3 関連科目の授業科目及び単位数は、別表第8に定めるとおりとする。
- 4 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第9に定めるとおりとする。
- 5 教職に関する授業科目及び単位数は、別表第10に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。
- 6 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10のとおりとする。 (歴修王績)
- 第6条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。
- 2 学生が前号により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続きを行い、担当教員の許可を得なければならない。
- 3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

- 第7条 授業科目を履修した者について、試験等により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。
- 2 試験は、学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続きにより追試 験を受けることができる。

(成績の評価)

- 第8条 成績の評価は、原則として試験(論文、報告等を含む。)、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。
- 2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の5種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。
- 3 前項の成績の評価又は科目の原成績(素点)に基づき、成績の数値平均Grade Point Average(以下「GPA」という。)を算出するものとする。GPAに 関し必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

- 第9条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。
- 2 その他学修指導に関し必要な事項は、別に定める。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、理学部教授会が定める。

附則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHIII
- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行し、平成 18 年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第2から別表第6までの規定は、平成19年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附扣

- この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。
- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 瞬間
- この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 ^{阪井田}
- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- - この規程は、平成25年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第11までの規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第9条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き理学部に在学する者から適用する。 附則
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

							必修	及び選	択必修σ)科目・	単位				自由に	選択し	て履修す	る科目	・単位		
				科目			コア科目			専門教育	科目(必	修プログ	ラム)	1	専	関	他	全	教	必	本
				科目区分	文	基	情	外	ス	主	強	副	学	_	BH -43-	120			職	修以	業
				"	文理融				ポ	プ	化	プ	際	マ	P9	連	学	学	に	外	必
					合リ	礎			1	п	プ	п	プ	′	教	, AE	部	共	関	の選	数 な[
					ベラ			玉		4	口	ゲ	п	科	育	科	の	通	す	択プ	卒業に必要な履修単位数
学					ĺ,	講			健	ラ	グ	, ,	グ	1ºt	科	1ºr	科	科	る	D H	単 位
学科別			`	\setminus	1		+11	atout			ラ、	Ι .	ラ、						科	9	数
					"	義	報	語	康	4	7	4	4	目	目	目	目	目	B	4	
数		学		科			30			60		20					14				124
物	理		学	科			30			60		20					14				124
化		学		科			30			60		20					14				124
生	物		学	科			30			60		20					14				124
情	報	科	学	科			30			60		20					14				124

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実置2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、6単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については16単位までをコア科目として取り扱う。

別表第2 (第5条関係)

【(理) 二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

			P.	「属学科の引	蛍化プログ	ラム以外に	選択するご	ことのできる	る「選択プ	ログラム群	
	所属学科		数 学 (副)	物理学(副)	化 学 (副)	生物学(副)	情報科学 (副)	応用数理 (学際)	物理・ 化 学 (学際)	ケミカルバ イオロジー (学際)	生 命 情報学 (学際)
数	学	科		0	×	×	0	0	×	×	0
物	理 学	科	0		0	0	0	0	0	0	0
化	学	科	0	0		0	0	0	0	0	0
生	物学	科	0	0	0		0	0	0	0	0
情	報 科 学	科	0	0	×	×		0	×	×	0

【(理)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

	所属学科		哲学・倫理学・美術史(副)	比 較 歴 史 学		日本語· 日本文学 (副)	中国語圏言語文化(副)	英語 圏 言語文化 (副)	仏 語 圏 言語文化 (副)	日 本 語 教 育 (副)	社 会 学 (副)	舞 踊教育学		教育科学・ 子ども学 (学際)	グローバル 文 化 学 (学際)
数	学	科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物	理 学	科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化	学	科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生	物 学	科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情	報科学	科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【(理)三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

	所属学科		数 学 (副)	物理学(副)	化 学 (副)	生物学(副)	情報科学 (副)	応用数理 (学際)	物理・ 化学 (学際)	ケミカルバ イオロジー (学際)	生 命 情報学 (学際)
数	学	科		0	0	0	0	0	0	0	0
物	理 学	科	0		0	0	0	0	0	0	0
化	学	科	0	0		0	0	0	0	0	0
生	物 学	科	0	0	0		0	0	0	0	0
情	報 科 学	科	0	0	0	0		0	0	0	0

【(理)三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

	所属学	科		人間・環 境科学 (副)	公 共 政策論 (副)	ジェンダー論 (副)	生活文化学(副)	心理学	消費者学 (学際)
数	学		科	0	0	0	0	0	0
物	理	学	科	0	0	0	0	0	0
化	学		科	0	0	0	0	0	0
生	物	学	科	0	0	0	0	0	0
情	報科	学	科	0	0	0	0	0	0

別表第3 コア科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)	授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ			生活世界の安全保障1	2	
又珪既ゴリハフルアーフ 			生活世界の安全保障2	2	
リベラルアーツ演習 I	2		生活世界の安全保障3	2	
リベラルアーツ演習Ⅱ	2		生活世界の安全保障4	2	
系列1 生命と環境			生活世界の安全保障7	2	
(講義)			生活世界の安全保障8	2	
生命と環境1	2		生活世界の安全保障9	2	
生命と環境2	2		生活世界の安全保障10	2	
生命と環境3	2		(演習・実習)		
生命と環境4	2		生活世界の安全保障23	2	
生命と環境5	2		生活世界の安全保障25	2	
生命と環境6	2		生活世界の安全保障26	2	
生命と環境8	2		系列4 ことばと世界		
生命と環境9	2		(講義)		
(演習・実習)			ことばと世界1	2	
生命と環境21	2		ことばと世界2	2	
生命と環境22	2		ことばと世界3	2	
生命と環境25	2		ことばと世界4	2	
生命と環境26	2		ことばと世界5	2	
系列2 色·音·香			ことばと世界6	2	
(講義)			ことばと世界7	2	
色・音・香1	2		ことばと世界8	2	(物理学科は履修できない)
色・音・香2	2		ことばと世界10	2	
色・音・香3	2		ことばと世界11	2	
色・音・香4	2		ことばと世界12	2	
色・音・香5	2		(演習・実習)	2	
色・音・香6	2		ことばと世界27	2	
色・音・香7	2		系列5 ジェンダー		
色・音・香8	2		(講義)		
色・音・香9	2		ジェンダー1	2	
色・音・香10	2		ジェンダー2	2	
(演習・実習)			ジェンダー3	2	
色・音・香22	2		ジェンダー4	2	
系列3 生活世界の安全保障			ジェンダー5	2	
(講義)			ジェンダー6	2	

	T 34 (1 34)			W//LW/	## (W
授業科目 ジェンダー8	単位数 2	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)	授業科目 ** 英語コミュニケーションVI(2)	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。) (Ⅲ・Ⅳ)
ジェンダー9	2		** 英語プレゼンテーション I(1)	1	(III · IV)
			** 英語プレゼンテーション I(2)	1	(III · IV)
基礎講義			** 英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(III · IV)
哲学	2		** 英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(III • IV)
現代心理学	2		** グローバル・イングリッシュ I(1)	1	(III · IV)
法学 I (日本国憲法)	2		** グローバル・イングリッシュ I(2)	1	(III · IV)
法学 II (法学入門) 法と文学	2 2		** グローバル・イングリッシュ II(1) ** グローバル・イングリッシュ II(2)	1	(III · IV)
政治学入門	2		* * Advanced Communication Training I (1)	1	(II ~ IV) (I ~ IV)
ミクロ経済学入門	2		* Advanced Communication Training I (2)	1	(I ~ IV)
マクロ経済学入門	2		* * Advanced Communication Training II(1)	1	(I ~ W)
基礎微分積分学	2	(数学科、情報科学科は履修できない)	* * Advanced Communication Training II (2)	1	(I ~ IV)
基礎線形代数学	2	(数学科、情報科学科は履修できない)	** Advanced Communication Training II(1)	1	(I ~ W)
統計学	2		* * Advanced Communication Training II(2)	1	(I ~ IV)
総合コース	2~4		** Advanced Communication Training IV(1)	1	(I ~ IV)
お茶の水女子大学論 防災・危機管理	2		** Advanced Communication Training V(2) ** Advanced Communication Training V(1)	1	$(I \sim IV)$ $(I \sim IV)$
自然災害に対する防災・減災	1		** Advanced Communication Training V(1) ** Advanced Communication Training V(2)	1	$(I \sim IV)$ $(I \sim IV)$
学修ポートフォリオ入門	1		* * Advanced Communication Training V(1)	1	(I ~ W)
自然科学課題研究支援プログラム	1		* * Advanced Communication Training VI(2)	1	(I ~ W)
情報(必修科目)			英語コミュニケーション I(1)	1	(I · II)
情報処理演習(1)	1		英語コミュニケーション I(2)	1	(I · II)
情報処理演習(2)	1		英語コミュニケーション Ⅱ(1)	1	(I · II)
情報(選択科目)	.		英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(I · II)
メディアリテラシ(1)	1		上級英語 I(1)	1	(III · IV)
メディアリテラシ(2) 情報科学(1)	1		上級英語 I(2) 上級英語 II(1)	1 1	(III · IV)
情報科学(2)	1		上級英語 II(1) 上級英語 II(2)	1	(III · IV)
情報処理学(1)	1		上級英語Ⅲ(1)	1	(III · IV)
情報処理学(2)	1		上級英語Ⅲ(2)	1	(III · IV)
プログラミング演習 1	2		上級英語Ⅳ(1)	1	(III · IV)
プログラミング演習 2	2		上級英語 Ⅳ (2)	1	(III • IV)
コンピュータ演習1	2		ビジネス英語 I(1)	1	(II ~ IV)
コンピュータ演習 2	2		ビジネス英語 I(2)	1	(II ~ IV)
情報学演習 1	2 2		ビジネス英語Ⅱ(1)	1 1	(Ⅱ ~ Ⅳ)
情報学演習 2		●物理学科、化学科:外国語の必修単位数	ビジネス英語 II (2) 時事英語 I (1)	1	(II ~ IV) (II ~ IV)
外国語(必修) 		は12単位。英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について8単 位修得すること。残りの4単位は、英語・ ドイツ語・カランス語・中国語、もしくは ロシア語・カ野ニスペイン語・よしくは ロシア語・朝鮮語・スペイン語・4クリア 語・アジア語語から修得すること。なお、「専	時事英語 I (2)	1	(II ~ IV)
		中国語のうち、一つの言語について8単 位修得すること。残りの4単位は、英語・	時事英語Ⅱ(1)	1	(II ~ W)
		ドイツ語・フランス語・中国語、もしくは ロシア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア	時事英語 Ⅱ(2)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
		語・アジア諸語から修得すること。なお、「専	ドイツ語		
		コア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ	* 基礎ドイツ語 I	2	(1)
		(1)(2)」に充てることができる。外国語科目 の修得単位数のうち、必修単位数を超え	* 基礎ドイツ語Ⅱ	2	(1)
		る分はコア科目の必修単位または「自由に	* 基礎ドイツ語Ⅲ * # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	2 2	(1)
		選択して履修する科目・単位」として卒業 に必要な履修単位数に組み入れられる。	* 基礎ドイツ語Ⅳ * 基礎ドイツ語(応用) I(1)	1	(1)
		■ ●	* 基礎ドイツ語(応用) I(1)	1	(1)
		英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち、一つの言語について12単位修得すること	* 基礎ドイツ語(応用) II(1)	1	(1)
		こと。なお、「専門英語」の「生物学外書講読」 は、コア科目外国語(必修)英語の「中級英	* 基礎ドイツ語 (応用) Ⅱ(2)	1	(1)
		語Ⅱ(1)(2)」に充てることができる。外国語 科目の修得単位数のうち、必修単位数を	* 発展ドイツ語 I(1)	1	(II)
		超える分はコア科目の必修単位または「自	* 発展ドイツ語 I(2)	1	(II)
	12	由に選択して履修する科目・単位」として 卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。	* 発展ドイツ語 II(1)	1	(II)
		●数学科、情報科学科:外国語の必修単位 数は12単位。英語を8単位修得すること。	* 発展ドイツ語 II(2)	1	
		残りの4単位は、英語・ドイツ語・フラン	* 発展ドイツ語Ⅲ(1) * 発展ドイツ語Ⅲ(2)	1 1	
		ス語・中国語、もしくはロシア語・朝鮮語・ スペイン語・イタリア語・アジア諸語から	* 発展ドイツ語IV(1)	1	
		修得すること。なお、「専門英語」の「数学 英語」(数学科)、「英文講読」(情報科学科)	* 発展ドイツ語IV(2)	1	(II)
		は、コア科目外国語(必修)英語の「中級英語 II(1)(2)」に充てることができる。外国語	***基礎ドイツ語会話 I(1)	1	(I ~ W)
		科目の修得単位数のうち、必修単位数を	***基礎ドイツ語会話 I (2)	1	(I ~ W)
		超える分はコア科目の必修単位または「自 由に選択して履修する科目・単位」として	***基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(I ∼ IV)
		卒業に必要な履修単位数に組み入れられる。 *および**:コア科目(外国語)の必修単	***基礎ドイツ語会話 II(2)	1	(I ~ W)
		位に充てることができる基本科目(ただし、	***ドイツ語初歩 I(1)	1	(I ~ W)
		生物学科の学生は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語に限る)。	***ドイツ語初歩 I(2) ***ドイツ語初歩 II(1)	1 1	(I ~ IV) (I ~ IV)
		***:第二外国語として8単位未満履修 する場合のみ必修単位に充てることができ	***ドイツ語初歩II(1) ***ドイツ語初歩II(2)	1	(1 ~ W) (1 ~ W)
		る準基本科目。	フランス語	1	X = 41/
		*、**および***のついていない科目 の単位は、特別措置等による認定がない限	* 基礎フランス語 I	2	(1)
#===		り、必修単位に充てることはできない。	* 基礎フランス語 II	2	(1)
英語	,	(1)	* 基礎フランス語Ⅲ	2	(1)
* 基礎英語 I(1) * 基礎英語 I(2)	1	(1)	* 基礎フランス語IV	2	(1)
* 基礎英語 II(1)	1	(1)	* 基礎フランス語(応用) I(1)	1	(1)
* 基礎英語 II(2)	1	(1)	* 基礎フランス語(応用) I(2) * 基礎フランス語(応用) II(1)	1 1	(1)
* 中級英語 I(1)	1	(II)	* 基礎フランス語(応用) II(1) * 基礎フランス語(応用) II(2)	1	(1)
* 中級英語 I(2)	1	(II)	* 発展フランス語 (心用) II(2)	1	
* 中級英語Ⅱ(1)	1	(11)	* 発展フランス語 I(2)	1	
* 中級英語 II (2)	1	(II)	* 発展フランス語Ⅱ(1)	1	(II)
** 英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(III · IV)	* 発展フランス語 II(2)	1	(II)
** 英語コミュニケーションⅢ(2) ** 英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(III · IV) (III · IV)	* 発展フランス語Ⅲ(1)	1	(11)
** 英語コミュニケーションN(1) ** 英語コミュニケーションN(2)	1	(III · IV)	* 発展フランス語Ⅲ(2)	1	
** 英語コミュニケーションV(1)	1	(III · IV)	* 発展フランス語Ⅳ(1) * 発展フランス語Ⅳ(2)	1	(II)
** 英語コミュニケーション V(2)	1	(III · IV)	* 発展プランス語IV(2) ***基礎フランス語会話 I(1)	1	(Ⅱ) (I~Ⅳ)
** 英語コミュニケーションⅥ(1)	1	(III • IV)	***基礎フランス語会話 I(2)	1	$(I \sim IV)$
				-	i 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

***基礎フランス語会話101 1 (1 ー W) ***表現フランス語会話102 1 (1 ー W) ***フランス語初か 1(1) 1 (1 ー W) ***フランス語初か 1(2) 1 (1 ー W) ***フランス語初か 1(2) 1 (1 ー W) ***フランス語初か 1(2) 1 (1 ー W) ***登中国語面 2 (1) ** 基礎中国語面 2 (1) ** 基礎中国語 2 (1) ** 基礎中国語 (2 (1) ** 差健中国語 (2 (1) (1) ** 発展中国語 (2 (1) (1) (1) ** 発展中国語 (3 (1) (1) (1) (1) ** 発展中国語 (4) (1 (1) (1) ** 発展中国語 (5 (1) (1 (1) (1) (1) (1) ** 発展中国語 (5 (1) (1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	拉拳打口	774 (T-#F	世セ/ロ つもつは 神洋田原たわナニナ \
*** * * * * * * * * * * * * * * * * *	授業科目 ***基礎フランス語会話 II(1)	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
***フランス語初歩1(2) 1 (I ~ W) 中国語 基礎中国語 I 2 (I) * 基礎中国語 I 2 (I) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 差健中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 発展中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 発展中国語 (心用) I(2) 1 (I) * 発展中国語 (心用) I(2) 1 (I) * 発展中国語 I(1) 1 (II) * 発展中国語 I(1) 1 (II) * 発展中国語 I(2) 1 (II) * 発展中国語 I(3) 1 (II) * 発展中国語 I(4) 1 (II) * 発展中国語 I(5) 1 (II) * 発展中国語 I(7) 1 (II) * 光報中国語 I(8) 1 (II) * 光報中国語 I(9) 1 (II) * 光報中国語 I(1) 1 (II ~ W) * ***中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ***中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ***中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * * **中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * * **中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * * * 中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * * 中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * * 中国語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ロシ ア語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ロシ ア語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ロシ ア語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ロシ ア語 初歩 I(1) 1 (II ~ W) * ロシ ア語 会話 I(1) 1 (II ~ W)			
***フランス語初歩Ⅱ(2) ***フランス語初歩Ⅱ(2) 中国語 * 基礎中国語Ⅱ * 基礎中国語Ⅲ * 基礎中国語Ⅲ * 基礎中国語Ⅲ * 基礎中国語Ⅲ * 基礎中国語(応用)Ⅱ(1) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(1) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(1) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(2) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(2) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(3) * 差段中国語(応用)Ⅱ(1) * 登段中国語(応用)Ⅱ(2) * 発展中国語(応用)Ⅱ(3) * 発展中国語(応用)Ⅱ(4) * 発展中国語(10) * 光雅中国語(10) * 北田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田田・田・田・田・田・田・田・	1		
***フランス語初多Ⅱ(2) 中国語 * 基礎中国語Ⅱ	***フランス語初歩 I(2)	1	
中国語 2 (1) * 基礎中国語目 2 (1) * 基礎中国語目 2 (1) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (1) * 差礎中国語 (応用) I(1) 1 (1) * 卷提中国語 (1) 1 (1) * 卷提中国語 (2) 1 (1) * 卷提中国語 (2) 1 (1) * 卷提中国語 (2) 1 (1) * * 卷提中国語 (2) 1 (1) * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	***フランス語初歩 II(1)	1	(I ~ W)
* 基礎中国語目 2 (I) * 基礎中国語目 2 (I) * 基礎中国語目 2 (I) * 基礎中国語目 2 (I) * 基礎中国語 (応用) I(1) 1 (I) * 基礎中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 差健中国語 (応用) I(2) 1 (I) * 発展中国語 I(3) 1 (II) * 免展中国語 I(1) 1 (II) * 免展中国語 I(1) 1 (II) * 免展中国語 I(1) 1 (II) * 免展中国語 I(2) 1 (II) * 免展中国語 I(3) 1 (II) * 免展中国語 I(4) 1 (II) * 免展中国語 I(5) 1 (II) * 免展中国語 I(7) 1 (II) * 免展中国語 I(8) 1 (II) * * 免展中国語 I(1) 1 (II) * * 免展中国語 I(1) 1 (II) * * 免展中国語 I(2) 1 (II) * * * * * * * * * * * * * * * * * *	***フランス語初歩 II(2)	1	(I ~ W)
* 基礎中国語田 2 (1) * 基礎中国語 (2) (1) * 基礎中国語 (2) (1) * 基礎中国語 (3) (2) (1) * 基礎中国語 (3) (2) (1) (1) * 基礎中国語 (3) (2) (1) (1) * 基礎中国語 (3) (4) (1) (1) * 基礎中国語 (4) (4) (1) (1) * 基礎中国語 (4) (4) (1) (1) * 差疑中国語 (4) (4) (1) (1) * 発展中国語 (1) (1) (1) * 光程中国語 (1) (1) (1) (1) * 光程中国語 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	中国語		
* 基礎中国語Ⅲ 2 (1)	* 基礎中国語 I	2	(I)
* 基礎中国語(応用) I(1) * 基礎中国語(応用) I(2) * 基礎中国語(応用) I(1) * 基礎中国語(応用) I(1) * 基礎中国語(応用) I(1) * 基礎中国語(応用) I(2) * 基礎中国語(1) * 登展中国語 I(2) * 登展中国語 I(1) * 登展中国語 I(2) * * 差	32.56 1 PARK 2	1	
* 基礎中国語(応用)I(1) * 基礎中国語(応用)I(2) * 基礎中国語(応用)I(2) * 基礎中国語(応用)I(1) * 基礎中国語(応用)I(2) * 差健中国語 I(2) * 発展中国語 I(2) * 発展中国語 I(1) * 発展中国語 I(1) * 発展中国語 I(2) * 発展中国語 I(1) * 発展中国語 I(2) * 化 (I) * 光程中国語 I(2) * 光程中国語 I(2) * 光程中国語 I(2) * 光程中国語 I(1) * 光程中国語 I(2) * 北 (II) * 光程中国語 I(2) * 北 (II) * * 光程中国語 I(2) * 北 (II) * * * * 北 建中国語会話 I(1) * * * * 北 非 中国語分			
* 基礎中国語 (応用) I(2)			
* 基礎中国語(応用)Ⅱ(1) * 基礎中国語(応用)Ⅱ(2) * 登録中国語目(1) * 発展中国語目(1) * 発展中国語目(1) * 発展中国語目(2) * 発展中国語田(1) * 発展中国語田(1) * 発展中国語田(1) * 発展中国語田(1) * 発展中国語田(2) * 全級中国語田(2) * 全級中国語田(1) * 差疑中国語和(2) * 注 (II) * 差疑中国語和(1) * 差疑中国語和(2) * 注 (II) * * 差疑中国語会話目(1) * * * 差 接中国語会話目(2) * * * * 本 中国語会話目(2) * * * * 本 中国語会話目(2) * * * * 中国語会話目(2) * * * * 中国語初会目(2) * * * * 中国語初会目(2) * * * * 中国語初会目(2) * * * * 中国語初多日(1) * * * * 中国語初多日(1) * * * * 中国語初多日(1) * * * * 中国語初多日(2) *	I .		
* 基礎中国語 (応用) II(2)			
* 発展中国語 I (1)			1 ' '
* 発展中国語 I(2)			1 ' '
* 発展中国語田(1) * 発展中国語田(2) * 発展中国語田(2) * 発展中国語田(2) * 発展中国語田(2) * 発展中国語田(2) * 発展中国語田(2) * 1 (II) * 発展中国語形(2) * 1 (II) * 発展中国語形(2) * 2 (II (II) * 発展中国語公話 I(1) * 発展中国語公話 I(1) * * 発展中国語公話 I(2) * 1 (II ~ IV) * * * 基礎中国語公話 I(1) * * * * 基礎中国語公話 I(1) * * * * * 基礎中国語公話 I(1) * * * * * 中国語初步 I(2) * * * * * 中国語初步 I(2) * * * * * 中国語初步 I(2) 中国語プレゼンテーション I 2 (I ~ IV) 中国語プレゼンテーション I 2 (I ~ IV) 中国語プレゼンテーション I 2 (I ~ IV) 中国語プレゼンテーション I 1 (I ~ IV) *			
* 発展中国語田(2)			
* 発展中国語面(1) * 発展中国語形(1) * 発展中国語形(1) * 発展中国語形(1) * 発展中国語(1) * 発展中国語(1) * 光展中国語(1) * 光展中国語(1) * 光珠・基礎中国語会話 1(1) * ** *基礎中国語会話 1(2) * ** *基礎中国語会話 1(2) * ** ** * 中国語分形 1(1) * ** ** * * 中国語分形 1(1) * ** ** * 中国語初步 1(1) * ** ** * 中国語初步 1(1) * ** ** 中国語初步 1(2) * ** * 中国語初步 1(2) * * 1 (
* 発展中国語 II (II) * ** 基礎中国語会話 II (II) * ** * * 基礎中国語会話 II (II) * ** * * 中国語初歩 II (II) * ** * * 中国語初歩 II (II) * * * * * 中国語初歩 II (II) * * * * * 中国語初歩 II (II) * II (II ~ IV) * * * * * 中国語初歩 II (II) * II (II ~ IV) * * * * * 中国語初歩 II (II) * II (II ~ IV) * III (II			
* 発展中国語N(1) * 発展中国語N(2) ***基礎中国語会話 I(1) ***基礎中国語会話 I(2) ***基礎中国語会話 I(2) ***基礎中国語会話 I(1) ***基礎中国語会話 I(2) ***基礎中国語会話 I(1) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) 中国語プレゼンテーション I 2 (I~IV) 中国語プレゼンテーション I 2 (I~IV) 中国語プレゼンテーション I 2 (I~IV) 中国語プレゼンテーション I 1 (I~IV) * ロシア語初歩 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語初歩 I(2) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(2) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(1) 1 (I~IV) * ロシア語会話 I(2) 1 (I~IV) * 明鮮語初歩 I(2) 1 (I~IV) * 明鮮語初歩 I(2) 1 (I~IV) * 明鮮語初歩 I(1) 1 (I~IV) * 明鮮語初歩 I(2) 1 (I~IV) * 朝鮮語初歩 I(1) 1 (I~IV) * 朝鮮語奇法 I(1) 1 (I~IV) * 朝鮮語奇法 I(1) 1 (I~IV) * 別鮮語会話 I(2) 1 (I~IV) * 別鮮語会話 I(1) 1 (I~IV) * 別鮮語会話 I(1) 1 (I~IV) * 別鮮語会話 I(2) 1 (I~IV) * 別洋アジア諸語 I 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 I 2 (I~IV)			
***基礎中国語会話 I (1) ***基礎中国語会話 I (2) ***基礎中国語会話 I (1) ***基礎中国語会話 I (1) ***基礎中国語会話 I (1) ***基礎中国語会話 I (1) ***中国語初歩 I (1) ***中国語初歩 I (2) ***中国語初歩 I (1) ***中国語初歩 I (2) ***中国語初歩 I (2)			
***基礎中国語会話 I(2) ***基礎中国語会話 I(1) ***基礎中国語会話 II(2) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(2) 中国語プレゼンテーション II ロシア語 **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語初歩 II(1) **ロシア語会話 I(1) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(2) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(2) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(2) **ロシア語会話 II(2) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(2) **ロシア語会話 II(1) **ロシア語会話 II(2) **朝鮮語初歩 II(2) **朝鮮語初歩 II(1) **朝鮮語初歩 II(2) **朝鮮語会話 II(2) **朝鮮語会話 II(1) **朝鮮語会話 II(2) **現代 アジア 諸語 II(2) **スポーツ健康(必修) *スポーツ健康(必修) *スポーツ健康(必修) *スポーツ健康(必修) **スポーツ健康(必修) *スポーツ健康(必修) **スポーツ健康(必修) **スポーツ健康(必修) ***ロジア *ロ・N) **ロジア *ロジア *ロ・N) **ロジア *	* 発展中国語IV(2)	1	(II)
***基礎中国語会話 II (1) ***基礎中国語会話 II (2) ***中国語初歩 I (1) ***中国語初歩 I (1) ***中国語初歩 II (2) 中国語ブレゼンテーション II ロシア語 **ロシア語初歩 I (1) **ロシア語初歩 II (1) **ロシア語初歩 II (1) **ロシア語初歩 II (1) **ロシア語初歩 II (1) **ロシア語会話 I (2) **ロシア語会話 I (2) **ロシア語会話 I (1) **ロシア語会話 II (1) **ロシア語会話 II (1) **ロシア語会話 II (2) **ロシア語会話 II (1) **ロシア語会話 II (1) **ロシア語会話 II (2) **朝鮮語 **朝鮮語 **朝鮮語初歩 I (1) **朝鮮語初歩 I (2) **朝鮮語初歩 I (1) **朝鮮語会話 I (2) **朝鮮語会話 I (2) **朝鮮語会話 I (2) **朝鮮語会話 I (1) **朝鮮語会話 I (2) **朝鮮語会話 I (1) **初野語会話 I (2) **初野語会話 I (2) **初野語会話 I (1) **初野語会話 I (2) **初野語会話 I	***基礎中国語会話 I(1)	1	(II ~ IV)
***基礎中国語会話 II (2) ***中国語初歩 I (1) ***中国語初歩 I (2) ***中国語初歩 I (2) ***中国語初歩 I (2) ***中国語初歩 I (2) 中国語ブレゼンテーション I (I ー N) 中国語ブレゼンテーション I 2 (I ー N) 中国語ブレゼンテーション I 1 (I ー N) * ロシア語初歩 I (1) 1 (I ー N) * ロシア語初歩 I (1) 1 (I ー N) * ロシア語初歩 I (2) 1 (I ー N) * ロシア語初歩 I (2) 1 (I ー N) * ロシア語音初歩 I (2) 1 (I ー N) * ロシア語会話 I (1) 1 (I ー N) * ロシア語会話 I (1) 1 (I ー N) * ロシア語会話 I (2) 1 (I ー N) * ロシア語会話 I (2) 1 (I ー N) * ロシア語会話 I (1) 1 (I ー N) * 明幹語初歩 I (2) 1 (I ー N) * 朝鮮語 * 朝鮮語初歩 I (1) 1 (I ー N) * 朝鮮語初歩 I (2) 1 (I ー N) * 朝鮮語初歩 I (2) 1 (I ー N) * 朝鮮語会話 I (1) 1 (I ー N) * 朝鮮語会話 I (1) 1 (I ー N) * 朝鮮語会話 I (1) 1 (I ー N) * 明鮮語会話 I (2) 1 (I ー N) * 明鮮語会話 I (2) 1 (I ー N) * 現代スペン語 * 現代イタリア語 4 (I ー N) * 現代アジア諸語 2 (I ー N) * スポーツ健康(選択) * スポーツ健康(選択) * スポーツ健康(選択) * スポーツ健康(選択) * スポーツ健康(選択) * スポーツ健康(選択) * スポーツ発酵論 2 (I ー N) * 健康科学概論 2 (I ー N)	***基礎中国語会話 I(2)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(2) 中国語ブレゼンテーション I 中国語ブレゼンテーション II ロシア語 **ロシア語初歩 I(1) **ロシア語初歩 I(1) **ロシア語初歩 I(2) **ロシア語初歩 I(1) **ロシア語初歩 I(1) **ロシア語初歩 I(2) **ロシア語初歩 I(1) **ロシア語会話 I(1) **明鮮語初歩 I(2) **朝鮮語初歩 I(1) **朝鮮語初歩 I(2) **朝鮮語会話 I(1) **朝鮮語会話 I(1) **朝鮮語会話 I(1) **朝鮮語会話 I(1) **朝鮮語会話 I(1) **朝鮮語会話 I(1) **初野語会話 I(2) **初野語会話 I(1) **初野語会話 I(2) **初野語会話 I(1) **初野語会話 I(2) **初野語会話 I(1) **初野語会話 I(2) **オペスペイン語 **現代スペイン語 **現代スペイン語 **現代スペイン語 **現代イタリア語 **現代イタリア語 **現代イシア諸語 I **現代アジア諸語 I **現代アジア諸語 I **スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ健康等署 2 (I~N) 健康科学概論 2 (I~N)	***基礎中国語会話 II(1)	1	(II ~ IV)
***中国語初歩 I(2) ***中国語初歩 I(1) ***中国語初歩 I(2) 中国語プレゼンテーション I 中国語プレゼンテーション I 中国語プレゼンテーション I ロシア語初歩 I(1) * ロシア語初歩 I(1) * ロシア語初歩 I(1) * ロシア語初歩 I(2) * ロシア語初歩 I(1) * ロシア語初歩 I(2) * ロシア語会話 I(1) * ロシア語会話 I(1) * ロシア語会話 I(2) * ロシア語会話 I(2) * ロシア語会話 I(1) * ロシア語会話 I(1) * ロシア語会話 I(2) * 朝鮮語初歩 I(2) * 朝鮮語初歩 I(1) * 朝鮮語初歩 I(2) * 朝鮮語会話 I(1) * 朝鮮語会話 I(2) * 朝鮮語会話 I(1) * 朝鮮語会話 I(1) * 朝鮮 I(1) * 財 I(1 ~ IV) * 朝鮮 I(1 ~ IV) * 기 (1 ~ IV	***基礎中国語会話 II(2)	1	(II ~ IV)
***中国語初歩Ⅱ(1) ***中国語初歩Ⅱ(2) 中国語プレゼンテーションⅡ 2 (I~N) 中国語プレゼンテーションⅡ 2 (I~N) 中国語プレゼンテーションⅡ 2 (I~N) コシア語初歩Ⅱ(1) 1 (I~N) * ロシア語初歩Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語初歩Ⅱ(1) 1 (I~N) * ロシア語初歩Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語初歩Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * ロシア語会話Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語会話Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語会話Ⅱ(2) 1 (I~N) * ロシア語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * 明鲜語初歩Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語初歩Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語初歩Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語初歩Ⅱ(2) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(1) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(2) 1 (I~N) * 朝鲜語会話Ⅱ(2) 1 (I~N) * 現代本のイン語 * 現代スペイン語 * 現代イタリア語 * 現代イタリア語 * 現代イタリア語 * 現代アジア諸語Ⅱ 2 (I~N)		1	
***中国語初歩Ⅱ(2) 中国語プレゼンテーションⅡ 中国語プレゼンテーションⅡ ロシア語 * ロシア語初歩Ⅱ(1) * ロシア語初歩Ⅱ(2) * ロシア語初歩Ⅱ(2) * ロシア語初歩Ⅱ(2) * ロシア語初歩Ⅱ(2) * ロシア語会話Ⅱ(1) * 明화語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮和分歩Ⅱ(2) * 朝鮮和分歩Ⅱ(1) * 朝鮮和分歩Ⅲ(2) * 現代下辺下諸和田(2) * 現代アジア諸和田(2) * (I~N) * (I~N)		1	
中国語プレゼンテーション I 2 (I ~ IV) 中国語プレゼンテーション II 2 (I ~ IV) ア語			
中国語プレゼンテーション II	1	1	
□シア語 * □シア語初歩 I(1) 1 (I ~ W) * □シア語初歩 I(1) 1 (I ~ W) * □シア語初歩 I(1) 1 (I ~ W) * □シア語初歩 I(2) 1 (I ~ W) * □シア語会話 I(1) 1 (I ~ W) * □シア語会話 I(2) 1 (I ~ W) * 朝鮮語 * 朝鮮語 * 朝鮮語初歩 I(1) 1 (I ~ W) * 朝鮮語 2 (I ~ W) * 朝鮮語初歩 I(1) 1 (I ~ W) * 朝鮮語会話 I(1) 1 (I ~ W) * 朝鮮語会話 I(1) 1 (I ~ W) * 朝鮮語会話 I(2) 1 (I ~ W) * 現代スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代アジア諸語 I 2 (I ~ W) * スポーツ健康(必修) スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ科学概論 健康科学概論			
* ロシア語初歩 I(1)		2	(I ~ W)
* ロシア語初歩 I(2)		١,	(T N/)
* ロシア語初歩Ⅱ(1)			
* ロシア語会話 I(1) 1 (I ~ N) 1 (I ~ N) 2 ロシア語会話 I(1) 1 (I ~ N) 1 (I ~ N) 2 ロシア語会話 II(1) 1 (I ~ N) 2 ロシア語会話 II(2) 1 (I ~ N) 3 ロシア語会話 II(2) 1 (I ~ N) 4 明鮮語 8 明鮮語初歩 I(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語初歩 II(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語分歩 II(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(1) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鮮語会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鲜語会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鲜活会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鲜活会話 II(2) 1 (I ~ N) 9 明鲜活会话 II(2) 1 (I ~ N) 9 明新会话 II(2) 1 (I ~ N) 9 明新			
* ロシア語会話 I (1)			
* ロシア語会話 I(2)			
* ロシア語会話 II (1)			i
* ロシア語会話 II (2)			
* 朝鮮語初歩 I (1)		l .	
* 朝鮮語初歩 I(2)	朝鮮語		
* 朝鮮語初歩Ⅱ(1) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語初歩Ⅱ(2) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(2) * 朝鮮語会話Ⅱ(1) * 朝鮮語会話Ⅱ(2) * 朝鮮語会話Ⅱ(2) * 朝鮮語会話Ⅱ(2) * 初野語会話Ⅱ(2) * 現代スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代オッア語 * 現代すジア諸語 * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅲ * 現代アジア諸語Ⅱ * ほんアジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * 現代アジア諸語Ⅱ * ほんアジア諸語Ⅱ * は、「レード) * 現代アジア諸語Ⅱ * は、「レード) * は、「レー	* 朝鮮語初歩 I(1)	1	(I ~ W)
* 朝鮮語初歩Ⅱ(2)	* 朝鮮語初歩 I(2)	1	(I ~ W)
* 朝鮮語会話 I (1)	* 朝鮮語初歩 II(1)	1	(I ~ W)
* 朝鮮語会話 I (2)	* 朝鮮語初歩 II(2)	1	(I ~ W)
* 朝鮮語会話 II (1)	* 朝鮮語会話 I(1)	1	(I ~ W)
* 朝鮮語会話 II (2) スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代スペイン語 * 現代オタリア語 * 現代イジア諸語 * 現代アジア諸語 I 2 (I ~ IV) * 現代アジア I 2 (I ~ IV) * 現代ア I 2 (I ~ IV)	* 朝鮮語会話 I(2)	1	(I ~ W)
スペイン語 4 (I~IV) * 現代スペイン語 4 (I~IV) イタリア語 4 (I~IV) * 現代イタリア語語 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 I 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV)	DANGE AND COLOR	1	1 ' ' '
* 現代スペイン語 イタリア語 * 現代イタリア語 * 現代イタリア語 * 現代アジア諸語 I 2 (I~IV)		1	(I ~ IV)
イタリア語 4 (I~IV) * 現代イタリア語 4 (I~IV) アジア諸語 I 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I~IV) スポーツ健康(必修) 2 (I~IV) スポーツ健康失習 2 (I (I~IV) スポーツ健康(選択) 2 (I~IV) 成康科学概論 2 (I~IV)	1		(
* 現代イタリア語 4 (I~IV) アジア諸語 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I~IV) スポーツ健康(必修) スポーツ健康失習 スポーツ健康(選択) 2 (I~IV) スポーツ科学概論 2 (I~IV) 健康科学概論 2 (I~IV)		4	(I ~ W)
アジア諸語 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 I 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I~IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I~IV) スボーツ健康(必修) 2 (I ~IV) スボーツ健康実習 2 (I ~IV) スボーツ科学概論 2 (I~IV) 健康科学概論 2 (I~IV)			(
* 現代アジア諸語 I 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I ~ IV) スボーツ健康(必修) 2 (I) スボーツ健康(選択) 2 (I ~ IV) スボーツ科学概論 2 (I ~ IV) 健康科学概論 2 (I ~ IV)		4	(1 ~ W)
* 現代アジア諸語 II 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語 II 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語 IV 2 (I ~ IV) スボーツ健康(必修) 2 (I) スボーツ健康(選択) 2 (I ~ IV) スボーツ科学概論 2 (I ~ IV) 健康科学概論 2 (I ~ IV)		9	(1 - 17/)
* 現代アジア諸語Ⅲ 2 (I ~ IV) * 現代アジア諸語Ⅳ 2 (I ~ IV) スボーツ健康(必修) 2 (I) スボーツ健康(選択) 2 (I ~ IV) スボーツ科学概論 2 (I ~ IV) 健康科学概論 2 (I ~ IV)			
* 現代アジア諸語IV 2 (I~IV) スポーツ健康(必修) 2 (I) スポーツ健康(選択) 2 (I~IV) スポーツ科学概論 2 (I~IV) 健康科学概論 2 (I~IV)			
スポーツ健康(必修) スポーツ健康(選択) スポーツ健康(選択) スポーツ科学概論 健康科学概論 2 (I~N)			
スポーツ健康実習 2 (I) スポーツ健康(選択) 2 (I~N) メポーツ科学概論 2 (I~N) 健康科学概論 2 (I~N)			(1 17)
スポーツ健康(選択) スポーツ科学概論 2 (I~N) 健康科学概論 2 (I~N)		2	(1)
スポーツ科学概論 2 (I ~ IV) 健康科学概論 2 (I ~ IV)		-	
健康科学概論 2 (I ~ W)		2	(I ~ Ⅳ)
生涯スポーツ		2	
	生涯スポーツ	$0.5 \sim 3$	(I ∼ IV)

別表第4 専門教育科目(第5条関係)

主プログラム

数学主プログラム			単位数:60
授業科目	単位数	必修・選択	備考
集合論1	1	必修	
集合論2	1	必修	
線形代数学1	2	必修	
線形代数学2	2	必修	
線形代数学3	2	必修	
線形代数学4	2	必修	
線形代数学5	2	必修	
微分積分学1	2	必修	
微分積分学2	2	必修	
微分積分学3	2	必修	
微分積分学4	2	必修	
微分積分学5	2	必修	
位相空間論1	2	必修	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
位相空間論2	2	必修	
群論1	2	必修	
群論2	2	必修	
環論	2	必修	
関数論1	2	必修	
多様体論1	2	必修	
積分論1	2	必修	
数学講究	8	必修	
集合論 3	2	選択	以下の科目から 14 単位選択
線形代数学6	2	選択	
微分積分学6	2	選択	
数学輪講	2	選択	
ベクトル解析	2	選択	
初等代数学	2	選択	
確率序論	2	選択	
数理解析序論	2	選択	
数学選択基礎	2	選択	

物理学主プログラム			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
古典力学(1)	1	必修	
古典力学(2)	1	必修	
解析力学(1)	1	必修	
解析力学(2)	1	必修	
電磁気学 I (1)	1	必修	
電磁気学 I (2)	1	必修	
電磁気学 Ⅱ(1)	1	必修	
電磁気学 Ⅱ(2)	1	必修	
物理数学Ⅰ⑴	1	必修	
物理数学 I (2)	1	必修	
物理数学 Ⅱ(1)	1	必修	
物理数学 Ⅱ(2)	1	必修	
数理物理学(1)	1	必修	
数理物理学(2)	1	必修	
力学系理論(1)	1	必修	
力学系理論(2)	1	必修	
熱力学(1)	1	必修	
熱力学(2)	1	必修	
統計力学(1)	1	必修	
統計力学(2)	1	必修	
量子力学 I (1)	1	必修	
量子力学 I (2)	1	必修	
量子力学 Ⅱ(1)	1	必修	
量子力学 Ⅱ(2)	1	必修	
量子力学Ⅲ(1)	1	必修	
量子力学Ⅲ(2)	1	必修	
力学演習(1)	1	必修	
力学演習(2)	1	必修	
電磁気学演習(1)	1	必修	
電磁気学演習(2)	1	必修	
物理数学演習(1)	1	必修	
物理数学演習(2)	1	必修	
量子力学演習(1)	1	必修	
量子力学演習(2)	1	必修	
統計力学演習(1)	1	必修	
統計力学演習(2)	1	必修	
基礎物理学実験(1)	1	必修	
基礎物理学実験(2)	1	必修	
物理学実験(1)	1	必修	
物理学実験(2)	1	必修	
物理学実験(3)	1	必修	
物理学実験(4)	1	必修	
特別研究	12	必修	
物理英語(1)	1	選択	以下の科目から6単位選択(
*物理英語(2)	1	選択	はコア科目外国語(必修)英語
初等解析学 I	2	選択	「中級英語Ⅱ(1)」「中級英語Ⅱ(2
初等解析学Ⅱ(1)	1	選択	に充てることができる)
初等解析学 Ⅱ(2)	1	選択	
初等線形代数学	2	選択	
宇宙・地球科学	2	選択	
大気・海洋科学概論	2	選択	
化学基礎実験	2	選択	
生物学基礎実験	2	選択	
地学基礎実験	2	選択	
物理学選択基礎	2	選択	

化学主プログラム			単位数: 60
授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理化学 I	2	必修	
物理化学Ⅱ	2	必修	
物理化学Ⅲ	2	必修	
無機化学 I	2	必修	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
無機化学Ⅱ	2	必修・選択	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
無機化学 I	2	必修	
有機化学Ⅱ	2	必修 必修	
有域化学Ⅱ 分析化学 I (1)	1	必修	
分析化学 I (2)	1		
分析化学 I (2) 生物化学 I (1)	1	必修 必修	
生物化学 I(2)	1		
1	_	必修	
生物化学Ⅱ	2	必修	
基本化学実験 I	2	必修	
基本化学実験Ⅱ	2	必修	
基本化学実験Ⅲ	2	必修	
基本化学実験Ⅳ	2	必修	
専門化学実験 Ⅰ	2	必修	
専門化学実験Ⅱ	2	必修	
専門化学実験Ⅲ	2	必修	
専門化学実験Ⅳ	2	必修	
専門化学実験V	2	必修	
化学演習 I	2	必修	
化学演習 Ⅱ	2	必修	
特別研究 I	4	必修	
特別研究Ⅱ	8	必修	
化学特別ゼミI	2	選択	以下の科目から6単位選択
化学特別ゼミⅡ	2	選択	
化学英語	2	選択	
基礎化学A	2	選択	
基礎化学B(1)	1	選択	
基礎化学B(2)	1	選択	
物理学概論A	2	選択	
物理学概論B	2	選択	
基礎生物学A	2	選択	
基礎生物学B	2	選択	
生物学基礎実験	2	選択	
物理学基礎実験	2	選択	
化学選択基礎	2	選択	
生物学概論A	2	選択	
生物学概論B	2	選択	
地球環境科学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生化学	2	必修	un - 3
生物物理学	2	必修	
動物系統学	2	必修	
植物系統学	2	必修	
動物生理学	2	必修	
植物生理学	2	必修	
代謝生物学	2	必修	
基礎遺伝学	2	必修	
分子遺伝学	2	必修	
細胞生物学	2	必修	
発生生物学	2	必修	
進化生物学	2	必修	
生物統計学	2	必修	
生物学実習 I	2	必修	
生物子失百 Ⅰ 生物学実習 Ⅱ	2	必修	
生物子美自 I 生物学演習 I	2	必修	
生物学演習Ⅱ	2	必修	
生物子供自 II 特別研究 I	6	必修	
特別研究Ⅱ	6	必修	
村別研五Ⅱ 基礎遺伝学実習	1	選択	以下の科目から8単位以上選択
を	1	選択	以下の村日から6年世以上選択
カナ夏ム子美百 細胞生物学実習	1		
和旭生物子夫首 細胞生化学実習	1	選択選択	
和旭生化子夫首 代謝生物学実習	1	選択	
化爾生物子美質 植物生理学実習	1	選択	
他初生理子夫百 動物生理学実習	1	選択	
動物生性子类自 発生生物学実習	1		
完生生物子美音 植物系統学実習	1	選択選択	
惟初糸杌字美智 動物系統学臨海実習	1	選択	
動物 示 机子 區 海 夫 百 動物 生 理 学 區 海 実 習	1	選択	
植物系統学臨海実習 *生物学外書講読	1 2	選択	各選択(*印はコア科目外国語(
	2	選択	
植物生態学			英語Ⅱ(2)」に充てることができる
動物生態学	2	選択	天間 1/2/1/12/12 くること くさん
生物学選択基礎	2	選択	
生物学研究基礎	2	選択	
生物学特別講義 I	2	選択	NEWNONE
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	以下の科目から本プログラム
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	して2単位までを含めること:
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	できる
生物学特別講義V	2	選択	
生物学特殊講義I	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	I

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義V	1	選択	
生物学特殊講義VI	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義IX	1	選択	
生物学特殊講義X	1	選択	
生物学特殊講義XI	1	選択	
生物学特殊講義XⅡ	1	選択	
生物学特殊講義XⅢ	1	選択	
生物学特殊講義XIV	1	選択	
生物学特殊講義XV	1	選択	
生物学特殊講義XVI	1	選択	
生物学特殊講義XⅦ	1	選択	
生物学特殊講義X™	1	選択	
生物学特殊講義XIX	1	選択	
生物学特殊講義 X X	1	選択	

12.00.41			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
線形代数学1	2	必修	
線形代数学 2	2	必修	
線形代数学3	2	必修	
線形代数学 4	2	必修	
微分積分学1	2	必修	
微分積分学2	2	必修	
微分積分学3	2	必修	
微分積分学 4	2	必修	
数理基礎論	2	必修	
コンピュータシステム序論	2	必修	
データ構造とアルゴリズム	2	必修	
コンピュータ基礎演習	2	必修	
プログラミング実習	2	必修	
確率序論	2	必修	
離散数学	2	必修	
システムプログラミング実習	2	必修	
コンピュータアーキテクチャI	2	必修	
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	必修	
コンピュータネットワーク I	2	必修	
マルチメディア	2	必修	
マルチメディアプログラミング実習	2	必修	
特別研究	6	必修	
データ解析序論	2	選択	以下の科目から12単位選択(*
微分積分学5	2	選択	印はコア科目外国語(必修)英語
微分積分学6	2	選択	の「中級英語Ⅱ(1)」「中級英語Ⅱ(2)
初等代数学	2	選択	に充てることができる)
グラフ理論	2	選択	
関数型言語	2	選択	
計算機代数演習	2	選択	
位相空間論	2	選択	
情報理論	2	選択	
物理学概論A	2	選択	
物理学概論B	2	選択	
*英文講読	2	選択	
情報科学選択基礎	2	選択	

別表第5 専門教育科目(第5条関係)

強化プログラム

数学強化プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
体論	2	選択	以下の科目から 20 単位以上選択
加群と表現	2	選択	(*印はコア科目外国語(必修)英
関数論2	2	選択	語の「中級英語Ⅱ(1)」「中級英語Ⅱ
多様体論 2	2	選択	(2)」に充てることができる)
積分論2	2	選択	
微分方程式論	2	選択	
*数学英語	2	選択	
関数解析	2	選択	
微分幾何学	2	選択	
位相幾何学	2	選択	
ガロア理論	2	選択	
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択	
関数論続論	2	選択	
確率論	2	選択	
グラフ理論	2	選択	
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
計算基礎論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
数理経済学	2	選択	
数理統計学	2	選択	
コンピュータシステム序論	2	選択	
数理構造特別講義 I	2	選択	
数理構造特別講義Ⅱ	2	選択	
数理構造特別講義Ⅲ	2	選択	
数理構造特別講義Ⅳ	2	選択	
数理構造特別講義V	2	選択	
数理構造特別講義VI	1	選択	
数理構造特別講義Ⅵ	1	選択	
数理構造特別講義™	1	選択	
数理構造特別講義Ⅸ	1	選択	
数理構造特別講義X	1	選択	
数学演習 I	2	選択	
数学演習 Ⅱ	2	選択	
数学演習Ⅲ	2	選択	
数学演習 Ⅳ	2	選択	
数学演習 V	2	選択	
数学演習 VI	1	選択	
数学演習 Ⅵ	1	選択	
数学演習 Ⅷ	1	選択	
数学演習 IX	1	選択	
数学演習X	1	選択	
数理逍遥 I	2	選択	
数理逍遥Ⅱ	2	選択	
数理逍遥Ⅲ	2	選択	
数理逍遥Ⅳ	2	選択	

物理学強化プログラム	単位数:2		
授業科目	単位数	必修・選択	備考
固体電子論(1)	1	選択	以下の科目から 20 単位選択
固体電子論(2)	1	選択	
相転移物理学	2	選択	
凝縮系物理学(1)	1	選択	
凝縮系物理学(2)	1	選択	
原子核物理学	2	選択	
素粒子物理学(1)	1	選択	
素粒子物理学(2)	1	選択	
物性物理学序論(1)	1	選択	
物性物理学序論(2)	1	選択	
相対論(1)	1	選択	
相対論(2)	1	選択	
宇宙物理学(1)	1	選択	
宇宙物理学(2)	1	選択	
連続体物理学	2	選択	
流体物理学	2	選択	
物理実験学(1)	1	選択	
物理実験学(2)	1	選択	
初柱天駅子(2) 基礎エレクトロニクス(1)	1	選択	
基礎エレクトロニクス(1) 基礎エレクトロニクス(2)	1		
		選択	
量子光学(1)	1	選択	
量子光学(2)	1	選択	
ソフトマター物理	2	選択	
場の量子論(1)	1	選択	
場の量子論(2)	1	選択	
計算物理学講義・演習(1)	2	選択	
計算物理学講義・演習(2)	2	選択	
物理学基礎研究	2	選択	
物理学特別講義 I	2	選択	
物理学特別講義 Ⅱ	2	選択	
物理学特別講義Ⅲ	2	選択	
物理学特別講義Ⅳ	2	選択	
物理学特別講義V	2	選択	
物理学特別講義VI	2	選択	
物理学特別講義Ⅶ	2	選択	
物理学特別講義Ⅷ	2	選択	
物理学特別講義IX	2	選択	
物理学特別講義X	2	選択	
物理学特別講義XI	2	選択	
物理学特別講義XⅡ	2	選択	
物理学特別講義XⅡ	2	選択	
物理学特別講義XIV	2	選択	
物理学特別講義XV	2	選択	
物理学特別講義 X VI	2	選択	
	2 2		
物理学特別講義ⅩⅧ	2 2	選択	
物理学特別講義ⅩⅧ	_	選択	
物理学特別講義XIX	2	選択	
物理学特別講義XX	2	選択	
放射線基礎講義(1)	1	選択	
放射線基礎講義(2)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
有機化学Ⅲ	2	必修	
分析化学Ⅱ	2	必修	
分子分光法	2	必修	
無機化学Ⅲ	2	選択	以下の科目から14単位以上選打
生体分子機能・反応学	2	選択	
物理化学Ⅳ	2	選択	
有機化学Ⅳ	2	選択	
分子生命科学(1)	1	選択	
分子生命科学(2)	1	選択	
量子化学	2	選択	
計算化学	2	選択	
反応物理化学	2	選択	
高分子化学	2	選択	
実験値解析法	2	選択	
放射化学	2	選択	
生物物理化学	2	選択	
物理化学特別講義 I	2	選択	
物理化学特別講義Ⅱ	2	選択	
物理化学特別講義Ⅲ	2	選択	
無機化学特別講義Ⅰ	2	選択	
無機化学特別講義Ⅱ	2	選択	
無機化学特別講義Ⅲ	2	選択	
分析化学特別講義 I	2	選択	
分析化学特別講義Ⅱ	2	選択	
分析化学特別講義Ⅲ	2	選択	
有機化学特別講義I	2	選択	
有機化学特別講義Ⅱ	2	選択	
有機化学特別講義Ⅲ	2	選択	
生物化学特別講義 I	2	選択	
生物化学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物化学特別講義Ⅲ	2	選択	
化学特別講義 I	1	選択	
化学特別講義 Ⅱ	1	選択	
化学特別講義Ⅱ	1	選択	
化学特別講義 IV	1	選択	
化学特別講義V	1	選択	
化学特別講義VI	1	選択	
化学特別講義 W	1	選択	
化学特別講義 🎹	1	選択	

生物学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
細胞生化学	2	選択	以下の科目から20単位選択
分子細胞情報学	2	選択	
生物系統地理学	2	選択	
進化遺伝学	2	選択	
発生遺伝学(1)	1	選択	
発生遺伝学(2)	1	選択	
バイオメカニクス(1)	1	選択	
バイオメカニクス(2)	1	選択	
植物生理工学(1)	1	選択	
植物生理工学(2)	1	選択	
遺伝子工学(1)	1	選択	
遺伝子工学(2)	1	選択	
植物機能制御学	2	選択	
動物環境応答学(1)	1	選択	
動物環境応答学(2)	1	選択	
分子構造生物学(1)	1	選択	
分子構造生物学(2)	1	選択	
免疫学	2	選択	
生命情報プログラミング演習	1	選択	
分析・光学機器実習	1	選択	
発生生物学臨海実習	1	選択	
公開臨海実習	2	選択	
生物学特別講義 I	2	選択	
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	
生物学特別講義V	2	選択	
生物学特殊講義 I	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義V	1	選択	
生物学特殊講義VI	1	選択	
生物学特殊講義Ⅵ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義IX	1	選択	
生物学特殊講義X	1	選択	
生物学特殊講義XI	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	選択	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物学特殊講義XIV	1	選択	
生物学特殊講義XV	1	選択	
生物学特殊講義XVI	1	選択	
生物学特殊講義XⅦ	1	選択	
生物学特殊講義XW	1	選択	
生物学特殊講義XIX	1	選択	
生物学特殊講義 X X	1	選択	
化学概論A	2	選択	
化学概論B	2	選択	
地史・古生物学概論	2	選択	

情報科学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
情報科学集中演習	2	選択	以下の科目から20単位選択
関数論1	2	選択	
関数論2	2	選択	
数值計算	2	選択	
数值計算演習	2	選択	
言語理論とオートマトン	2	選択	
計算基礎論	2	選択	
情報解析学	2	選択	
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択	
微分方程式論	2	選択	
数理統計学	2	選択	
情報倫理	2	選択	
情報と職業	2	選択	
計算モデル論	2	選択	
コンパイラ構成論	2	選択	
形式言語論	2	選択	
人工知能論	2	選択	
自然言語論	2	選択	
ベイオインフォマティクス	2	選択	
データベース設計論	2	選択	
コンピュータグラフィックス	2	選択	
コンピュータビジョン	2	選択	
コンピュータネットワークⅡ	2	選択	
ヒューマンインターフェイス	2	選択	
ソフトウェア工学	2	選択	
環境情報論	2	選択	
シミュレーション科学	2	選択	
情報科学特別講義 [2	選択	
情報科学特別講義Ⅱ	2	選択	
情報科学特別講義Ⅲ	2	選択	
情報科学特別講義IV	2	選択	
旧報付子付別講義V 情報科学特別講義V	2	選択	
情報科学演習Ⅰ	2	選択	
旧刊行子供自 I 情報科学演習 II	2	選択	
同報件子供音Ⅱ 情報科学演習Ⅲ	2	選択	
情報科子演習 Ⅱ 情報科学演習 Ⅳ	2 2	選択	
	2 2		
情報科学演習V	2	選択	

別表第6 専門教育科目(第5条関係)

副プログラム

数学副プログラム	単位数: 20		
授業科目	単位数	必修・選択	備考
初等代数学	2	選択	以下の科目から20単位選択
集合論1	1	選択	
集合論2	1	選択	
集合論3	2	選択	
線形代数学5	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
線形代数学 6	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
微分積分学 5	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
微分積分学6	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
位相空間論1	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
位相空間論 2	2	選択	
関数論1	2	選択	
関数論2	2	選択	
積分論1	2	選択	
関数解析	2	選択	
微分方程式論	2	選択	
多様体論1	2	選択	
位相幾何学	2	選択	
微分幾何学	2	選択	
群論1	2	選択	
環論	2	選択	
ガロア理論	2	選択	
数理逍遥 I	2	選択	
数理逍遥Ⅱ	2	選択	
数理逍遥Ⅲ	2	選択	
数理逍遥Ⅳ	2	選択	

物理学副プログラム 			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理学概論A	2	選択	以下の科目から20単位選択
物理学概論B	2	選択	
物理学基礎実験	2	選択	
宇宙・地球科学	2	選択	
古典力学(1)	1	選択	
古典力学(2)	1	選択	
解析力学(1)	1	選択	
解析力学(2)	1	選択	
電磁気学 I(1)	1	選択	
電磁気学 I (2)	1	選択	
電磁気学 Ⅱ(1)	1	選択	
電磁気学 Ⅱ(2)	1	選択	
物理数学 I(1)	1	選択	
物理数学 I(2)	1	選択	
物理数学Ⅱ(1)	1	選択	
物理数学 Ⅱ(2)	1	選択	
力学系理論(1)	1	選択	
力学系理論(2)	1	選択	
熱力学(1)	1	選択	
熱力学(2)	1	選択	
量子力学 I(1)	1	選択	
量子力学 I (2)	1	選択	
量子力学 Ⅱ(1)	1	選択	
量子力学 Ⅱ(2)	1	選択	
力学演習(1)	1	選択	
力学演習(2)	1	選択	
電磁気学演習(1)	1	選択	
電磁気学演習(2)	1	選択	
物理数学演習(1)	1	選択	
物理数学演習(2)	1	選択	
量子力学演習(1)	1	選択	
量子力学演習(2)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎化学A	2	必修	
基礎化学B(1)	1	必修	
基礎化学B(2)	1	必修	
化学基礎実験	2	必修	
物理化学 I	2	選択	以下の科目から 14 単位選択
物理化学Ⅱ	2	選択	
物理化学Ⅲ	2	選択	
無機化学 I	2	選択	
無機化学Ⅱ	2	選択	
有機化学 I	2	選択	
有機化学Ⅱ	2	選択	
分析化学 I(1)	1	選択	
分析化学 I (2)	1	選択	
生物化学 I(1)	1	選択	
生物化学 I (2)	1	選択	
生物化学 Ⅱ	2	選択	
化学英語	2	選択	
化学特別ゼミI	2	選択	

生物学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎生物学A	2	必修	
基礎生物学B	2	必修	
生物学基礎実験	2	必修	
生化学	2	選択	以下の科目から14単位選択
生物物理学	2	選択	
動物系統学	2	選択	
植物系統学	2	選択	
動物生理学	2	選択	
植物生理学	2	選択	
代謝生物学	2	選択	
基礎遺伝学	2	選択	
分子遺伝学	2	選択	
細胞生物学	2	選択	
発生生物学	2	選択	
進化生物学	2	選択	
生物統計学	2	選択	

情報科学副プログラム	単位数:20		
授業科目	単位数	必修・選択	備考
数理基礎論	2	必修	
情報理論	2	必修	
コンピュータシステム序論	2	選択	
確率序論	2	選択	(数学科は本プログラムとしては履修できない)
離散数学	2	選択	(数学科は履修できない)

授業科目	単位数	必修・選択	備考
コンピュータアーキテクチャI	2	選択	
コンピュータネットワーク I	2	選択	
マルチメディア	2	選択	
グラフ理論	2	選択	
位相空間論	2	選択	(数学科は本プログラムとしては履修できない)
情報倫理	2	選択	
情報と職業	2	選択	
バイオインフォマティクス	2	選択	
組み合わせ論	2	選択	
暗号と符号	2	選択	
ヒューマンインターフェイス	2	選択	
環境情報論	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第5条関係)

学際プログラム

応用数理学際プログラム 単位数:20				
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
以下の(数学)・(物理学)・(情報	科学 のク	ループから2	つ以上を選択し、それぞれ6単位	
以上を修得すること				
(数学)				
関数解析	2	選択		
関数論続論	2	選択		
確率論	2	選択		
フーリエ解析とラプラス変換	2	選択		
ガロア理論	2	選択		
多様体論 1	2	選択		
微分幾何学	2	選択		
微分方程式論	2	選択		
数理統計学	2	選択		
数理経済学	2	選択		
(物理学)				
数理物理学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
数理物理学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
古典力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
古典力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
電磁気学 I(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
電磁気学 I(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
電磁気学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
電磁気学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
量子力学 I(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
量子力学 I(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
量子力学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
量子力学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
解析力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
解析力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
熱力学(1) 熱力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない) (物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
統計力学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
統計力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)	
量子光学(1)	1	選択	(物柱子科は本ノログノムとしては腹豚(さない)	
量子光学(2)	1	選択		
凝縮系物理学(1)	1	選択		
凝縮系物理学(2)	1	選択		
場の量子論(1)	1	選択		
場の量子論(2)	1	選択		
物性物理学序論(1)	1	選択		
物性物理学序論(2)	1	選択		
素粒子物理学(1)	1	選択		
素粒子物理学(2)	1	選択		
相対論(1)	1	選択		
相対論(2)	1	選択		
流体物理学	2	選択		
宇宙物理学(1)	1	選択		
宇宙物理学(2)	1	選択		
物理学基礎研究	2	選択		
(情報科学)				
計算基礎論	2	選択		
グラフ理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)	
情報理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)	
組み合わせ論	2	選択		
コンピュータシステム序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)	
暗号と符号	2	選択		
帽方と付方				

物理・化学学際プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
			以下の科目から20単位選択
基礎化学A	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
化学基礎実験	2	選択	(化学科は履修できない)
物理学概論A	2	選択	(物理学科は履修できない)
物理学概論B	2	選択	(物理学科は履修できない)
物理学基礎実験	2	選択	(物理学科は履修できない)

授業科目	単位数	必修・選択	備考
物理化学 I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅲ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅳ	2	選択	
無機化学 I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学 I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学 I(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学 I(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
分析化学Ⅱ	2	選択	
計算化学	2	選択	
分子分光法	2	選択	
量子化学	2	選択	
反応物理化学	2	選択	
生物物理化学	2	選択	
放射化学	2	選択	
量子力学 I(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学 I(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学Ⅱ(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(1)	i	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
熱力学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(1)	i	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
統計力学(2)	i	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物理数学 I(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物理数学 I(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物性物理学序論(1)	1	選択	(初生すれば中/ログノコこしては成形できない)
物性物理学序論(2)	1	選択	
固体電子論(1)	1	選択	
固体電子論(2)	1	選択	
相転移物理学	2	選択	
凝縮系物理学(1)	1	選択	
凝縮系物理学(2)	1	選択	
乗和示物理子(2) ソフトマター物理	2	選択	
物理実験学(1)	1	選択	
物理実験学(2)	1	選択	
物理美験学(2) 基礎エレクトロニクス(1)			
	1	選択	
基礎エレクトロニクス(2)	1	選択	
物理学基礎研究	2	選択	
計算物理学講義·演習(1)	2	選択	
計算物理学講義・演習(2)	2	選択	

ケミカルバイオロジー学際プログラム

単位数:20

授業科目	単位数	必修・選択	備考
分子生命科学(1)	1	選択	明号 以下の科目から 12 単位以上選択
分子生命科学(2)	1	選択	以下の付日から12年世以上返り
有機化学Ⅲ	2	選択	
生体分子機能・反応学	2	選択	
在機化学Ⅳ 有機化学Ⅳ	2	選択	
生体分子機能・認識学	2	選択	
生物が理化学 生物物理化学	2	選択	
生物物理化学 細胞生化学	2	選択	
	2		
分子細胞情報学	1	選択	
分子構造生物学(1)	_	選択	
分子構造生物学(2)	1	選択	
植物生理工学(1)	1	選択	
植物生理工学(2)	1	選択	(del web)
細胞生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない
代謝生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない
公開臨海実習	2	選択	
動物環境応答学(1)	1	選択	
動物環境応答学(2)	1	選択	
植物機能制御学	2	選択	
遺伝子工学(1)	1	選択	
遺伝子工学(2)	1	選択	
分析化学Ⅱ	2	選択	
計算化学	2	選択	
無機化学Ⅲ	2	選択	
ケミカルバイオロジー特別講義I	2	選択	
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅱ	2	選択	
高分子化学	2	選択	
生物化学特別講義 I	2	選択	
生物化学特別講義Ⅱ	2	選択	
生物化学特別講義Ⅲ	2	選択	
有機化学特別講義 I	2	選択	
有機化学特別講義Ⅱ	2	選択	
有機化学特別講義Ⅲ	2	選択	
有機化学I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない
有機化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない
生物化学 I(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない
生物化学 I(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない
生物化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できな)
基礎生物学 A	2	選択	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	選択	(生物学科は履修できない)
生物学基礎実験	2	選択	(生物学科は履修できない)
生物子巫喉天歌 化学基礎実験	2	選択	(化学科は履修できない)
基礎化学 A	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない
基礎化学B(1)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない

授業科目	単位数	必修・選択	備考
基礎化学B(2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
生物学特別講義I	2	選択	以下の科目から本プログラムと
生物学特別講義Ⅱ	2	選択	して4単位までを含めることが
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	できる
生物学特別講義Ⅳ	2	選択	
生物学特別講義V	2	選択	
生物学特殊講義 I	1	選択	
生物学特殊講義Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義IV	1	選択	
生物学特殊講義V	1	選択	
生物学特殊講義VI	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義IX	1	選択	
生物学特殊講義X	1	選択	
生物学特殊講義 X I	1	選択	
生物学特殊講義XⅡ	1	選択	
生物学特殊講義XⅢ	1	選択	
生物学特殊講義XIV	1	選択	
生物学特殊講義XV	1	選択	
生物学特殊講義XVI	1	選択	
生物学特殊講義 X WI	1	選択	
生物学特殊講義XⅢ	1	選択	
生物学特殊講義XIX	1	選択	
生物学特殊講義XX	1	選択	

生命情報学学際プログラム			単位数:20	
授業科目	単位数	必修・選択	備考	
生命情報学概論(1)	1	必修		
生命情報学概論(2)	1	必修		
計算生物学(1)	1	選択	以下の科目から6単位以上選択	
計算生物学(2)	1	選択		
進化遺伝学	2	選択		
分子遺伝学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない	
バイオインフォマティクス	2	選択	(MATERIAL MATERIAL PROPERTY AND A STATE OF THE ABOVE OF T	
コンピュータシステム序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
生体分子機能・反応学	2	選択		
計算化学 生命情報プログラミング演習	2	選択		
	1	選択	(出版)(20)ユナージョン・1.1 アス間がアント、	
生化学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない	
細胞生物学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない	
発生遺伝学(1)	1	選択		
発生遺伝学(2)	1	選択	(44 9/5/11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
動物生理学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない	
遺伝子工学(1)	1	選択		
遺伝子工学(2)	1	選択		
植物生態学	2	選択		
動物生態学	2	選択		
生物統計学	2	選択	(生物学科は本プログラムとしては履修できない	
分子構造生物学(1)	1	選択		
分子構造生物学(2)	1	選択		
データ構造とアルゴリズム	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
情報解析学	2	選択		
数理基礎論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
確率序論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
グラフ理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
情報理論	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
組み合わせ論	2	選択		
暗号と符号	2	選択		
データベース設計論	2	選択		
マルチメディア	2	選択	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない	
環境情報論	2	選択		
物理化学 I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない	
物理化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない	
分子生命科学(1)	1	選択		
分子生命科学(2)	1	選択		
有機化学 I	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない	
有機化学Ⅱ	2	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない	
有機化学Ⅲ	2	選択		
有機化学Ⅳ	2	選択		
物理化学Ⅲ	2	選択	 (化学科は本プログラムとしては履修できない	
物理化学Ⅳ	2	選択	(In The Later of the Park of t	
高分子化学	2	選択		
実験値解析法	2	選択		
大歌 in 肝 Ⅵ 仏 分析 化学 I (1)	1	選択	 (化学科は本プログラムとしては履修できない	
分析化学 I (2)	1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない	
カがに子 1(2) 数理統計学	2	選択	(11子行は本ノログノムとしては腹形できない	
数理机訂字 数理物理学(1)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できなv	
数理物理学(2)	1	選択	(物理学科は本プログラムとしては履修できない	
微分幾何学 其7株生物学 A	2	選択	(井脇路利は屋跡できょい)	
基礎生物学A	2	選択	(生物学科は履修できない) (生物学科は履修できない)	
tt rit d. III. W. D		選択	」(/TE /9m/学术L/オBは#&できたたい)	
基礎生物学B	2	l		
基礎生物学 B 基礎化学 A 基礎化学 B(1)	2 1	選択	(化学科は本プログラムとしては履修できない (化学科は本プログラムとしては履修できない (化学科は本プログラムとしては履修できない	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
生物学特別講義I	2	選択	以下の科目から本プログラムと
生物学特別講義 Ⅱ	2	選択	して4単位までを含めることが
生物学特別講義Ⅲ	2	選択	できる
生物学特別講義IV	2	選択	
生物学特別講義V	2	選択	
生物学特殊講義 I	1	選択	
生物学特殊講義 Ⅱ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅲ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅳ	1	選択	
生物学特殊講義V	1	選択	
生物学特殊講義VI	1	選択	
生物学特殊講義Ⅶ	1	選択	
生物学特殊講義Ⅷ	1	選択	
生物学特殊講義IX	1	選択	
生物学特殊講義X	1	選択	
生物学特殊講義XI	1	選択	
生物学特殊講義XⅡ	1	選択	
生物学特殊講義XⅢ	1	選択	
生物学特殊講義XIV	1	選択	
生物学特殊講義XV	1	選択	
生物学特殊講義XVI	1	選択	
生物学特殊講義XW	1	選択	
生物学特殊講義XW	1	選択	
生物学特殊講義XIX	1	選択	
生物学特殊講義XX	1	選択	

別表第8 関連科目(第5条関係)

数学科

授業科目	単位数	備考
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
コンピュータシステム序論	2	

物理学科

初理学科		
授業科目	単位数	備考
初等解析学 Ⅰ	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

化学科

16-7-14		
授業科目	単位数	備考
初等解析学I	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学 A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

生物学科

生物学科		
授業科目	単位数	備考
初等解析学 I	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学	2	
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
大気・海洋科学概論	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	

情報科学科		
授業科目	単位数	備考
初等代数学	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	

別表第9 全学共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	C. 640
パーソナル・ブランディング	2	
女性のキャリアと経済	2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習 また サルナム ラング William	2	
国際共生社会論実習 キャリアプラン	2 2	
マッケッシン [CTとコミュニケーションスキル(基礎)	2	
iCTとコミュニケーションスキル(応用)	2	
アントレプレナーへの道(入門編)	1	
アントレプレナーへの道(ビジネスプラン編)	1	
女性のキャリアと法制度	2	(卒業に必要な単位に含めることができない
ダイバーシティ論	2	(卒業に必要な単位に含めることができない
キャリアプランと進路選択 インターンシップ I	2	(卒業に必要な単位に含めることができない (卒業に必要な単位に含めることができない
インターンシップ I インターンシップ II	2	(卒業に必要な単位に含めることができなV
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業に必要な単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティング I	2	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	
クリエイティブ・ライティング Ⅳ	2	
博物館概論	2	
博物館資料論 博物館経営論	2 2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
初等解析学Ⅰ	2	(数学科、情報科学科は履修できない
初等解析学 II(1) 初等解析学 II(2)	1	(数学科、情報科学科は履修できない (数学科、情報科学科は履修できない
初等線形代数学	2	(数学科、情報科学科は履修できない (数学科、情報科学科は履修できない
初等代数学	2	(XX) TIV INTACTI I TITALIZING CON-
物理学概論A	2	(物理学科は履修できない)
物理学概論B	2	(物理学科は履修できない)
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2) 基礎生物学A	1 2	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	(生物学科は履修できない)
大気・海洋科学概論	2	(170) 1110/219 (0 4.)
物理学基礎実験	2	(物理学科は履修できない)
化学基礎実験	2	(化学科は履修できない)
生物学基礎実験	2	(生物学科は履修できない)
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論 生命情報学概論(1)	2	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2)	1	
海外交換留学等認定科目	2~12	
科学英語 I	2	
科学英語Ⅱ	2	
イングリッシュ・キャンプ Acadomia Writing	1 2	
Academic Writing Academic Presentation	2 2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in English I	2	
Summer Program in English II	2	
Summer Program in English III	2	
Summer Program in English IV	2	
Summer Program in English V	2	
Summer Program in English VI 国際交流実習 I	2 2	
国际文流夫百 1 国際交流実習 Ⅱ	2	
国际文机夫目 II Interdisciplinary Lectures in English I	2	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	
Interdisciplinary Lectures in English IV	2	
interdisciplinary Dectures in English it	2	

10番47日	M /L WL	/# +/
授業科目	単位数	備考
Interdisciplinary Lectures in English VI	2	
舞台芸術実践概論I	2	
舞台芸術実践概論Ⅱ	2	
文化芸術制作演習I	2	
文化芸術制作演習 Ⅱ	2	
物理学サプリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
生物学サプリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミR/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミI	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習I	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 Ⅱ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅲ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 IV	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習V	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習VI	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 W	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 ™	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習IX	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習X	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習XI	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X Ⅱ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X Ⅲ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X IV	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X V	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ライフステージと心身の健康	2	

別表第10 教職に関する科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(中等)(1)	1	
教職概論(中等)(2)	1	
教育原論(思想·歷史)(1)	1	
教育原論(思想·歷史)(2)	1	
教育心理	2	
教育原論(社会·制度)(1)	1	
教育原論(社会·制度)(2)	1	
教育方法論	2	
数学科教育法 I	2	
数学科教育法 Ⅱ	2	
数学科教育法Ⅲ	2	
数学科教育法Ⅳ	2	
理科教育法I	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法IV	2	
情報科教育法 I	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法(中等)	2	
教育課程論	2	
特別活動の理論と方法(中等)	2	
生徒指導と進路指導の理論と方法(中等)	2	
学校カウンセリング(中等)	2	
事前・事後指導(中等)	1	
教育実習(中等)	高校は	
	2単位	
	中学校は	
	4単位	
教職実践演習(中等)	2	

別表第11 外国人留学生特別科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習IA	2	
日本語演習 I B	2	
日本語演習 Ⅱ A	2	
日本語演習 II B	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習VA	2	
日本語演習VB	2	
日本事情演習 I A	2	
日本事情演習IB	2	
日本事情演習 II A	2	
日本事情演習 II B	2	
日本事情演習 Ⅲ A	2	
日本事情演習 Ⅲ B	2	
日本事情演習 IV A	2	

授業科目	単位数	備考
日本事情演習Ⅳ B	2	
日本事情演習VA	2	
日本事情演習VB	2	
総合日本語サマープログラム I	2	
総合日本語サマープログラム II	2	

5 お茶の水女子大学生活科学部履修規程

(趣旨)

第1条 国立大学法人お茶の水女子大学生活科学部の教育課程及び履修方法については、国立大学法人お茶の水女子大学学則、国立大学法人お茶の水女子大学複数プログラム選択履修制度実施規則又はこれに基づく別段の定めによるほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目の区分)

- 第2条 授業科目は、コア科目、専門教育科目、学部共通科目、自由科目、全学共通科目、教職共通科目、教職に関する科目及び外国人留学生特別科目 とする。
- 2 コア科目は、文理融合リベラルアーツ、基礎講義、情報、外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語及びアジア諸語)及びスポーツ健康とする。
- 3 専門教育科目は、主プログラム、強化プログラム、副プログラム及び学際プログラム及び専修プログラムを構成する科目とする。
- 4 学部共通科目は、各学科の基礎となる科目又はきわめて関連の深い科目であって必修又は選択として指定する。
- 5 自由科目は、生活科学部の他学科の科目及び他学部の科目とする。
- 6 全学で共通して履修できる科目として、全学共通科目を置く。
- 7 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める教職に関する科目を置く。また、教科に関する科目として教職共通科目を置く。
- 8 外国人留学生に対して、外国人留学生特別科目を置く。
- 9 第1項の規程にかかわらず、特別設置科目を置く。

(他学部の授業科目の履修)

第3条 文教育学部及び理学部の授業科目は、これを履修することができる。

(単位の計算方法)

- 第4条 各授業科目の単位数の計算方法は、1単位が45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
 - 一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 二 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - 三 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、食物栄養学科が開設する専門科目については、45時間の授業をもって1単位とし、教育実習については、別に定める。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文については別に定める。

(卒業要件)

- 第5条 卒業するためには、別表第1に定めるところにより、124単位以上を修得しなければならない。ただし、食物栄養学科については、別表第1-2 に定めるところにより、138単位以上を修得しなければならない。
- 2 人間・環境科学科、人間生活学科及び心理学科において履修すべき授業科目及び単位数は、別表第3から別表第7及び別表第9までに定めるとおりとする。また、食物栄養学科においては、別表第3、別表第8及び別表第9に定めるとおりとする。
- 3 学部共通科目の授業科目及び単位数は、別表第9に定めるとおりとする。
- 4 全学共通科目の授業科目及び単位数は、別表第10に定めるとおりとする。
- 5 外国人留学生特別科目の授業科目及び単位数は、別表第13に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考10とおりとする。
- 6 特別設置科目の授業科目、単位数及び単位の取扱いについては、別表第14に定めるとおりとする。

(教員免許状)

- 第6条 教職共通科目の授業科目及び単位数は、別表第11に定めるとおりとする。
- 2 教職に関する科目の授業科目及び単位数は、別表第12に定めるとおりとする。また、単位の取扱いについては、別表第1備考9のとおりとする。 (**暦修**年続)
- 第7条 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに指定する方法により申請し、担当教員の許可を得なければならない。
- 2 学生が前項により履修申請した授業科目の履修を取消すには、所定の期日までに指定する方法により履修取消し手続きを行い、担当教員の許可を得なければならない。
- 3 学生が授業科目について聴講のみを希望する場合は、担当教員の許可を得なければならない。

(単位の授与)

- 第8条 授業科目を履修した者については、試験(論文、報告等を含む。以下同じ。)により学修の成果を評価して、所定の単位を与える。
- 2 試験は、原則として学年又は学期末に行うこととする。ただし、病気その他正当な理由で試験を受けることができなかった者は、別に定める手続きにより追試験を受けることができる。

(成績の評価)

- 第9条 成績の評価は、原則として試験、平常の成績及び出席状況を総合して決定する。
- 2 成績の評価は、「S」(基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている)、「A」(基本的な目標を十分に達成している)、「B」(基本的な目標を達成している)、「C」(基本的な目標を最低限度達成している)、「D」(基本的な目標を達成していない。再履修が必要である)の 5 種類の評語をもって表し、「S」、「A」、「B」及び「C」を合格とし、「D」を不合格とする。
- 3 前項の成績の評価又は科目の原成績 (素点) に基づき、成績の数値平均 GradePointAverage (以下「GPA」という。) を算出するものとする。 GPA に関し 必要な事項は別に定める。

(成績不振の学生に対する学修指導)

- 第10条 病気その他やむを得ない事情がないにもかかわらず、学修状況が著しく不良の者には、成績不振の学修指導を行うことがある。
- 2 その他学修指導に関しては、別に定める。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項については、生活科学部教授会が定める。

附則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成16年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行し、平成17年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成18年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 W4-Fill
- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行し、改正後の別表第1から別表第4まで及び別表第10の規定は、平成19年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附即

この規程は、平成19年10月24日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行し、平成21年度入学者から適用する。
- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 WHII
- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行し、平成24年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行し、平成25年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
 - この規程は、平成25年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3から第7まで及び第9から第14までの規定は、平成26年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

附則

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。
- 3 前2項の規定にかかわらず、第10条の改正規定は、この改正規程の施行前から引き続き生活科学部に在学する者から適用する。 瞬間
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行し、平成29年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。 附則
- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成30年度入学者から適用する。
- 2 この規程施行前から引き続き在学する者の取扱いについては、別に定めるもののほか、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

~ 1				必修及7	び選択必	修の科目	ヨ・単位					自	由に選打	沢して履	修する 和	計目・東	位		
科目区分			コア科目	1		専門	教育科	目(必修	プログラ	(4	ם	専	学	自	全	教	教	必	
分	文理	基	情	外	ス	主	強	副	学	専		門	部		学	職	職	修以	卒業に必要な履修単位数
	融				ポ	プ	化	プ	際	修	ア			由			に	外の	必要
	合 リ	礎			1	п	プ	п	プ	プ		教	共		共	共	関	選	な層
学	ベラ			国	l "y	グ	П	グ	П	П	科	育	通	科	通	通	す	択プ	修
科	ルア	講			健	5	グ	7	グ	グ		科	科	'''	科	科	3	ログ	位数
別	ĺ,	:Mr	±17	⇒ s :		l (ラ ,	,	ラ ,	ラ ,							科	ラ	*^
	"	義	報	語	康	4	4	Δ	4	4	В	В	В	B	B	B	B	4	
食物栄養学科			30					_		105					3				138
人間・環境科学科			34			60		20						1	.0				124
人間生活学科			34			42		20						2	28				124
心理学科			34			42		20						2	28				124

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語は、12単位を必修とする。
 - 3 スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別途定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、食物栄養学科、人間生活学科及び心理学科は14単位までを、人間環境科学科は10単位までを自由に 選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、18単位までをコア科目として取り扱う。
 - 11 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第9のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。
 - 12 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8単位とする。

別表第2 (第5条関係)

【(生) 二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

	所属学	科の強化フ	プログラムル 「選択プロ	以外に選択で グラム群」	することの	できる	
所属学科	人間・環 境科学 (副)	公共政策論(副)	ジェン ダー論 (副)	生活文化 学(副)	心理学 (副)	消費者学 (学際)	
食物栄養学科							
人間・環境科学科		×	×	×	×	0	
					, ,	\sim	
人 間 生活社会科学	0			0	0	0	
人 間 生活社会科学 生活学科 生活文化学	0	0			O ×	0	

【(生)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	哲学・ 倫理学・ 美術史 (副)	比較 歴史学 (副)	地理 環境学 (副)	日本語・ 日本文学 (副)	中国語圏 言語文化 (副)	英語圏 言語文化 (副)	仏語圏 言語文化 (副)	日本語 教育 (副)	社会学(副)	舞踊教育学(副)	音楽表現 (副)		グローバル 文化学 (学 際)
食物栄養学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間・環境科学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 間 生活社会科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活学科 生活文化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心 理 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【(生)三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学		物理・化 学 (学際)		生命情報 学 (学際)
食物栄養学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人間・環境科学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 間 生活社会科学	0	0	0	0	0	×	×	×	×
生活学科 生 活 文 化 学	0	0	0	0	0	×	×	×	×
心 理 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【(生)三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

1							
所属学科	人間・環 境科学 (副)	公共政策 論(副)	ジェン ダー論 (副)	生活文化 学(副)	心理学 (副)	消費者学 (学際)	
食物 栄養学科	0	0	0	0	0	0	
人間・環境科学科		0	0	0	0	0	
人 間 生活社会科学	0			0	0	0	
生活学科 生活文化学	0	0	0		0	0	
心 理 学 科	0	0	0	0		0	

別表第3 コア科目(第5条関係)

別表第3 コア科目(第5条関係)	
授業科目	単位数 備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
文理融合リベラルアーツ	
リベラルアーツ演習 I	2
リベラルアーツ演習Ⅱ	
系列1 生命と環境	
(講義)	
生命と環境1	
生命と環境2 生命と環境3	
生命と環境4	
生命と環境5	2
生命と環境6	2
生命と環境8	2
生命と環境9 (演習・実習)	
生命と環境21	
生命と環境22	2
生命と環境25	2
生命と環境26	2
系列2 色·音·香 (講義)	
色・音・香1	
色・音・香2	2
色・音・香3	2
色・音・香4	2
色·音·香5 色·音·香6	
色・音・香7	
色·音·香8	2
色・音・香9	2
色・音・香10	2
(演習・実習) 色・音・香22	
系列3 生活世界の安全保障	
(講義)	
生活世界の安全保障1	2
生活世界の安全保障2	2
生活世界の安全保障3	
生活世界の安全保障4 生活世界の安全保障7	
生活世界の安全保障8	
生活世界の安全保障9	2
生活世界の安全保障10	2
(演習・実習) 生活世界の安全保障23	
生活世界の安全保障25	
生活世界の安全保障26	2
系列4 ことばと世界	
(講義)	
ことばと世界1 ことばと世界2	
ことばと世界3	
ことばと世界4	2
ことばと世界5	2
ことばと世界6	
ことばと世界7 ことばと世界8	
ことばと世界10	
ことばと世界11	2
ことばと世界12	2
(演習・実習)	
ことばと世界27 系列5 ジェンダー	
(講義)	
ジェンダー1	
ジェンダー2	2
ジェンダー3	2
ジェンダー4	
ジェンダー5 ジェンダー6	
ジェンダー8	
ジェンダー9	2
基礎講義	
哲学 現代心理学	
法学 I (日本国憲法)	
法学Ⅱ(法学入門)	2
法と文学	2
政治学入門	2
ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門	
基礎微分積分学	
	1 = 1

授業科目	単位数	備考(ローマ数字は、標準履修年次を示す。)
基礎線形代数学	2	
統計学	2	
総合コース	2~4	
お茶の水女子大学論	2	
防災・危機管理	1	
自然災害に対する防災・減災	1	
学修ポートフォリオ入門	1	
自然科学課題研究支援プログラム	1	
情報		
(必修)	_	
情報処理演習(1)	1	
情報処理演習(2)	1	
(選択)	,	
メディアリテラシ(1) メディアリテラシ(2)	1	
メディ / リテラン(2) 情報科学(1)	1	
情報科学(2)	1	
情報処理学(1)	1	
情報処理学(2)	1	
プログラミング演習1	2	
プログラミング演習2	2	
コンピュータ演習 1	2	
コンピュータ演習2	2	
情報学演習 1	2	
情報学演習 2	2	
外国語(必修)		●外国語の必修単位数は12単位。
		英語・ドイツ語・フランス語・中国語の
		うち、一つの言語について8単位修得すること。残りの4単位は、英語・ドイツ
		語・フランス語・中国語、もしくはロシ
		ア語・朝鮮語・スペイン語・イタリア語・ アジア諸語から修得すること。外国語科
		目の修得単位数のうち、必修単位数を超
		える分はコア科目必修単位または「自由
	12	に選択して履修する科目・単位」として 卒業に必要な履修単位数に組み入れられ
		る。
		*および**:コア科目(外国語)の必修単位に充てることができる基本科目。
		***: 第二外国語として8単位未満履修
		する場合のみ必修単位に充てることができ
		る準基本科目。 *、**および***のついていない科目
		の単位は、特別措置等による認定がない限
*	-	り、必修単位に充てることはできない。
英語	,	
* 基礎英語 I (1)	1	(1)
* 基礎英語 I(2)	1	(1)
* 基礎英語Ⅱ(1)	1	(1)
* 基礎英語 II(2) * 中級英語 I(1)	1	(I)
* 中級英語 I(1) * 中級英語 I(2)	1	(II) (II)
* 中級英語 I(1)	1	
* 中級英語 II (2)	1	(II)
* 中級英語 I(2) ** 英語コミュニケーション II(1)	1	(II · IV)
** 英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(III · IV)
** 英語コミュニケーションIV(1)	1	(III · IV)
** 英語コミュニケーションIV(2)	1	(II · N)
** 英語コミュニケーション V(1)	1	(III • IV)
** 英語コミュニケーションV(2)	1	(III • IV)
** 英語コミュニケーションVI(1)	1	(III • IV)
** 英語コミュニケーションVI(2)	1	(III · IV)
** 英語プレゼンテーション I(1)	1	(III • IV)
** 英語プレゼンテーション I(2)	1	(III • IV)
** 英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(III • IV)
** 英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(III • IV)
** グローバル・イングリッシュ I(1)	1	(III • IV)
** グローバル・イングリッシュ I(2)	1	(III • IV)
** グローバル・イングリッシュ II(1)	1	(III • IV)
** グローバル・イングリッシュ II(2)	1	(III • IV)
* * Advanced Communication Training I(1)	1	(I ~ W)
* * Advanced Communication Training I(2)	1	(I ~ IV)
* * Advanced Communication Training II(1)	1	(I ~ IV)
* Advanced Communication Training II(2)	1	(I ~ IV)
* * Advanced Communication Training II(1)	1	(I ~ W)
* Advanced Communication Training II(2)	1	(I ~ W)
* * Advanced Communication Training IV(1)	1	(I ~ W)
* * Advanced Communication Training W(2)	1	(I ~ W)
* * Advanced Communication Training V(1)	1	(I ~ W)
* * Advanced Communication Training V(2)	1	$(I \sim IV)$
* * Advanced Communication Training VI(1)	1	(1 ~ W)
	1	(I ~ IV)
* * Advanced Communication Training VI(2)	1	
** Advanced Communication Training W(2) 英語コミュニケーション I(1)	1	(I · II)
** Advanced Communication Training W(2) 英語コミュニケーション I (1) 英語コミュニケーション I (2)	1	(I · II)
** Advanced Communication Training VI(2) 英語コミュニケーション I (1) 英語コミュニケーション I (2) 英語コミュニケーション II (1)	1 1	$(I \cdot II)$ $(I \cdot II)$
 ** Advanced Communication Training W(2) 英語コミュニケーション I (1) 英語コミュニケーション I (2) 英語コミュニケーション II (1) 英語コミュニケーション II (2) 	1 1 1	$ \begin{array}{c} (\mathbf{I} \cdot \mathbf{\Pi}) \\ (\mathbf{I} \cdot \mathbf{\Pi}) \\ (\mathbf{I} \cdot \mathbf{\Pi}) \end{array} $
** Advanced Communication Training \(\mathbb{N}(2)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(2)\) 上級英語 \(\mathbb{I}(1)\)	1 1 1 1	$ \begin{array}{c} (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \end{array} $
** Advanced Communication Training W(2) 英語 コミュニケーション I (1) 英語 コミュニケーション I (2) 英語 コミュニケーション II (1) 英語 コミュニケーション II (2) 上級英語 I (1) 上級英語 I (2)	1 1 1 1	$ \begin{array}{c} (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \end{array} $
** Advanced Communication Training \(\mathbb{N}(2)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(1)\) 英語コミュニケーション \(\mathbb{I}(2)\) 上級英語 \(\mathbb{I}(1)\)	1 1 1 1	$ \begin{array}{c} (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \\ (\Pi \cdot \Pi) \end{array} $

授業科目	単位数	
上級英語Ⅲ(1)	1	(III · IV)
上級英語Ⅲ(2)	1	(III · IV)
上級英語 IV(1)	1	(III · IV)
上級英語 IV(2)	1	(III · IV)
ビジネス英語 I(1)	1	(II ~ IV)
ビジネス英語 I (2)	1	(II ~ IV)
ビジネス英語 Ⅱ(1)	1	(II ~ IV)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(II ~ IV)
時事英語 I(1)	1	(II ~ IV)
時事英語 I(2)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
時事英語 Ⅱ(1)	1	(II ~ IV)
時事英語 Ⅱ(2)	1	(II ~ IV)
ドイツ語		(11)
*基礎ドイツ語 I	2	(1)
*基礎ドイツ語Ⅱ	2	(1)
*基礎ドイツ語Ⅲ	2	
		(1)
*基礎ドイツ語 IV	2	(1)
*基礎ドイツ語 (応用) I(1)	1	(1)
*基礎ドイツ語(応用) I(2)	1	(1)
*基礎ドイツ語(応用) II(1)	1	(1)
*基礎ドイツ語(応用) Ⅱ(2)	1	(1)
*発展ドイツ語 I(1)	1	(II)
*発展ドイツ語 I(2)	1	(II)
*発展ドイツ語 II(1)	1	(II)
*発展ドイツ語 II(2)	1	(II)
*発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(II)
*発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(II)
*発展ドイツ語IV(1)	1	(II)
*発展ドイツ語IV(1) *発展ドイツ語IV(2)	1	(II) (II)
***基礎ドイツ語会話 I(1)	1	(I ~ W)
***基礎ドイツ語会話 I(2)	1	(I ~ W)
***基礎ドイツ語会話 II(1)	1	(I~W)
***基礎ドイツ語会話 II(2)	1	(I ~ IV)
***ドイツ語初歩 I(1)	1	(I ~ IV)
***ドイツ語初歩 I(2)	1	(I ~ IV)
***ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(I ~ N)
***ドイツ語初歩 Ⅱ(2)	1	(I ~ IV)
フランス語		
*基礎フランス語 I	2	(1)
*基礎フランス語Ⅱ	2	(1)
*基礎フランス語Ⅲ	2	(1)
*基礎フランス語Ⅳ	2	(1)
*基礎フランス語(応用) I(1)	1	(1)
*基礎フランス語 (応用) I(2)	1	(1)
*基礎フランス語 (応用) Ⅱ(1)	1	(1)
*基礎フランス語 (応用) Ⅱ(2)	1	(1)
*発展フランス語 I(1)	1	(II)
*発展フランス語 I(2)	1	(II)
*発展フランス語 II(1)	1	(II)
*発展フランス語 II(2)	1	(II)
*発展フランス語Ⅲ(1)	1	(II)
*発展フランス語Ⅲ(2)	1	(II)
*発展フランス語IV(1)	1	(II)
*発展フランス語Ⅳ(2)	1	(II)
***基礎フランス語会話 I(1)	1	(I ~ IV)
***基礎フランス語会話 I(2)	1	(I ~ W)
***基礎フランス語会話 II(1)	1	$(I \sim IV)$
***基礎フランス語会話 II(2)		(1 ~ W) (1 ~ W)
	1	
***フランス語初歩 I(1)	1	(I ~ IV)
***フランス語初歩 I(2)	1	(I~W)
***フランス語初歩 II(1)	1	(I ~ W)
***フランス語初歩 II(2)	1	(I ~ IV)
中国語		
*基礎中国語 I	2	(1)
*基礎中国語Ⅱ	2	(1)
*基礎中国語Ⅲ	2	(1)
*基礎中国語IV	2	(1)
*基礎中国語(応用) I(1)	1	(1)
*基礎中国語(応用) I(2)	1	(1)
*基礎中国語 (応用) I(1)	1	(1)
*基礎中国語 (応用) II(2)	1	(1)
*発展中国語 I(1)	1	(I) (II)
* 発展中国語 I (2)		
	1	(II)
*発展中国語Ⅱ(1)	1	(II)
*発展中国語 II (2)	1	(II)
*発展中国語Ⅲ(1)	1	(II)
*発展中国語Ⅲ(2)	1	(II)
*発展中国語IV(1)	1	(II)
*発展中国語IV(2)	1	(II)
	1	(II ~ IV)
***基礎中国語会話 I(1)		
***基礎中国語会話 I(1) ***基礎中国語会話 I(2)	1	(II ~ IV)
***基礎中国語会話 I (2)	1	$(\Pi \sim N)$
* * * 基礎中国語会話 I (2) * * * 基礎中国語会話 II (1)	1	(Ⅱ~Ⅳ)
***基礎中国語会話 I (2) ***基礎中国語会話 II (1) ***基礎中国語会話 II (2)	1 1	$ \begin{array}{c} (\mathrm{I\hspace{1em}I} \sim \mathrm{I\hspace{1em}V}) \\ (\mathrm{I\hspace{1em}I} \sim \mathrm{I\hspace{1em}V}) \end{array} $
***基礎中国語会話 I (2) ***基礎中国語会話 II (1)	1	(Ⅱ~Ⅳ)

授業科目	単位数		標準履修年次を示す。)
***中国語初歩Ⅱ(1)	1	(I ~ IV)	
***中国語初歩 II (2)	1	(I ~ IV)	
中国語プレゼンテーションI	2	(I ~ IV)	
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(I ~ IV)	
ロシア語			
*ロシア語初歩 I(1)	1	(I ~ IV)	
*ロシア語初歩 I(2)	1	(I ~ W)	
*ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(I ~ IV)	
*ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	$(I \sim IV)$	
*ロシア語会話 I(1)	1	(I ~ IV)	
*ロシア語会話 I(2)	1	$(I \sim IV)$	
*ロシア語会話 II(1)	1	(I ~ IV)	
*ロシア語会話 Ⅱ(2)	1	(I ~W)	
朝鮮語			
*朝鮮語初歩 I(1)	1	(I ~ IV)	
*朝鮮語初歩 I(2)	1	(I ~ IV)	
*朝鮮語初歩 II(1)	1	(I ~ W)	
*朝鮮語初歩 II(2)	1	(I ~ W)	
*朝鮮語会話 I(1)	1	(I ~ IV)	
*朝鮮語会話 I(2)	1	(I ~ W)	
*朝鮮語会話 II(1)	1	(I ~ IV)	
*朝鮮語会話 II(2)	1	(I ~ IV)	
スペイン語			
*現代スペイン語	4	(I ~ W)	
イタリア語			
*現代イタリア語	4	(I ~ W)	
アジア諸語			
*現代アジア諸語 I	2	(I ~ N)	
*現代アジア諸語Ⅱ	2	(I ~ W)	
*現代アジア諸語Ⅲ	2	(I ~ IV)	
*現代アジア諸語Ⅳ	2	(I ~ N)	
スポーツ健康(必修)			
スポーツ健康実習	2	(I)	
スポーツ健康(選択)			
スポーツ科学概論	2	(I ~ Ⅳ)	
健康科学概論	2	(I ~ Ⅳ)	
生涯スポーツ	$0.5 \sim 3$	(I ~ Ⅳ)	

別表第4 専門教育科目(第5条関係)

主プログラム

授業科目	単位数	必修・選択	備考
統計学	2	必修・選択	VH プ
基礎有機化学	2	必修	
数学物理学演習 I(1)	1	必修	
数学物理学演習 I(2)	1 1	必修	
物理化学(1)	1	必修	
物理化学(2)	1	必修	
景境科学(1)	1 1	必修	
景境科学(2)	1	必修	
青報工学演習(1)	1	必修	
青報工学演習(2)	i	必修	
人間環境科学演習(1)	1	必修	
人間環境科学演習(2)	1	必修	
人間環境科学実験実習 I	2	必修	
人間環境科学実験実習 II	2	必修	
人間環境科学実験実習Ⅲ	2	必修	
人間環境科学輪講Ⅰ	2	必修	
八回垛境科子辅語 I 人間環境科学輪講 II	2	必修	
へ同衆現行于輔語 II 卒業論文	10	必修	
+ 未晒ス 数学物理学演習 Ⅱ(1)	10	選択	以下の科目から
数子物理子演習Ⅱ(2)	1	選択	26 単位以上選
デザイン工学演習(1)	1	選択	20 平区从工及1
デザイン工学演習(2)	1	選択	
ション ユチ (明白(2) 設計製造演習(1)	1	選択	
設計製造演習(2)	1	選択	
汉町衆垣供白(2) デザインとテクノロジ(1)	1	選択	
デザインとテクノロジ(2)	1	選択	
グリインとアックロン(2) 機械と運動(1)	1	選択	
機械と運動(2)	1	選択	
生物化学(1)	1	選択	
生物化学(2)	1	選択	
反応工学論(1)	_	選択	
反応工学論(2)	1	選択	
計測工学(1)	1	選択	
計測工学(2)	1	選択	
ヒトと文化(1)	1	選択	
ヒトと文化(2)	1	選択	
人体計測学演習(1)	2	選択	
人体計測学演習(2)	2	選択	
機器分析演習(1)	1	選択	
機器分析演習(2)	1	選択	
応用統計学	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
資源循環工学	2	選択	
建築一般構造	2	選択	
基礎構造力学	2	選択	
住居学概論	2	選択	
建築環境計画論	2	選択	
西洋建築史	2	選択	
設計製図基礎	2	選択	
生活科学概論	2	選択	
人間・環境科学選択基礎	2	選択	

生活社会科学主プログラム			単位数:42
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間生活論(1)	1	必修	
人間生活論(2)	1	必修	
生活社会科学概論(1)	1	必修	
生活社会科学概論(2)	1	必修	
生活文化学概論	2	選択	以下の科目から
生活科学概論	2	選択	2単位以上を選択
生活社会科学演習(1)	1	必修	
生活社会科学演習(2)	1	必修	
家族社会学(1)	1	必修	
家族社会学(2)	1	必修	
応用生活統計学(1)	1	必修	
応用生活統計学(2)	1	必修	
社会統計学 I	2	必修	
ジェンダー論	2	必修	
生活関連法	2	必修	
家族法	2	必修	
生活政治学(1)	1	必修	
生活政治学(2)	1	必修	
家政経済学概論	2	必修	
消費者経済学	2	必修	
家族関係論	2	必修	
社会保障論	2	必修	
卒業論文	8	必修	
生活社会科学選択基礎	2	選択	
家族法演習 I	2	選択	以下の科目から
家族法演習 Ⅱ	2	選択	4 単位選択
生活法学演習 I	2	選択	
生活法学演習Ⅱ	2	選択	
生活政治学演習 I	2	選択	
生活政治学演習 Ⅱ	2	選択	
家族社会学演習 I	2	選択	
家族社会学演習Ⅱ	2	選択	
生活福祉学演習 I	2	選択	
生活福祉学演習 Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習 I	2	選択	
消費者経済学演習 Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習 I	2	選択	
生活経済学演習Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習 I	2	選択	
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間生活論(1)	1	必修	
人間生活論(2)	1	必修	
生活文化学概論	2	必修	
生活社会科学概論(1)	1	選択	以下の科目から
生活社会科学概論(2)	1	選択	2 単位以上を選択
生活科学概論	2	選択	
生活造形論	2	必修	
民俗学	2	必修	
服飾文化概論	2	必修	
比較生活文化論	2	必修	
児童学概論	2	必修	
服飾史論(1)	1	選択	以下の科目から
服飾史論(2)	1	選択	10単位以上を追
服飾史資料論(1)	1	選択	択
服飾史資料論(2)	1	選択	
比較生活文化史 I(1)	1	選択	
比較生活文化史 I (2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
民俗文化史論(1)	1	選択	
民俗文化史論(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
保育デザイン論(1)	1	選択	
保育デザイン論(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
服飾史 I (1)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
服飾史 I (2)	1	選択	
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	
生活文化学論文演習 I	2	必修	
生活文化学論文演習 Ⅱ	2	必修	
卒業論文	8	必修	
比較文化論基礎演習	2	選択	以下の科目から
民俗文化史基礎演習	2	選択	4 単位以上を選択
日本服飾史基礎演習	2	選択	
服飾文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
家庭看護学	1	選択	
保育実践論	2	選択	
被服学概論	2	選択	
家族関係論	2	選択	
家政経済学概論	2	選択	
被服製作実習	1	選択	
生活文化学選択基礎	2	選択	

心理学主プログラム			単位数:4
授業科目	単位数	必修・選択	備考
こころの科学(心理学概論)	2	必修	
こころの科学:研究と実践(心理学研究法)	2	必修	
認知心理学概論(知覚・認知心理学)	2	必修	
発達心理学概論(発達心理学)	2	必修	
教育心理学概論	2	必修	
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	2	必修	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	必修	
心理学基礎演習	2	必修	
心理統計法(心理学統計法)	2	必修	
心理学基礎実験演習(心理学実験)	2	必修	
心理学基礎実践演習(心理演習)	2	必修	
心理学専門英語	2	必修	
卒業論文	8	必修	
心理学選択基礎	2	選択	
心理職の職業倫理(公認心理師の職責)	2	選択	
心理学実践演習:質問紙法	2	選択	
心理学実践演習:質的研究法	2	選択	
生活科学概論	2	選択	
心理臨床実習 I (心理実習 I)	2	選択	
心理臨床実習Ⅱ(心理実習Ⅱ)	2	選択	
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択	以下の科目から
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択	8単位以上を選
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択	
応用社会心理学	2	選択	
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択	
コミュニティ心理学	2	選択	
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択	
産業心理学(産業・組織・心理学)	2	選択	
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択	
心理療法学(心理学的支援法)	2	選択	
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択	
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択	
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択	
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択	
心理臨床学	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
家族心理学	2	選択	
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択	
認知心理学演習	2	選択	以下の科目から
認知発達心理学演習	2	選択	2単位以上を選打
社会心理学演習	2	選択	272222
ジェンダー心理学演習	2	選択	
健康心理学演習	2	選択	
障害臨床心理学演習	2	選択	
心理療法学演習	2	選択	
人格発達心理学演習	2	選択	
心理臨床学演習	2	選択	
心垤嚙水子供自 学校臨床心理学演習	2	選択	
子牧踊外心垤子俱自 心理臨床に関する法と制度(関係行政論)	2	選択	

別表第5 専門教育科目(第5条関係)

強化プログラム

人間・環境科学強化プログラム			単位数: 20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
人間工学(1)	1	選択	以下の科目から
人間工学(2)	1	選択	20単位以上を選
電子工学	2	選択	択
システム工学	2	選択	
水環境工学	2	選択	
環境評価学	2	選択	
環境材料物性(1)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
環境材料物性(2)	1	選択	
都市エネルギー工学	2	選択	
医用工学	2	選択	
人間環境科学特別実習 I	2	選択	
人間環境科学特別実習 Ⅱ	2	選択	
環境衛生学(1)	1	選択	
環境衛生学(2)	1	選択	
LIDEE演習	2	選択	
生活工学特別講義	2	選択	
建築環境工学	2	選択	
環境心理学	2	選択	
建築材料学 I	2	選択	
建築施設計画	2	選択	
都市計画論	2	選択	
建築構造力学	2	選択	
日本建築史	2	選択	
建築設計製図演習 I	2	選択	
建築設計製図演習Ⅱ	2	選択	以下の科目は強化
建築設計製図演習Ⅲ	2	選択	プログラムに必要
建築法規	1	選択	な20単位には含
建築生産	2	選択	まれない。
建築構法計画	1	選択	
建築材料学Ⅱ	2	選択	
建築設備学	2	選択	
建築意匠論	2	選択	
測量学	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
社会福祉学	2	必修・選択	川 州 万
労働経済学総論	2	必修	
カ助柱の子派論 社会統計学Ⅱ(1)	1	必修	
u云桃町子Ⅱ(1) 社会統計学Ⅱ(2)	1	必修	
生活社会科学論文演習 I	2	必修	
生活社会科学論文演習 Ⅱ	2	必修	
±10世云智子論又供自Ⅱ 家族法演習Ⅰ	2	選択	以下の科目から
家族法演習Ⅱ	2	選択	4単位までを含
生活法学演習 I	2	選択	ることができる
生活法学演習Ⅱ	2	選択	
生活政治学演習 I	2	選択	
生活政治学演習Ⅱ	2	選択	
ェロ政ロ子供自Ⅱ 家族社会学演習 I	2	選択	
家族社会学演習 Ⅱ	2	選択	
	2		
生活福祉学演習 I		選択	
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習 I	2	選択	
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習 I	2	選択	
生活経済学演習 Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習 I	2	選択	
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	
生活社会科学専門英語	2	選択	
女性政策論	2	選択	
法女性学	2	選択	
労働法	2	選択	
比較家族思想史	2	選択	
比較ジェンダー論	2	選択	
政治とジェンダー	2	選択	
消費者教育論	2	選択	
企業経営論	2	選択	
老年学	2	選択	
老人福祉論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
人口学	2	選択	
地域社会論	2	選択	
生活調査法	2	選択	
生活社会調査実習	2	選択	
生活経営学	2	選択	
財産と法	2	選択	
刑事法	2	選択	
生活法学	2	選択	
生活と行政	2	選択	
生活経済学	2	選択	
生活と金融	2	選択	
生活と財政	2	選択	
国際経済と生活	2	選択	
国民経済と生活	2	選択	
国民程存と生命 児童学概論	2	選択	
光里子帆端 生活社会科学実習	2	選択	
社会問題論(1)	1	選択	以下の科目から
社会問題論(2)	1	選択	以下の科目から 4単位までを含
社会问趣論(2) 現代社会論	2	選択	4年位までを含
現代生活論	2 2	選択	1.3000

授業科目	単位数	必修・選択	備考
社会意識論	2	選択	
比較社会論	2	選択	
社会政策論 I	2	選択	
社会政策論Ⅱ	2	選択	
都市地理学	2	選択	
経済地理学	2	選択	
社会地理学	2	選択	

生活文化学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
比較文化論演習	2	選択	以下の科目から
民俗文化史演習	2	選択	2単位以上選択
服飾文化論演習	2	選択	
日本服飾史演習	2	選択	
保育デザイン論演習	2	選択	
服飾史資料論(1)	1	選択	
服飾史資料論(2)	1	選択	
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
日本服飾史基礎演習	2	選択	
服飾文化論基礎演習	2	選択	
民俗文化史基礎演習	2	選択	
比較文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
民俗文化史各論	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	
生活文化論	2	選択	
生活造形史	2	選択	
工芸史	2	選択	
地域文化論	2	選択	
現代文化論	2	選択	
文化情報論	2	選択	
美学・芸術学	2	選択	
児童文化論	2	選択	
西洋服飾論	2	選択	
日本服飾論	2	選択	
服飾文化各論	2	選択	
服飾制作実習	1	選択	
服飾文化実習	1	選択	
生活文化実習	1	選択	
生活文化学専門英語	2	選択	
LIDEE演習	2	選択	
生活芸術論	2	選択	

心理学強化プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
心理臨床実習 I (心理実習 I)	2	選択	以下の科目から
心理臨床実習Ⅱ(心理実習Ⅱ)	2	選択	20単位以上選択
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択	
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択	
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択	
認知心理学演習	2	選択	İ
認知発達心理学演習	2	選択	
応用社会心理学	2	選択	İ
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択	İ
コミュニティ心理学	2	選択	
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択	İ
産業心理学(産業・組織心理学)	2	選択	İ
社会心理学演習	2	選択	İ
ジェンダー心理学演習	2	選択	
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択	
心理療法学(心理的支援法)	2	選択	
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択	
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択	İ
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択	
健康心理学演習	2	選択	
障害臨床心理学演習	2	選択	
心理療法学演習	2	選択	İ
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択	
心理臨床学	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	İ
家族心理学	2	選択	İ
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択	
人格発達心理学演習	2	選択	
心理臨床学演習	2	選択	İ
学校臨床心理学演習	2	選択	İ
心理臨床に関する法と制度(関係行政論)	2	選択	İ

別表第6 専門教育科目(第5条関係)

副プログラム

人間・環境科学副プログラム 			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
統計学	2	選択	以下の科目から
環境科学(1)	1	選択	20単位以上選択
環境科学(2)	1	選択	
反応工学論(1)	1	選択	
反応工学論(2)	1	選択	
ヒトと文化(1)	1	選択	
ヒトと文化(2)	1	選択	
資源循環工学	2	選択	
建築一般構造	2	選択	
基礎構造力学	2	選択	
住居学概論	2	選択	
建築環境計画論	2	選択	
都市エネルギー工学	2	選択	
人間工学(1)	1	選択	
人間工学(2)	1	選択	
システム工学	2	選択	
環境材料物性(1)	1	選択	
環境材料物性(2)	1	選択	
水環境工学	2	選択	
医用工学	2	選択	
人間環境科学特別実習 Ⅱ	2	選択	
情報工学演習(1)	1	選択	
情報工学演習(2)	1	選択	
建築環境工学	2	選択	
環境心理学	2	選択	
建築材料学 I	2	選択	
建築材料学Ⅱ	2	選択	
設計製図基礎	2	選択	
建築設計製図演習 I	2	選択	
建築設計製図演習 Ⅱ	2	選択	
建築設計製図演習 Ⅲ	2	選択	
西洋建築史	2	選択	
日本建築史	2	選択	
建築法規	1	選択	
建築生産	2	選択	
建築構法計画	1	選択	
建築設備学	2	選択	
建築意匠論	2	選択	
建築施設計画	2	選択	
都市計画論	2	選択	
建築構造力学	2	選択	
測量学	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	

公共政策論副プログラム	,		単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
生活社会科学概論(1)	1	必修	ただし、他のプロ グラムで必修科目
生活社会科学概論(2)	1	必修	として履修してい る場合には、本プ
生活社会科学演習(1)	1	必修	ログラムの他の科目で単位を満たす
生活社会科学演習(2)	1	必修	必要がある。
家族法演習 I	2	選択	以下の科目から4
家族法演習 Ⅱ	2	選択	単位までを含める
生活法学演習 I	2	選択	ことができる。
生活法学演習 Ⅱ	2	選択	
生活政治学演習 I	2	選択	
生活政治学演習 Ⅱ	2	選択	
家族社会学演習 I	2	選択	
家族社会学演習 Ⅱ	2	選択	
生活福祉学演習 I	2	選択	
生活福祉学演習 Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習 I	2	選択	
消費者経済学演習 Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習 I	2	選択	
生活経済学演習 Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習 I	2	選択	
労働経済学演習 Ⅱ	2	選択	
ジェンダー論	2	選択	
生活関連法	2	選択	
家族法	2	選択	
生活政治学(1)	1	選択	
生活政治学(2)	1	選択	
家政経済学概論	2	選択	
消費者経済学	2	選択	
女性政策論	2	選択	
労働法	2	選択	
政治とジェンダー	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
社会福祉学	2	選択	
消費者教育論	2	選択	
労働経済学総論	2	選択	
社会保障論	2	選択	
老人福祉論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
地域社会論	2	選択	
生活経営学	2	選択	
財産と法	2	選択	
刑事法	2	選択	
生活法学	2	選択	
生活と行政	2	選択	
生活経済学	2	選択	
生活と金融	2	選択	
生活と財政	2	選択	
国際経済と生活	2	選択	
国民経済と生活	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
	,		2.50
生活社会科学概論(1)	1	必修	ただし、他のプロ
生活社会科学概論(2)	1	必修	ラムで必修科目と て履修している場
生活社会科学演習(1)	1	必修	には、本プログラ
生活社会科学演習(2)	1	必修	の他の科目で単位
ジェンダー論	2	必修	満たす必要がある。
家族法演習 I	2	選択	以下の科目から
家族法演習Ⅱ	2	選択	単位までを含め
生活法学演習 I	2	選択	ことができる。
生活法学演習 Ⅱ	2	選択	
生活政治学演習 I	2	選択	
生活政治学演習 Ⅱ	2	選択	
家族社会学演習 I	2	選択	
家族社会学演習 Ⅱ	2	選択	
生活福祉学演習 I	2	選択	
生活福祉学演習 Ⅱ	2	選択	
消費者経済学演習 I	2	選択	
消費者経済学演習 Ⅱ	2	選択	
生活経済学演習 I	2	選択	
生活経済学演習 Ⅱ	2	選択	
労働経済学演習 I	2	選択	
労働経済学演習 Ⅱ	2	選択	
家族法	2	選択	
家族関係論	2	選択	
女性政策論	2	選択	
法女性学	2	選択	
労働法	2	選択	
比較家族思想史	2	選択	
比較ジェンダー論	2	選択	
政治とジェンダー	2	選択	
社会福祉学	2	選択	
労働経済学総論	2	選択	
社会保障論	2	選択	
家族社会学(1)	1	選択	
家族社会学(2)	1	選択	
老年学	2	選択	
老人福祉論	2	選択	
児童福祉論	2	選択	
生活関連法	2	選択	
生活法学	2	選択	
生活と行政	2	選択	
国際経済と生活	2	選択	
国民経済と生活	2	選択	

生活文化学副プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
生活造形論	2	選択	以下の科目から
民俗学	2	選択	4 単位以上必修
服飾文化概論	2	選択	
比較生活文化論	2	選択	
児童学概論	2	選択	
日本服飾史基礎演習	2	選択	以下の科目から
民俗文化史基礎演習	2	選択	2 単位以上必修
服飾文化論基礎演習	2	選択	
比較文化論基礎演習	2	選択	
保育デザイン論基礎演習	2	選択	
服飾史論(1)	1	選択	以下の科目から
服飾史論(2)	1	選択	14単位以上選択
服飾史資料論(1)	1	選択	
服飾史資料論(2)	1	選択	
服飾史 I(1)	1	選択	
服飾史 I(2)	1	選択	
服飾史Ⅱ(1)	1	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
服飾史Ⅱ(2)	1	選択	IND 3
比較生活文化史 I(1)	1	選択	
比較生活文化史 I(2)	1	選択	
比較生活文化史 Ⅱ(1)	1	選択	
比較生活文化史Ⅱ(2)	1	選択	
民俗文化史論(1)	1	選択	
民俗文化史論(2)	1	選択	
歴史民俗文化論(1)	1	選択	
歴史民俗文化論(2)	1	選択	
保育デザイン論(1)	1	選択	
保育デザイン論(2)	1	選択	
発達と文化(1)	1	選択	
発達と文化(2)	1	選択	
民俗文化史各論	2	選択	
環境デザイン論	2	選択	
生活文化論	2	選択	
生活造形史	2	選択	
工芸史	2	選択	
地域文化論	2	選択	
現代文化論	2	選択	
文化情報論	2	選択	
美学・芸術学	2	選択	
西洋服飾論	2	選択	
日本服飾論	2	選択	
服飾文化各論	2	選択	
生活芸術論	2	選択	
児童文化論	2	選択	

心理学副プログラム 単位数:20			
授業科目	単位数	必修・選択	備考
こころの科学(心理学概論)	2	選択	以下の科目から
こころの科学:研究と実践(心理学研究法)	2	選択	20単位以上選択
認知心理学概論(知覚・認知心理学)	2	選択	
発達心理学概論(発達心理学)	2	選択	
教育心理学概論	2	選択	
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	2	選択	
臨床心理学概論(臨床心理学概論)	2	選択	
認知神経科学(神経・生理心理学)	2	選択	
学習と言語の心理学(学習・言語心理学)	2	選択	
臨床医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2	選択	
応用社会心理学	2	選択	
福祉心理学(福祉心理学)	2	選択	
コミュニティ心理学	2	選択	
司法心理学(司法・犯罪心理学)	2	選択	
産業心理学(産業・組織心理学)	2	選択	
健康心理学(健康・医療心理学)	2	選択	
心理療法学(心理学的支援法)	2	選択	
障害臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	選択	
心理臨床アセスメント(心理的アセスメント)	2	選択	
医療心理学(精神疾患とその治療)	2	選択	
感情・人格心理学(感情・人格心理学)	2	選択	
心理臨床学	2	選択	
発達臨床心理学	2	選択	
家族心理学	2	選択	
学校臨床心理学(教育・学校心理学)	2	選択	

別表第7 専門教育科目(第5条関係)

学際プログラム

消費者学学際プログラム			単位数:20
授業科目	単位数	必修・選択	備考
消費者科学入門	2	必修	
国民経済と生活	2	必修	
消費者法	2	必修	
消費者教育論	2	選択	以下の科目から
企業経営論	2	選択	14単位以上選択
家政経済学概論	2	選択	
環境衛生学(1)	1	選択	
環境衛生学(2)	1	選択	
建築環境計画論	2	選択	
医療と健康	2	選択	
社会保障論	2	選択	
被服学概論	2	選択	
食物学概論	2	選択	
住居学概論	2	選択	
生活と財政	2	選択	
生活と金融	2	選択	
社会統計学 I	2	選択	
社会統計学Ⅱ(1)	1	選択	
社会統計学Ⅱ(2)	1	選択	
生活調査法	2	選択	
消費者経済学	2	選択	
生活造形論	2	選択	
現代文化論	2	選択	

授業科目	単位数	必修・選択	備考
児童学概論	2	選択	
応用統計学	2	選択	
建築一般構造	2	選択	
国際栄養学	2	選択	

別表第8 専修プログラム(第5条関係)

食物栄養学科

●必修 解剖生理学 I	97	
X割牛理学 I		
	2	(I)
生化学	2	(I)
解剖生理学Ⅱ	2	(I)
	2	(I)
基礎調理学実習	1	(I)
基礎有機化学	2	(I)(学部共通科目)
田胞生化学	2	(II)
富床医学総論	2	(II)
七謝栄養学	2	(II)
社会福祉学	2	(II)
食品化学	2	(II)
₹養教育論 I	2	(II)
非活環境学	2	(II)
文· 10 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	2	(II)
公用調理学実習 公用調理学実習	1	(II)
	2	
a床医学各論 I	1	(II)
a床医学各論 Ⅱ	2 2	(II)
応用栄養学 へのタッグが7世9へ		(II)
合食経営管理論	2	(II)
食品製造・保存学	2	(II)
全品微生物学	2	(II)
富床栄養アセスメント学	2	(II)
栄養カウンセリング論 ことの ※ カマン	2	(II)
· 析化学実験	2	(II)
解剖生理学実験	1	(II)
食品微生物学実験	1	(II)
分析化学	2	(Ⅱ)学部共通科目
病態栄養学	2	(Ⅲ)
食品衛生学	2	(Ⅲ)
a床栄養療法学	2	(Ⅲ)
公衆栄養学	2	(Ⅲ)
於養教育論 Ⅱ	2	(Ⅲ)
ライフステージ栄養学	2	(Ⅲ)
公衆衛生学	2	(Ⅲ)
合食マネジメント論	2	(Ⅲ)
栄養疫学・統計	2	(Ⅲ)
ライフスタイル栄養学	2	(Ⅲ)
2品機能論	2	(Ⅲ)
食事療法学	2	(Ⅲ)
栄養学実験	2	(Ⅲ)
芯用栄養学実習	1	(Ⅲ)
食品製造・保存学実験	2	(Ⅲ)
栄養カウンセリング論実習	1	(Ⅲ)
公衆栄養学実習	1	(Ⅲ)
富床栄養アセスメント学実習	2	(Ⅲ)
食品化学実験	2	(Ⅲ)
周 理科学実験	2	(Ⅲ)
合食経営管理実習	2	(Ⅲ)
ま物栄養管理論総合演習 I	1	(Ⅲ)
食物栄養管理論総合演習Ⅱ	1	(IV)
於養臨地実習 I	1	(Ⅲ)
· 養臨地実習 Ⅱ	1 1	
株養陽地美賀 Ⅱ 卒業論文	3 6	(IV) (IV)
	4	(IV)
●選択 ※糖必差※1目		(7)
食物栄養学入門	1	(I)
定品評価論	2	(I ~ IV)
学校栄養教育論 I	2	(Ⅱ ~ Ⅲ)
学校栄養教育論Ⅱ	2	(Ⅱ ~ Ⅲ)
食物栄養学輪講 ●高大連携科目(選択)	4	(IV)

高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1(第5条関係)「自由に選択して履修する科目・単位」として認定することができる。

別表第9 学部共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
生活科学概論	2	
基礎有機化学	2	(食物栄養学科は必修)
分析化学	2	(食物栄養学科は必修)
ジェンダー論	2	
比較ジェンダー論	2	
人口学	2	
社会保障論	2	

授業科目	単位数	備考
企業経営論	2	
消費者科学入門	2	
生活造形論	2	
民俗学	2	
国際栄養学	2	
食物学概論	2	
医療と健康	2	

別表第10 全学共通科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
NPO入門	2	
パーソナル・ブランディング 女性のキャリアと経済	2 2	
ファシリテーション	2	
平和と共生演習	2	
国際共生社会論実習	2	
キャリアプラン	2	
ICT とコミュニケーションスキル(/	
ICT とコミュニケーションスキル(ル		
女性のキャリアと法制度	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ダイバーシティ論 キャリアプランと進路選択	2 2	(卒業に必要な単位に含めることができない) (卒業に必要な単位に含めることができない)
インターンシップ [1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
インターンシップⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
Ocha-Solution Program(基礎)	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
クリエイティブ・ライティング I	2	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	
クリエイティブ・ライティングⅣ はいい	2	
博物館概論 博物館資料論	2 2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館教育論	2	
博物館実習	3	
博物館情報・メディア論	2	
初等解析学 I	2	
初等解析学Ⅱ(1)	1	
初等解析学Ⅱ(2)	1	
初等線形代数学 初等代数学	2 2	
物理学概論A	2	
物理学概論B	2	
基礎化学A	2	
基礎化学B(1)	1	
基礎化学B(2)	1	
基礎生物学A	2	
基礎生物学B	2	
大気・海洋科学概論	2	
物理学基礎実験 化学基礎実験	2 2	
生物学基礎実験	2	
数理基礎論	2	
確率序論	2	
コンピュータシステム序論	2	
生命情報学概論(1)	1	
生命情報学概論(2)	1	
計算生物学(1)	1	
計算生物学(2) 海外交換留学等認定科目	$\begin{vmatrix} 1 \\ 2 \sim 12 \end{vmatrix}$	
科学英語Ⅰ	2	
科学英語Ⅱ	2	
イングリッシュ・キャンプ	1	
Academic Writing	2	
Academic Presentation	2	
Pre Summer Program in English	2	
Summer Program in English I	2	
Summer Program in English II	2	
Summer Program in English III Summer Program in English IV	2 2	
Summer Program in English V	2	
Summer Program in English VI	2	
国際交流実習 I	2	
国際交流実習Ⅱ	2	
Interdisciplinary Lectures in English		
interdisciplinary Lectures in Englis	1 77	l .
Interdisciplinary Lectures in English		
Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis	sh III 2	
Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis	sh III 2 sh IV 2	
Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis	sh III 2 sh IV 2 sh V 2	
Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis	sh III 2 sh IV 2 sh V 2 sh VI 2	
Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis Interdisciplinary Lectures in Englis	sh III 2 sh IV 2 sh V 2	

授業科目	単位数	備者
文化芸術制作演習Ⅱ	2	Ст. ин и
物理学サプリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
生物学サプリメント	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
英語基礎強化ゼミ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミ R/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
TOEFL対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミ R/L	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
IELTS対策ゼミS/W	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
企画・運営力養成講座	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミI	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
中国語力強化ゼミⅡ	2	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 I	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅱ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習Ⅲ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習IV	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習V	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習VI	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 WI	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習™	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習IX	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習X	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習XI	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習 X II	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習XⅢ	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習XIV	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
理数特別講義演習XV	1	(卒業に必要な単位に含めることができない)
ライフステージと心身の健康	2	

別表第11 教職共通科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
家庭機械及び家庭電気	2	
調理実習	1	

別表第12 教職に関する科目(第6条関係)

授業科目	単位数	備考
教職概論(中等)(1)	1	בי מוע
教職概論(中等)(2)	l i	
教育原論(思想・歴史)(1)	l i	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	
教育心理	2	
教育原論(社会・制度)(1)	1	
教育原論(社会・制度)(2)	1	
教育課程論	2	
家庭科教育法 [2	
家庭科教育法Ⅱ	2	
家庭科教育法Ⅲ	2	
家庭科教育法Ⅳ	2	
道徳教育の理論と方法(中等)	2	
特別活動の理論と方法(中等)	2	
教育方法論	2	
生徒指導と進路指導の理論と方法(中等)	2	
学校カウンセリング(中等)	2	
事前・事後指導(中等)	1	
】 教育実習(中等)	高校は	
秋月天日(千寸)	2単位	
	中学校は	
	4 単位	
栄養教育実習	2	
教職実践演習(中等)	2	
教職実践演習(栄養教諭)	2	

別表第13 外国人留学生特別科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
日本語演習 I A	2	が出っつ
日本語演習IB	2	
日本語演習 II A	2	
日本語演習ⅡB	2	
日本語演習ⅢA	2	
日本語演習ⅢB	2	
日本語演習ⅣA	2	
日本語演習ⅣB	2	
日本語演習VA	2	
日本語演習VB	2	
日本事情演習 I A	2	
日本事情演習 I B	2	
日本事情演習 Ⅱ A	2	
日本事情演習 II B	2	
日本事情演習Ⅲ A	2	
日本事情演習ⅢB	2	
日本事情演習IV A	2	
日本事情演習Ⅳ B	2	
日本事情演習 V A	2	

授業科目	単位数	備考
日本事情演習 V B	2	
総合日本語サマープログラム I	2	
総合日本語サマープログラム II	2	

別表第14 特別設置科目(第5条関係)

授業科目	単位数	備考
ECCELL子ども学ゼミ I	1	
ECCELL子ども学ゼミ II	1	
ECCELL子ども学ゼミⅢ	1	
ECCELL子ども学ゼミW	1	
ECCELL乳幼児教育論 I	1	
ECCELL乳幼児教育論 Ⅱ	1	
ECCELL乳幼児教育論Ⅲ	1	
ECCELL 乳幼児教育論 IV	1	
ECCELL子ども学研究法 I	1	
乳幼児教育論V	1	
子ども学ゼミV	1	
子ども学研究法Ⅱ	1	
子ども学研究法Ⅲ	1	
乳幼児の世界 I	1	
乳幼児の世界Ⅱ	1	

6

お茶の水女子大学学位規則

(趣旨)

第1条 この規則は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第13条第1項の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学(以下「本学」という。)において 授与する学位に関し必要な事項を定める。

(学位の名称)

- 第2条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。
- 2 学位に付記すべき専攻分野の名称については、次の表のとおりとする。

学部又は研究科			学位	専攻分野の名称			
文教育学部				人文科学			
	理 学 部			理学			
		食物栄養学科	学士	生活科学			
Ι.	4. 15. 20 20. 20	人間・環境科学科		生活科学			
	生活科学部	人間生活学科		生活科学			
		心理学科		心理学			
		比較社会文化学専攻		人文科学、社会科学、生活科学、学術			
		人間発達科学専攻		人文科学、社会科学、生活科学、学術			
	株1.公田無中	ジェンダー社会科学専攻	修士:	人文科学、社会科学、生活科学、学術			
	博士前期課程	ライフサイエンス専攻	11多工	生活科学、理学、学術			
 		理学専攻		理学、学術			
学		生活工学共同専攻	7	生活工学、工学、学術			
人		比較社会文化学専攻		人文科学、社会科学、生活科学、学術			
間		人間発達科学専攻		人文科学、社会科学、生活科学、学術			
化創	大学院人間文化創成科学研究科 博士後 期課課程	ジェンダー学際研究専攻		人文科学、社会科学、生活科学、学術			
成科		ライフサイエンス専攻		生活科学、理学、学術			
学				理学グローバルリーダー			
併 究	博士後期課程		博士	工学グローバルリーダー			
科		理学する		学術グローバルリーダー			
		理学専攻		理学、学術、 理学グローバルリーダー			
				正学グローバルリーダー			
				学術グローバルリーダー			
		生活工学共同専攻		生活工学、工学、学術			

第3条 学位を授与された者は、その学位の名称を用いるときは、本学(この条において「お茶の水女子大学」とする。)の名称を付記するものとする。 (学位授与の要件)

- 第4条 学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。
- 第5条 修士の学位は、本学大学院の博士前期課程を修了した者に授与する。
- 第6条 博士の学位は、本学大学院の博士後期課程を修了した者に授与する。
- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学大学院の博士後期課程を経ない者が学位論文を提出して、その審査及び試験に合格し、かつ、専攻学 術に関し本学大学院の博士後期課程を終えて学位を授与される者と同等以上の学識を有することを確認(以下「学力の確認」という。)された場合には、授 与することができる。
- 3 本学大学院の博士後期課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得しただけで退学した者が、再入学しないで博士の学位の授与を申請する ときも、前項の規定による。

(学位記の授与及び様式)

- 第7条 学長は、学位を授与すべき者に学位記を授与する。また、前2条に基づく学位を授与できない者にはその旨を通知する。
- 2 学位記は、学士の学位にあっては、別記様式第1号、修士の学位にあっては別記様式第2号の1から第2号の3まで並びに博士の学位にあっては別記様式第3号の1から第3号の4まで及び別記様式第4号に定めるとおりとする。

(学位論文の提出)

- 第8条 修士及び博士の学位論文は、学長に提出するものとする。
- 2 提出する学位論文は、修士の学位論文は1編、博士の学位論文は正副各1編とする。 ただし、参考として他の論文を添付することができる。
- 3 審査のため必要があるときは、関係資料を提出させることができる。
- 第9条 第6条第2項及び第3項に規定する者が博士の学位の授与を申請するときは、学位申請書に学位論文、論文要旨、論文目録、履歴書及び所定の 学位論文審査手数料を添え、学長に提出しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、第6条第3項に規定する者が退学後1年以内に学位論文を提出する場合には、学位論文審査手数料を納付することを要しない。
- 3 提出された学位論文及び既納の学位論文審査手数料は、返還しない。

(審査の付託)

第10条 学長は、学位論文を受理したときは、教授会にその審査を付託するものとする。

(審査委員会)

- 第11条 教授会は、前条に規定する審査を付託されたときは、修士論文の審査については2人以上、博士論文の審査については5人以上の審査委員で 組織する審査委員会を設けるものとする。
- 2 修士論文の審査については、審査委員は当該専攻の教員及び関連する科目の担当教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、 客員教授若しくは客員准教授(以下「客員教授等」という。)又は学内の教員を加えることができる。

博士論文の審査については、審査委員会は博士後期課程の教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、博士後期課程の客員教授等、学内の教員又は 外部審査委員を加えることができる。

- 3 前項の規定にかかわらず、大学院人間文化創成科学研究科生活工学共同専攻(以下「生活工学共同専攻」という。)の修士論文の審査については、審査委員は本学生活工学共同専攻又は奈良女子大学大学院人間文化研究科生活工学共同専攻の教員及び関連する科目の担当教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、本学客員教授等又は学内の教員を加えることができる。
- 4 第2項の規定にかかわらず、生活工学共同専攻の博士論文の審査については、審査委員は本学博士後期課程又は奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程の教員のうちから選出する。ただし、教授会が必要と認めるときは、本学博士後期課程の客員教授等、学内の教員又は外部審査委員を加えることができる。
- 5 審査委員会は、修士論文の審査については、学位論文の審査及び試験に関する事項を行うものとする。博士論文の審査については、学位論文の審査、 試験及び学力の確認に関する事項を行うものとする。
- 6 審査委員会の運営に関する事項は、教授会において定める。

(学位論文の審査の協力)

第12条 前条の学位の授与に係る学位論文の審査に当たっては、他の大学院又は研究所等の教員等の協力を得ることができる。

(学位論文の審査及び試験等)

第13条 試験は、学位論文を中心として、これに関連のある授業科目について口答又は筆答により行うものとする。

(学力の確認)

- 第14条 博士論文の審査における学力の確認は、諮問の方法により行うものとする。
- 2 前項に規定する試問は、口答又は筆答とし、外国語については1種類以上を課する。
- 3 審査委員会は、前項の規定にかかわらず、学位の授与を申請する者の経歴及び提出論文以外の業績を審査して、学力の確認のための試問の一部又は 全部を行う必要がないと認めるときは、教授会の承認を得て、その経歴及び業績の審査をもって学力の確認のための試問の一部又は全部に代えること ができる。

(学力確認等の特例)

- 第15条 第6条第3項に規定する者が、退学後3年以内に学位論文を提出した場合は、学力の確認を行わないことができる。
- 2 学位論文の審査の結果、その内容が不良であるときは、試験及び学力の確認を行わないことができる。

(審査期間

- 第16条 審査委員会は、次に掲げる期間中に、博士論文の審査、試験及び学力の確認を終了しなければならない。
 - (1) 本学大学院の博士後期課程修了予定の者にあっては、学年度末までとする。
 - (2) 第6条第2項及び第3項に規定する者にあっては、学位論文を受理した日から1年以内とする。

(審査委員会の報告)

- 第17条 修士論文の審査については、審査委員会は、審査を終了したときは直ちに、学位論文の審査の結果を試験の結果とともに大学院人間文化創成 科学研究科長(以下「研究科長」という。)に報告しなければならない。博士論文の審査については、審査委員会は、学位論文の審査、試験及び学力の確認 を終了したときは直ちに、学位論文の内容の要旨、審査の要旨及び試験の結果の要旨に、学位を授与できるか否かの意見を添えて、研究科長に文書で 報告しなければならない。ただし、第6条第2項及び第3項に規定する者の場合は、学力の確認の結果の要旨も併せて添付するものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、第15条各項の規定に該当する場合は、当該要旨の添付を要しない。

(教授会の審議)

- 第18条 教授会は、前条第1項の報告に基づいて審議し、学位を授与すべきか否かを議決する。
- 2 前項の議決をするには、構成員総数の3分の2以上の出席を必要とする。ただし、長期出張中及び休職中のため出席することができない構成員は構成員の総数に算入しないものとする。
- 3 学位の授与を議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(研究科長の報告)

第19条 教授会が前条の議決をしたときは、研究科長は、その旨を学長に報告しなければならない。

(学位授与の取消し)

- 第20条 学位を授与された者が不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、教授会の議を経て、学位の授与を取り消し、学 位記を還付させ、かつ、その旨を公表するものとする。
- 2 教授会が前項の議決をする場合には、第18条第2項及び第3項の規定を準用する。

(学位論文の要旨等の公表)

第21条 本学は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論 文審査の結果の要旨を国立大学法人お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション(英文名称「TeaPot: Ochanomizu University Web Library— Institutional Repository」。以下「コレクション」という。)の利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

- 第22条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。 ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、教授会の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る 論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、研究科は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するも のとする。
- 3 前2項の規定により学位論文を公表する場合には、お茶の水女子大学審査学位論文であることを明記しなければならない。
- 4 博士の学位を授与された者が行う第1項及び第2項の規定による公表は、本学の協力を得て、コレクションの利用により行うものとする。

(学位授与の報告)

第23条 本学において博士の学位を授与したときは、学長は、文部科学大臣に所定の報告をし、学位簿に登録する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年11月16日)

この規則は、平成17年11月16日から施行する。

附 則(平成19年2月21日)

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

- 2 この規則の施行の際現に大学院人間文化研究科に在学する学生の学位については、改正後の第 2 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。 附 則(平成25年 4 月 17 日)
 - この規則は、平成25年4月17日から施行する。

附 則(平成26年3月26日)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月25日)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

別記様式第1号(第7条関係) 学士の卒業証書・学位記



別記様式第2号の1(第7条関係) 論文の審査による修士の学位記

第 号 お茶の水女子大学 印	年月日	修士(〇〇〇)の学位を授与する審査及び最終試験に合格したので	所定の単位を修得し学位論文の○○専攻の博士前期課程において	本学大学院人間文化創成科学研究科	年 月 日生	本籍(都道府県)	学位記	
----------------	-----	--------------------------------	-------------------------------	------------------	--------	----------	-----	--

別記様式第2号の2様式(第7条関係) 研究成果の審査による修士の学位記

研究成果の審査による修士の学位記 修士(○○○)の学位を授与する最終 試 験 に 合 格 し た の でついての研究の成果の審査及び て所定の単位を修得し特定の課題に ○○○専攻の博士前期課程におい 本学大学院人間文化創成科学研究科 第 学 号 年 位 本籍 お 記 氏 茶 (都道府県) 月 0) 年 名 水 女 日 月 子 大 日生 学 印

学 学 印印

第

号

合格したので修士(○○○)の学位を 奈 お 茶 良 月 の 女 水 女 子 日 子 大 大

年

別記様式第3号の1様式(第7条関係) 課程修了による博士の学位記

博甲第

号

水

女

子 大

学 钔 日

学位を授与する 修了したので ○○○専攻の博士後期課程を 本学大学院人間文化創成科学研究科 論文題目 学 年 位 本籍 お 記 氏 博 茶 (都道府県) 月 士 0) 年

 $(\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc)$

0)

博士前期課程において所定の単位を人間文化研究科生活工学共同専攻の科学研究科及び奈良女子大学大学院

お茶の水女子大学大学院人間文化創成

氏

年 名

月

日生

名

月

日生

修得し学位論文の審査及び最終試験に

別記第3号の2様式(第7条関係) 博士後期課程生活工学共同専攻修了による博士の学位記

博甲第 号 女子大学印 お茶の水女子大学印	年 月 日	氏 名 年 月 日生 お茶の水女子大学大学院人間文化創成 科学研究科及び奈良女子大学大学院 博士後期課程を修了したので 博士後期課程を修了したので 博士 (○○○) の学位を授与する 論文題目	李 位 記
-----------------------	-------	---	-------

別記様式第3号の3(第7条関係)

課程修了による博士の学位記(博士課程教育リーディングプログラム)

博甲第 号 お 茶 の 水 女	年月日	論文題目	学位を授与する課程を修了したので博士(○○○)の	グローバル理工学副専攻プログラムの○ ○ 専攻の 博士 後期 課程 及び本学大学院人間文化創成科学研究科	本籍(都道府県)	学 位 記
女 子 大 学	н		O O	グラムの発音の発料	日生生	

博士 (○○○) の学位を授与する 疾患予防科学領域)を修了したので ライフサイエンス専攻の博士後期課程 本学大学院人間文化創成科学研究科 (学際生命科学東京コンソーシアム 博甲第 論文題目 学 年 位 号 本籍 お 記 氏 茶 (都道府県) 月 0) 年 名 水 女 日 月 子 大 日生 学 印

別記様式第4号(第7条関係) 論文提出による博士の学位記

博士 本学に 審査及び試験に合格しかつ所定の 学力を有するものと認定したので 博乙第 論文題目 学 $(\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc)$ 学位 年 位 号 本籍 論文を提 お 記 の学位を授与する 氏 茶 (都道府県) 月 0) 年 名 水 出 女 月 \mathbb{H} 子 し そ 大 日生 学 0) 钔

7 本学在学中に他大学等で修得した単位の取扱いについて

お茶の水女子大学学則第11条の規定に基づき、本学が単位を認定する学生の他大学等において修得した単位又は行った学修等の取扱いは、次のとおり とする。

- I 単位認定の対象とする他大学等における修得単位等の取扱いについて
- (1) 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- (2) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修とみなし、単位を授与することができる。
- (3) 前記(1)及び(2)の定めにより、履修したものとみなし、又は授与することができる単位については、合わせて60単位を限度として認めることができる。 前記(2)の単位認定の対象となる「文部科学大臣が定める学修」は、次のとおりとする。
- ・大学の専攻科における学修
- ・高等専門学校の課程における学修で、大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第6条別表第3備考第4号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学等が行う講習又は公開講座における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・社会教育法(昭和24年法律第207号)第9条の5の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における 学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・図書館法(昭和25年法律第118号)第6条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、 本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの

国内における、本学との大学単位互換が可能な大学については、P.56を参照してください。国外の大学 (本学の交流協定校) で修得した単位については「海外交換留学等認定科目」(全学共通科目)として、所定の手続きにより単位認定の対象になります。

Ⅱ 単位の認定方法

※当該の単位認定につきましては、あらかじめ所定の承認を必要としますので、学務課(学生センター)で手続きをしてください。

- (1) 前記 I により認定を受けようとする者は、単位等の修得後、速やかに別紙様式 1 【P.279参照】 による「他大学等において修得した単位等に係る単位 認定願」に成績証明書等を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、当該学科長及び関係教員と協議のうえ、当該教授会の議を経て、単位の認定を行うものとする。
- (3) 当該学部長は認定した科目及び単位について、別紙様式 2 【P.279参照】 による認定書を交付するものとする。
- (4) 前記により単位の認定を行った場合は、本学における履修内容の有益化を図るよう、各学部において適切な指導を行うものとする。

Ⅲ その他

外国の大学等における授業科目の履修等の取扱いについては、前記 I O(1)及び(3)の定めによるもののほか、別に定めるところによるものとする。 (適用)

この取扱いは、平成11年4月1日から実施する。

Ⅳ 修業年限の通算の措置(学則第14条第3項関係)

本学の科目等履修生として一定の単位を修得した場合、前記 I の(1)により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、学則第14条第1項に規定する修業年限について、当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2分の1を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(適用)

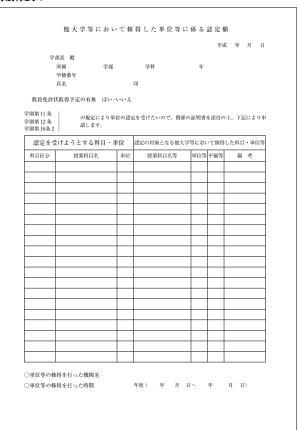
この取扱いは、平成16年4月1日から実施する。

8

お茶の水女子大学学則(以下「学則」という。)第34条及び第23条の規定により、入学を許可された者の既に修得した単位(以下「既修得単位」という。) については、学則第16条第2項の定めるところにより、本学において修得したものと認定することのできる単位の取扱いについては、次のとおりとする。

- 1) 転学及び編入学した学生が、既修得単位の認定を受ける場合、別紙様式1による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」に成績証明書等を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- 2) 当該学部長は、当該学科長と協議のうえ、当該教授会の議を経て既修得単位の認定を行うものとする。 なお、転学の場合は、当該科目関係教員等との協議を加えて、単位認定を行うものとする。
- 3) 既修得単位の認定は、本学におけるコア科目のうち、それぞれに相当する科目について行うものとする。
- 4) 既修得単位のうち、専攻科目等について認定することが教育上有益であると認めるときは、第17条に準じ既修得単位の認定を行うことができる。
- 5) 第17条及び第4号により単位の認定を行った場合は、認定した単位に伴い、履修すべき単位について、当該学部は適切な指導を行うものとする。
- 6) 当該学部長は、認定した科目及び単位について、別紙様式2による認定書を交付するものとする。

別紙様式1



別紙様式2



現呈等「規

9 新たに第1年次に入学した学生の既修得単位等の取扱いについて

お茶の水女子大学学則第12条の規定に基づき、本学に入学する前の他大学等において修得した単位等に対する単位認定については、次のとおりとする。

- I 単位認定の対象とする他大学等における既修得単位、並びに学修
- (1) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は、外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。(以下「既修得単位」という。)を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- (2) 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が 定める学修を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- (3) 前記2の定めにより、修得したものとみなし、又は与えることができる単位については、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについて、学則第17条第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を限度として認めることができる。前記(2)の単位認定の対象となる「文部科学大臣が定める学修」は、次のとおりとする。
- ・大学の専攻科における学修
- ・高等専門学校の課程における学修で、大学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・専修学校の専門課程のうち修業年限が2年以上のものにおける学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第6条別表第3備考第4号の規定により文部科学大臣の認定を受けて大学等が行う講習又は公開講座における学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・社会教育法 (昭和24年法律第207号) 第9条の5の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学その他の教育機関が行う社会教育主事の講習における 学修で、本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・図書館法(昭和25年法律第118号)第6条の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書及び司書補の講習における学修で、 本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定により文部科学大臣の委嘱を受けて大学又は短期大学が行う司書教諭の講習における学修で、 本学において大学教育に相当する水準を有すると認めたもの
- ・『実用英語技能検定』(文部科学省認定・財団法人日本英語検定協会主催)の合格(1級又は準1級)に係る学修
- ・『TOEIC』(財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会主催)において680点以上の学修
- ・『TOEFL』(Education Testing Service(ETS)主催)において530(PBT)/200(CBT)/72(iBT)点以上の学修
- ·『IELTS』において6以上の学修
- ・『GTEC for Students』において760点以上の学修
- ・『中国語検定』(日本中国語検定協会主催)の合格(4級以上)に係る学修
- ・『中国語コミュニケーション能力検定』(中国語コミュニケーション協会主催)において250点以上の学修
- ・『漢語水平考試験』(中国国家 HSK 委員会主催) の合格 (2級以上) に係る学修
- ・『実用フランス語技能検定試験』(財団法人フランス語教育振興協会主催)の合格(4級以上)に係る学修
- ・『ドイツ語技能検定試験』(財団法人ドイツ語学文学振興会主催)の合格(3級以上)に係る学修

Ⅱ 単位の認定方法

- 既修得単位の認定は、次により行うものとする。
- (1) 既修得単位の認定を受けようとする者は、別紙様式 1 【P.279 参照】 による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」に成績証明書等を添えて、 当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、教育上有益と認めるときは、当該学科長及び願出のあった授業科目の関係教員等と協議のうえ、当該教授会の議を経て、既修得単位の認定を行うものとする。
- 『実用英語技能検定』1級又は準1級の合格者、『TOEIC』680点以上のスコアを持つ者、『TOEFL』530(PBT)/200(CBT)/72(iBT)点以上のスコアを持つ者、『IELTS』6以上のスコアを持つ者、『GTEC for Students』760点以上のスコアを持つ者、『中国語検定』4級以上の合格者、『中国語コミュニケーション能力検定』250点以上のスコアを持つ者、『漢語水平考試験』2級以上の合格者、『実用フランス語技能検定試験』4級以上の合格者、『ドイツ語技能検定試験』3級以上の合格者の単位認定は、次により行う。
- (1) 単位の認定を受けようとする者は、別紙様式 1 【P.279参照】 による「他大学等において修得した単位等に係る認定願」 にそれぞれの基準を満たしていることを証明する書類を添えて、当該学部長に願い出るものとする。
- (2) 当該学部長は、関係学科教員等と協議のうえ、当該教授会の議を経て、認定を行うものとする。

Ⅲ 単位の認定書の交付等

- (1) 当該学部長は認定した科目及び単位について、別紙様式 2 【P.279参照】 による認定書を交付するものとする。
- (2) 前記により単位の認定を行った場合は、認定した単位に代えて、他の授業科目の履修を行わせるなど履修内容の有益化を図るよう、各学部において適切な指導を行うものとする。

別 表

授業科目区分	認定できる単位数
コア科目	
専門教育・専攻科目	※60単位を限度とする。
その他の授業科目	

※本学において修得した単位以外のものについて、上記単位数を上限とする。

各認定単位は以下のとおりとする。(なお、残りの必修単位の充足方法等については、「授業科目区分、履修方法(コア科目)」を参照。)

Ⅳ 修業年限の通算の措置(学則第14条第3項関係)

本学の科目等履修生として一定の単位を修得した場合、前記 I o(1)により認められた単位の全部又は一部が教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該学部教授会の議を経て、学則第 1 4 条第 1 項に規定する修行年限について、当該単位数、その修得に要した期間その他を考慮して、2 分の 1 を超えない範囲でその修業年限に通算することができる。

(適用)

この取扱いは、平成16年4月1日から実施する。

10 お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第59号。以下「法」という。)及び独立行政法人等の保有する 個人情報の適切な管理のための措置に関する指針(平成16年9月14日総務省行政管理局長通知総管情第85号)に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学 (以下「本学」という。)の保有する個人情報の適切な管理に関し必要な事項を定める。

(定義)

- 第2条 この規則において「個人情報」とは、法第2条第2項に規定する個人情報をいう。
- 2 この規則において「保有個人情報」とは、法第2条第3項に規定する保有個人情報であって、本学が保有するものをいう。
- 3 この規則において「個人情報ファイル」とは、法第2条第4項に規定する個人情報ファイルであって、本学が保有するものをいう。
- 4 この規則において「部局」とは、学長戦略機構、監査室、各学部、大学院人間文化創成科学研究科、附属図書館、センター部、各学内共同教育研究施設、 各教育サービス施設、保健管理センター、附属学校部、各附属学校及び保育所をいう。

(総括保護管理者)

- 第3条 本学に、総括保護管理者を置き、総務を担当する副学長をもって充てる。
- 2 総括保護管理者は、本学における保有個人情報の管理に関する事務を総括するものとする。

(保護管理者)

- 第4条 保有個人情報を取り扱う部局に、保護管理者を置き、当該部局の長(学長戦略機構及び監査室にあっては、総務を担当する副学長)をもって充てる。
- 2 保護管理者は、各部局における保有個人情報を適切に管理するものとする。

(保護扣当者)

- 第5条 保有個人情報を取り扱う部局に、保護担当者を置き、当該部局の保護管理者が指定する部局の職員をもって充てる。
- 2 保護担当者は、各部局の保護管理者を補佐し、保有個人情報の管理に関する事務を行うものとする。

(監査責任者)

- 第6条 本学に、監査責任者を置き、学長が指名する監事をもって充てる。
- 2 監査責任者は、保有個人情報の管理の状況について監査するものとする。

(教育研修)

- 第7条 総括保護管理者は、保有個人情報の取扱いに従事する職員(以下「職員」という。)に対し、保有個人情報の取扱いについて理解を深め、個人情報の 保護に関する意識の高揚を図るための啓発その他必要な教育研修を行うものとする。
- 2 保護管理者は、保有個人情報の適切な管理のために、当該部局の職員に対して、総括保護管理者の実施する教育研修への参加の機会を付与する等の必要な措置を講ずるものとする。

(職員の責務)

第8条 職員は、法の趣旨に則り、関連する法令及び規程等の定め並びに総括保護管理者、保護管理者及び保護担当者の指示に従い、保有個人情報を取り扱わなければならない。

(個人情報の保有の制限等)

- 第9条 保護管理者は、個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するため必要な場合に限り、かつ、その利用の目的をできる限り特
- 2 役員及び職員は、前項の規定により特定された利用の目的(以下「利用目的」という。)の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を保有してはならない。
- 3 保護管理者は、利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と相当の関連性を有すると合理的に認められる範囲を超えて行ってはならない。 (利用目的の明示)
- 第10条 役員及び職員は、保護管理者の指示に従い、本人から直接書面(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作成される記録を含む。)に記録された当該本人の個人情報を取得するときは、次に掲げる場合を除き、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。
 - 人の生命、身体又は財産の保護のために緊急に必要があるとき。
 - 二 利用目的を本人に明示することにより、本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがあるとき。
 - 三 利用目的を本人に明示することにより、国の機関、独立行政法人等(法第2条第1項に規定する独立行政法人等をいう。以下同じ。)、地方公共団体 又は地方独立行政法人(地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第2条第1項に規定する地方独立行政法人をいう。以下同じ。)が行う事務又は事業の遂行に支障をきたすおそれがあるとき。
 - 四 取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められるとき。

(アクセス制限)

- 第11条 保護管理者は、保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、情報にアクセスする権限を有する者を指定するものとする。
- 2 アクセスする権限を有しない職員は、保有個人情報にアクセスしてはならない。
- 3 職員は、アクセスする権限を有する場合であっても、業務上の目的以外の目的で保有個人情報にアクセスしてはならない。

(複製等の制限)

- 第12条 職員は、業務上の目的で保有個人情報を取り扱う場合であっても、次に掲げる行為については、保護管理者の指示に従い行うものとする。
 - 一 保有個人情報の複製
- 二 保有個人情報の送信
- 三 保有個人情報が記録されている媒体の外部への送付又は持出し
- 四 その他保有個人情報の適切な管理に支障を及ぼすおそれのある行為

(誤りの訂正等)

第13条 職員は、保有個人情報の内容に誤り等を発見した場合には、保護管理者の指示に従い、訂正等を行うものとする。

(媒体の管理等)

第14条 職員は、保有個人情報が記録されている媒体を保護管理者の指示する場所に保管するとともに、必要があると認めるときは、耐火金庫への保管、 施錠等を行うものとする。

(廃棄等)

第15条 職員は、保有個人情報又は保有個人情報が記録されている媒体(端末及びサーバに内蔵されているものを含む。)が不要となった場合には、保護管理者の指示に従い、当該保有個人情報の復元又は判読が不可能な方法により当該情報の消去又は当該媒体の廃棄を行うものとする。

(保有個人情報の取扱状況の記録)

第16条 保護管理者は、保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、台帳等を整備して、当該保有個人情報の利用及び保管等の取扱いの状況について 記録するものとする。

(アクセス制御)

- 第17条 保護管理者は、保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、パスワード等(パスワード、ICカード、生体情報等をいう。以下同じ。)を使用して 権限を識別する機能(以下「認証機能」という。)を設定する等のアクセス制御のために必要な措置を講ずるものとする。
- 2 保護管理者は、前項の措置を講ずる場合には、パスワード等の管理に関する定めの整備(その定期又は随時に見直しを含む。)、パスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずるものとする。

(アクセス記録)

- 第18条 保護管理者は、保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、当該保有個人情報へのアクセス状況を記録し、その記録(以下「アクセス記録」という。) を5年間保存し、アクセス記録を定期に又は随時に分析するために必要な措置を講ずるものとする。
- 2 保護管理者は、アクセス記録の改ざん、窃取又は不正な消去の防止のために必要な措置を講ずるものとする。

(外部からの不正アクセスの防止)

第19条 保護管理者は、保有個人情報を取り扱う情報システムへの外部からの不正アクセスを防止するため、ファイアウォールの設定による経路制御 等の必要な措置を講ずるものとする。

(コンピュータウイルスによる漏えい等の防止)

第20条 保護管理者は、コンピュータウイルスによる保有個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止のため、コンピュータウイルスの感染防止等に必要な措置を識ずるものとする。

(暗号化)

第21条 保護管理者は、保有個人情報の秘暦性等その内容に応じて、その暗号化のために必要な措置を講ずるものとする。

(入力情報の照合等)

第22条 職員は、情報システムで取り扱う保有個人情報の重要度に応じて、入力原票と入力内容との照合、処理前後の当該保有個人情報の内容の確認、 既存の保有個人情報との照合等を行うものとする。

(バックアップ)

第23条 保護管理者は、保有個人情報の重要度に応じて、バックアップを作成し、分散保管するために必要な措置を講ずるものとする。

(情報システム設計書等の管理)

第24条 保護管理者は、保有個人情報に係る情報システムの設計書、構成図等の文書について外部に知られることがないよう、その保管、複製、廃棄 等について必要な措置を講ずるものとする。

(端末の限定)

第25条 保護管理者は、保有個人情報の秘匿性等その内容に応じて、その処理を行う端末を限定するために必要な措置を講ずるものとする。

(端末の盗難防止等)

- 第26条 保護管理者は、端末の盗難又は紛失の防止のため、端末の固定、執務室の施錠等の必要な措置を講ずるものとする。
- 2 職員は、保護管理者が必要があると認めるときを除き、端末を外部へ持ち出し、又は外部から持ち込んではならない。

(第三者の閲覧防止

第27条 職員は、端末の使用に当たっては、保有個人情報が第三者に閲覧されることがないよう、使用状況に応じて情報システムからログオフを行う ことを徹底する等の必要な措置を識ずるものとする。

(入退室の管理)

- 第28条 保護管理者は、保有個人情報を取り扱う基幹的なサーバ等の機器を設置する室等(以下「情報サーバ室等」という。)に入室する権限を有する者を 指定するとともに、用件の確認、入退室の記録、部外者についての識別化、部外者が入室する場合の職員の立会い等の措置を講ずるものとする。また、 保有個人情報を記録する媒体を保管するための施設を設けている場合においても、必要があると認めるときは、同様の措置を講ずるものとする。
- 2 保護管理者は、必要があると認めるときは、情報サーバ室等の出入口の特定化による入退室の管理の容易化、所在表示の制限等の措置を講ずるものとする。
- 3 保護管理者は、情報サーバ室等及び保管施設の入退室の管理について、必要があると認めるときは、入室に係る認証機能を設定し、及びパスワード等の管理に関する定めの整備(その定期又は随時の見直しを含む。)、パスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずるものとする。

(情報サーバ室等の管理)

- 第29条 保護管理者は、外部からの不正な侵入に備え、情報サーバ室等に施錠装置、警報装置、監視設備の設置等の措置を講ずるものとする。
- 2 保護管理者は、災害等に備え、情報サーバ室等に、耐震、防火、防煙、防水等の必要な措置を講ずるとともに、サーバ等の機器の予備電源の確保、 配線の損傷防止等の措置を講ずるものとする。

(保有個人情報の提供)

- 第30条 保護管理者は、法第9条第2項第3号及び第4号の規定に基づき行政機関及び独立行政法人等以外の者に保有個人情報を提供する場合には、 原則として、提供先における利用目的、利用する業務の根拠法令、利用する記録範囲及び記録項目、利用形態等について書面を取り交わすものとする。
- 2 保護管理者は、法第9条第2項第3号及び第4号の規定に基づき行政機関及び独立行政法人等以外の者に保有個人情報を提供する場合には、安全確保の措置を要求するとともに、必要があると認めるときは、提供前又は随時に実地の調査等を行い措置状況を確認し、その結果を記録するとともに、改善要求等の措置を講ずるものとする。
- 3 保護管理者は、法第9条第2項第3号の規定に基づき行政機関又は独立行政法人等に保有個人情報を提供する場合において、必要があると認めると きは、前2項に規定する措置を講ずるものとする。

(業務の委託等)

- 第31条 保有個人情報の取扱いに係る業務を外部に委託する場合には、個人情報の適切な管理を行う能力を有しない者を選定することがないよう、必要な措置を講ずるものとする。また、契約書に、次に掲げる事項を明記するとともに、委託先における責任者等の管理体制、個人情報の管理の状況についての検査に関する事項等の必要な事項について書面で確認するものとする。
- 一 個人情報に関する秘密保持等の義務

- 二 再委託の制限又は条件に関する事項
- 三 個人情報の複製等の制限に関する事項
- 四 個人情報の漏えい等の事案の発生時における対応に関する事項
- 五 委託終了時における個人情報の消去及び媒体の返却に関する事項
- 六 違反した場合における契約解除の措置その他必要な事項
- 2 保有個人情報の取扱いに係る業務を派遣労働者によって行わせる場合には、労働者派遣契約書に秘密保持義務等個人情報の取扱いに関する事項を明 記するものとする。

(事案の報告及び再発防止措置)

- 第32条 保有個人情報の漏えい等安全確保の上で問題となる事案(以下単に「事案」という。)が発生した場合に、その事実を知った職員は、速やかに当該 保有個人情報を管理する保護管理者に報告するものとする。
- 2 保護管理者は、被害の拡大防止又は復旧等のために必要な措置を講ずるものとする。
- 3 保護管理者は、事案の発生した経緯、被害状況等を調査し、総括保護管理者に報告するものとする。ただし、特に重大と認める事案が発生した場合 には、直ちに総括保護管理者に当該事案の内容等について報告するものとする。
- 4 総括保護管理者は、前項の規定に基づく報告を受けた場合には、事案の内容等に応じて、当該事案の内容、経緯、被害状況等を学長に速やかに報告するものとする。
- 5 保護管理者は、事案の発生した原因を分析し、再発防止のために必要な措置を講ずるものとする。

(公表等)

- 第33条 総括保護管理者は、事案の内容、影響等に応じて、事実関係及び再発防止策の公表、当該事案に係る本人への対応等の措置を講ずるものとする。 (監査)
- 第34条 監査責任者は、保有個人情報の管理の状況について、定期に又は随時に監査を行い、その結果を総括保護管理者に報告するものとする。

(点検)

第35条 保護管理者は、自ら管理責任を有する保有個人情報の記録媒体、処理経路、保管方法等について、定期に又は随時に点検を行い、必要がある と認めるときは、その結果を総括保護管理者に報告するものとする。

(評価及び見直し)

第36条 総括保護管理者は保有個人情報の適切な管理のために、監査又は点検の結果等を踏まえ、実効性等の観点から評価し、必要があると認めると きは、その見直し等の措置を講ずるものとする。

(個人情報ファイル簿)

- 第37条 保護管理者は、個人情報ファイル(法第11条第2項各号に掲げるもの及び同条第3項の規定により個人情報ファイル簿に掲載しないものを除く。 以下同じ。)を保有するに至ったときは、直ちに、別紙様式により個人情報ファイル簿を作成し、総括保護管理者に提出しなければならない。
- 2 保護管理者は、個人情報ファイル簿に記載すべき事項に変更があったときは、直ちに、当該個人情報ファイル簿を修正し、総括保護管理者に提出しなければならない。
- 3 保護管理者は、個人情報ファイル簿に掲載した個人情報ファイルの保有をやめたとき、又はその個人情報ファイルが法第11条第2項第7号に該当するに至ったときは、遅滞なく、当該個人情報ファイルについての記載を消除するように総括保護管理者に申し出なければならない。

(雑則)

第38条 この規則に定めるもののほか、個人情報の管理に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附則

- この規則は、平成17年4月1日から施行する。
 - 附則
- この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成23年5月18日から施行する。

附則

この規程は、平成26年8月1日から施行する。

11 お茶の水女子大学授業料未納者に係る除籍及び復籍に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人お茶の水女子大学学則(以下「学則」という。)第31条第1項第1号に規定する除籍及び第32条に規定する復籍の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(除籍の要件)

- 第2条 授業料を2期連続して滞納し、督促してもなお当該2期分を納入しない者は、2期目の末日をもって除籍する。
- 2 前項の期とは、学則第19条に定める前学期及び後学期であって、授業料納付義務のある学期をいう。

(除籍の手続)

- 第3条 除籍の手続は、次に掲げるとおりとする。
 - 一 財務課は、授業料未納者及び当該授業料未納者の保証人に督促状を送付する。
 - 二 財務課は、学務課に授業料未納者を通知する。
 - 三 学科長(又はコース主任、講座主任)、指導教員、学年担当教員は、学務課とともに、2期連続して滞納した授業料未納者に、文書をもって修学意思の確認と授業料未納による除籍について説明を行い、また、当該授業料未納者の保証人に同様の措置を行う。
 - 四 除籍は、教授会の議を経て、学長が行う。
 - 五 学長名で、除籍通知書を学生に、その写しを当該授業料未納者の保証人に送付する。

(復籍の取扱い)

- 第4条 学長は、第2条の規定により除籍となった者が、除籍の日の翌日から起算して3年以内に、当該除籍の事由となった未納の授業料に相当する額を納付し、復籍を願い出た場合は、教授会の審査の上許可することができる。
- 2 前項の規定による復籍の時期は、許可を得た日以降における最初の前学期又は後学期の始めとする。
- 3 前2項の規定より復籍を許可した学生の復籍後の在学期間は、除籍前の在学期間に通算する。

(復籍の制限)

第5条 第2条の規定により除籍した者が、復籍後に同条により再び除籍となった場合は、復籍を認めない。

附刊

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、この規程の施行前に除籍した者については、適用しない。
- 2 この規程の施行日の前日に在学し、この規程の施行後引き続き本学に在学する者については、第2条及び第3条中「2期」とあるのは、この規程の施行日前における授業料未納の期を算入しないものとする。
- 3 前項の規定により、この規程の施行日前における授業料未納の期を算入されなかった者が、第2条の規定により除籍された後に第4条第1項の規定 により復籍を願い出るときは、当該除籍の事由となった未納の授業料に加えて、前項の規定により算入されなかった期に係る未納の授業料を含めた額 を納付しなければならない。

附則

- この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- この規程は、平成26年4月1日から施行する。 附則
- この規程は、平成26年8月1日から施行する。
- この規程は、平成28年4月1日から施行する。

12 お茶の水女子大学における学生の旧姓使用の取扱い等に関する要項

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)に在籍する学生の旧姓使用の取扱い及び手続等については、この要項の定めるところによる。

(旧姓使用の申出ができる学生)

- 第2条 旧姓使用の申出ができる学生は、次のとおりとする。
 - 一 学部学生
 - 二 大学院学生

(旧姓使用ができる文書等)

- 第3条 旧姓使用ができる文書等は、第4条に定める以外の文書等とする。
- 2 博士学位論文の申請、審査及び授与に関する書類並びに博士学位論文及び博士学位記における旧姓の併記については、別に定める。

(旧姓使用ができない文書等)

- 第4条 旧姓使用ができない文書等は、次のとおりとする。
 - 一 教育職員免許状申請書類
 - 二 管理栄養士国家試験出願書類及び栄養士免許申請書類
 - 三 前2号に定めるもののほか、国等の機関の所管する制度等により、戸籍上の氏名を使用することとされているもの
 - 四 その他旧姓使用を行うことが困難であると学長が判断するもの

(旧姓使用の申出)

第5条 旧姓使用を希望する学生は、戸籍上の氏名と旧姓の同一性の確認ができる書類を添えて、旧姓使用申出書(別紙様式1)を学務課に提出しなければならない。

(旧姓使用の中止)

第6条 旧姓を使用している学生が、使用を中止する場合、旧姓使用中止届(別紙様式2)を学務課に提出しなければならない。 (□2編)

第7条 旧姓使用の申出又は旧姓使用の申止についての届出を受理した場合は、その旨を学籍簿に記録する。

(卒業、修了又は退学後の取扱い)

第8条 卒業、修了又は退学時に旧姓使用をしていた学生に係る文書等(第4条に定めるものを除く。)の申請及び交付については、当該学生が卒業、修了 又は退学した後においても、旧姓で行うものとする。

(旧姓使用に伴う証明等)

第9条 旧姓使用の学生から、文書等(学位記を含む。)の戸籍上の氏名と旧姓の同一姓について説明依頼があった場合は、「本学では、旧姓使用を認めている。」旨が記載された文書(別紙様式3)を交付するが、それ以上の証明を求められた場合は、当該学生が自助努力で証明することとする。

(その他)

第10条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は学長が別に定める。

附則

この要項は、平成23年4月13日から施行する。

(別紙様式1) 旧姓使用申出書 平成 年 月 日 お茶の水女子大学長 殿 学籍番号 学部 (又は大学院) 学科 (又は専攻) 氏名 印 (確認書類と同じ) 下記のとおり旧姓を使用したいので、確認書類を添えて下記のとおり申し出ます。 1. 使用する旧姓 2. 戸籍上の氏名 3. 戸籍上の変更年月日 4. 使用理由: (以下は学務課記載) ◆学籍事務担当係処理欄 1) 使用開始年月日: 平成 年 月 日 確認 (確認書類) 印 2) 学籍簿記録処理年月日: 平成 年 月 日 記録 印 3) その他

別紙様式3

お茶の水女子大学学生の氏名表記について
本学では、学生からの申出により、学生の氏名表記について巨雑上の氏名でなく旧姓を使用することを認めており、下記学生の氏名表記については、学位記を含め各種文書等(ただし、国等の機関の所管する制度等により、戸籍上の氏名を使用することとされているもの等を除く。)で旧姓を使用しています。

記
旧
姓
戸籍上の氏名

平成 年 月 日お茶の水女子大学長
○ ○ ○ ○

※この書類は、旧姓使用の学生から提出を求められた場合に作成し、交付することとする。

(別紙様式2) 旧姓使用中止届 平成 年 月 日 お茶の水女子大学長 殿 学籍番号 学部名 (又は大学院) 学科名 (又は専攻名) 学年 氏名 印 下記のとおり旧姓の使用を中止しますので届け出ます。 記 1. 中止する旧姓 2. 使用する戸籍上の氏名 3. 中止年月日 平成 年 月 日 4. 中止理由: (以下は学務課記載) ◆学籍事務担当係処理欄 1) 使用中止年月日: 平成 年 月 日 確認 印 2) 学籍簿記録処理年月日: 平成 年 月 日 記録 印 3) その他